

脱炭素・GREEN×EXPO 推進・
みどり環境・資源循環委員会
令和7年9月19日
みどり環境局 説明資料

横浜みどりアップ計画の推進について

横浜市では、5か年計画である横浜みどりアップ計画に、2009年度から取り組んでいます。

緑の保全・創出を進め、横浜の緑を次世代に引き継ぐため、これまで、樹林地の永続的な保全や水田の保全、地域ぐるみの緑のまちづくりなど、市民の皆様とともに様々な事業・取組を進め、大都市でありながら、身近な緑が豊富にあるまちづくりを進めてきました。

2024年度からは、4期目となるみどりアップ計画に取り組んでおり、これまで守り、育んできた緑をしっかりと継承しながら、一層の推進に全力で取り組んでいます。

本日は、通算16年目となる2024年度の成果を、次の資料でご説明します。

【別紙1】

横浜みどりアップ計画[2024-2028] 2024年度 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

【別紙2】

横浜みどりアップ計画[2024-2028] 2024年度 実績概要

横浜 みどりアップ計画

[2024-2028]

2024年度
事業・取組の実績と評価・今後の進め方



2025年9月
みどり環境局

目次

第1章 横浜みどりアップ計画の概要 【全7ページ】

1. 横浜みどりアップ計画[2024-2028]とは	1-2
2. 計画の方針	1-3
3. 計画の体系	1-4
4. 計画を進めるための財源	1-5
5. 横浜みどりアップ計画市民推進会議	1-7

第2章 2024年度の主な成果 【全8ページ】

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	2-2
柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる	2-4
柱3 市民が実感できる緑や花をつくる	2-6
効果的な広報の展開	2-8

第3章 事業・取組の実績と評価・今後の進め方 【全70ページ】

各事業・取組の実績と評価検証	3-2
2024年度の事業・取組の実績一覧	3-67

第4章 各区の実績 【全72ページ】

鶴見区	4-2
神奈川区	4-6
西区	4-10
中区	4-14
南区	4-18
港南区	4-22
保土ヶ谷区	4-26
旭区	4-30
磯子区	4-34
金沢区	4-38
港北区	4-42
緑区	4-46
青葉区	4-50
都筑区	4-54
戸塚区	4-58
栄区	4-62
泉区	4-66
瀬谷区	4-70

卷末資料

横浜みどりアップ計画2024年度市民推進会議報告書

※実績の面積、事業費については、端数処理により、合計が一致しないことがあります。

第1章 横浜みどりアップ計画の概要

1 横浜みどりアップ計画の概要

1. 横浜みどりアップ計画[2024-2028]とは

横浜みどりアップ計画は、水と緑の基本計画の重点的な取組として策定された、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するための5か年計画です。2009年度から「横浜みどり税」を財源の一部に活用し、緑の保全・創出の取組を推進しています。

緑の取組は、長い時間をかけて継続的に取り組むことが必要です。そこで、これまでの取組の成果や課題、市民意見募集の結果などを踏まえ、2024年度以降に重点的に取り組む横浜みどりアップ計画[2024-2028]を策定しました。

引き続き市民の皆様と連携しながら、緑の保全・創出に取り組んでいきます。

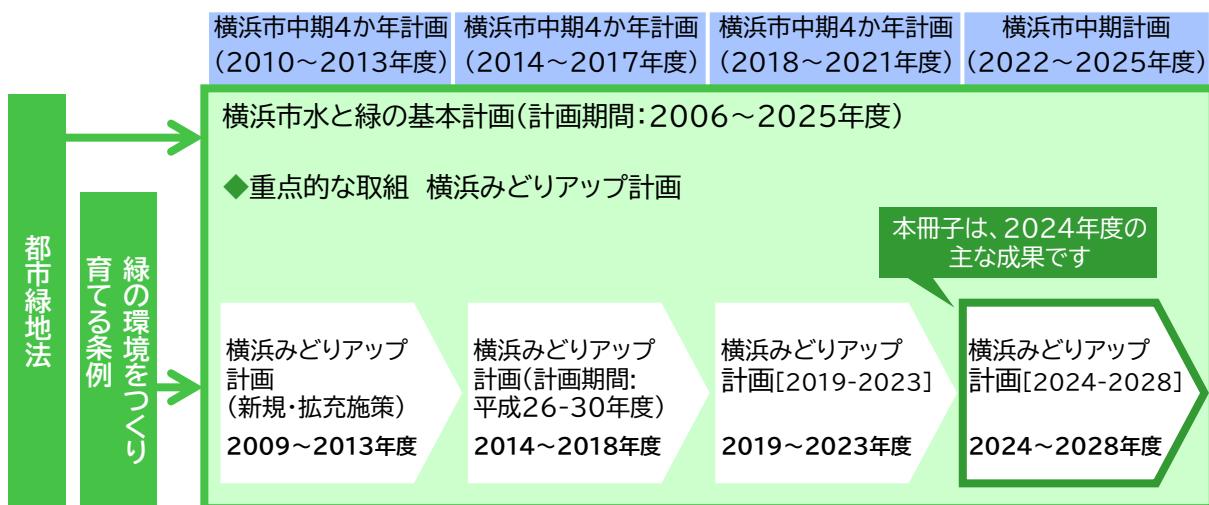


図 横浜みどりアップ計画[2024-2028]の位置づけ

2. 計画の方針

計画の理念

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

5か年(2024-2028年度)の目標

1. 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します

緑地保全制度による指定が進むことで樹林地の担保量が増加、
水田の保全面積を維持、市街地で緑を創出する取組が進展 など

2. 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます

森の保全管理など緑の多様な機能や役割を発揮する取組の進展、
緑や花の創出により街の魅力・賑わいが向上 など

3. 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

森に関わるイベントや農作物の収穫体験、
地域の緑化活動など、市民や事業者が緑に関わる機会が増加 など

5か年の目標の実現に向けた3つの柱と効果的な広報

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

森(樹林地)の多様な機能や役割に配慮しながら、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での機能や役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。



効果的な広報の展開

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

街の魅力を高め、賑わいづくりにつながる緑や花、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組みます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。

3. 計画の体系

柱1 市民とともに市民とともに次世代につなぐ森を育む



施策1 まとまりのある 樹林地の保全・活用

- 事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り
- 事業② 良好的な森の育成
- 事業③ 森に関わる多様な機会の創出

柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる

施策1 農に親しむ 取組の推進

- 事業① 良好的な農景観の保全
- 事業② 農とふれあう場づくり



施策2 「横浜農場」の展開による 地産地消の推進

- 事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進
- 事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる



施策1 市民が実感できる 緑や花の創出・育成

- 事業① まちなかでの緑の創出・育成

施策2 ガーデンシティ横浜の 更なる推進

- 事業② 緑や花があふれる地域づくり
- 事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成
- 事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成

効果的な広報の展開

- 事業① 市民の理解を広げる広報の展開

4. 計画を進めるための財源

横浜みどり税

横浜市では、緑の保全・創造に取り組むために必要な、安定的な財源を確保するため、2009年度から市民の皆様にご負担いただいている「横浜みどり税」について、2024年度から2028年度についてもご負担をお願いし、この計画の重要な財源の一部として活用しています。

2024～2028年度の横浜みどり税について

1. 課税方式

市民税(個人・法人)均等割の超過課税(※)

※市民税均等割の超過課税:市民税均等割は、地域社会の費用の一部を広く均等に市民の方に負担していただく趣旨で課されるものです。超過課税とは、その均等割に一定額(率)を上乗せする方法です。

2. 税率・期間

対象	税率	延長期間	備考
個人	市民税の均等割に年間900円を上乗せ	2024年度から2028年度まで	所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方は課税対象から除外
法人	市民税の年間均等割額の9%相当額を上乗せ	2024年4月1日から2029年3月31日までの間に開始する事業年度分	

3. 税収規模

約30億円／年（個人:約18億円 法人:約11億円）※2024年度決算

4. 横浜みどり税の使途

横浜みどりアップ計画のうち、下記の使途に該当する事業に横浜みどり税を充当します。

- 樹林地・農地の確実な担保
- 身近な緑化の推進
- 維持管理の充実によるみどりの質の向上
- ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

5. 基金への積立て

税収相当額を「横浜市みどり基金」へ積み立てます。

基金及び特別会計について

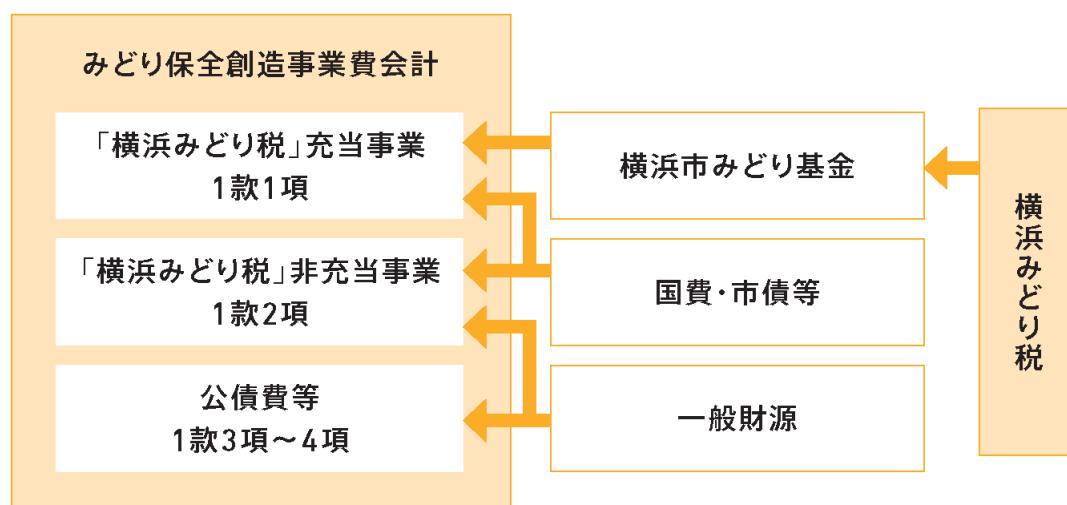
「基金」(横浜市みどり基金)

横浜みどり税は、市民税の超過課税の形でご負担をお願いするものですが、その税収の使途は横浜みどりアップ計画に限定されます。そこで、この税収を管理する基金を設置することにより、他の一般財源から明確に分離するとともに、年度間の財源調整も行います。

「特別会計」(みどり保全創造事業費会計)

横浜みどり税の使途を明確にするためには、横浜みどり税を充当して実施する事業のみならず、横浜みどりアップ計画全体について、その内容や進捗状況を他の施策と分離して明らかにしていく必要があります。そこで、横浜みどり税非充当事業(既存事業費等)を含めた横浜みどりアップ計画全体を対象とする特別会計により、横浜みどり税の使途を明確にします。

みどり保全創造事業費会計の財源について



5. 横浜みどりアップ計画市民推進会議

横浜みどりアップ計画の推進に向け、市民参加の組織により、みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民の方への情報提供等を行うことを目的として、公募市民や学識経験者などからなる「横浜みどりアップ計画市民推進会議」を2009年に設置し、2012年からは横浜市附属機関設置条例に基づく附属機関に位置付けています。

市民推進会議では、全体会議や各種部会、現地調査などにより、みどりアップ計画の評価・提案に向けた議論を行っているほか、報告書の発行や市民目線での情報発信を行い、市民推進会議の活動内容やみどりアップ計画の取組を紹介しています。

活動		取組内容
全体会議		みどりアップ計画の事業目標や事業進捗状況について意見交換し、報告書について検討
部会	施策別専門部会	みどりアップ計画の取組の柱ごとに、取組の内容と進捗状況について意見交換を行い、評価・提案について検討
	広報・見える化部会	市民目線での情報発信 みどり税やみどりアップ計画のわかりやすい伝え方の検討
	調査部会	みどりアップ計画の取組が進められている現場を調査
報告書の発行		みどりアップ計画の評価・提案等を報告書として発行

※活動の詳細は、【巻末資料】「横浜みどりアップ計画市民推進会議2024年度報告書」に掲載しています。

1 横浜みどりアップ計画の概要

第2章 2024年度の主な成果

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

柱の構成

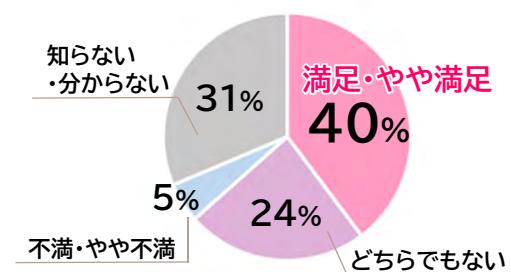
事業名	取組名
1 緑地保全制度による指定の拡大 ・市による買取り	1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り
2 良好的な森の育成	2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進 3 指定した樹林地における維持管理の支援
3 森に関わる多様な機会の創出	4 森づくりを担う人材の育成 5 森づくり活動団体への支援 6 森に関わるきっかけづくり 7 森の多様な楽しみづくり

実績のまとめ

●緑地保全制度により49.5haの樹林地の指定や、所有者の不測の事態等に対応して樹林地の買取りを進め、まとまりのある樹林地の保全を推進しました。●愛護会と連携して樹林地の保全管理計画を策定したほか、所有者への維持管理の助成など、良好な森の育成を進めました。●森づくり体験会や大学と連携したイベント開催など、森づくりを担う人材育成や市民が森に関わる機会を創出しました。

市民アンケート※の評価

まとまりのある森の保全の満足度



※2024年度実施
横浜市の緑の取組に関するアンケート調査

実績の概要

1. 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

緑地保全制度による新規指定を、旭区の川井宿町特別緑地保全地区や円海山近郊緑地特別保全地区などにおいて、単年度目標の36haを上回る49.5haの樹林地に対して行いました。また、土地所有者の不測の事態等に対応し、7.2haの樹林地を買取りました。みどりアップ計画開始以降の16年間で、1,132.1haを指定しており、計画開始前の3倍以上のスピードで樹林地の保全が進展しています。



川井宿町特別緑地保全地区(旭区)



円海山近郊緑地特別保全地区
(磯子区)



羽沢町具行特別緑地保全地区
(神奈川区)

樹林地保全の進展

これまでのみどりアップ計画

(2009~2023年度)

15年間1,082.5 ha

(72.2ha/年)

みどりアップ計画開始前

(1969~2008年度)

40年間861.9 ha

(21.5ha/年)

計画開始前の
3倍以上
のスピード
で保全を推進

2024年度
49.5ha



これまで1,132.1 haを指定

※端数処理により、面積の合計が一致していません。

2024年度の主な実績

	緑地保全制度による新規指定	市による買取り	保全した樹林地の整備
2024年度実績	49.5ha	7.2ha	推進
5か年の目標	180ha	100ha(想定)	推進

2 2024年度の主な成果

2. 良好な森の育成

森の多様な機能に着目した森づくりの推進

保全した樹林地の整備では、金沢区の(仮称)富岡東三丁目市民の森の公開に向けた設計を進めたほか、緑区の上山ふれあいの樹林で、地元愛護会と連携しながら保全管理計画を策定しました。

市民の皆様と
豊かな森を
育んでいます



保全管理計画の策定・現地打合せ
(緑区)

指定した樹林地における維持管理の支援

緑地保全制度により指定した民有地等の樹林地での、樹木のせん定等の維持管理費用を助成し、樹林地の維持を図っています。



維持管理の助成を行った樹林地(南区)



作業前 → 作業後

指定した森が
健全に保たれて
います

2024年度の主な実績

	森の維持管理	維持管理の助成
2024年度実績	推進	134件
5か年の目標	推進	750件

3. 森に関わる多様な機会の創出

森づくりを担う人材の育成

研修や森づくり体験会を実施し、市民の森づくり活動を促進しました。森づくりボランティアの活動では、基本的な研修からスキルアップのための研修など幅広い研修や体験会プランを設けることで、様々な世代の方に森づくりに関わってもらうことができました。



森づくり体験会(戸塚区)

森に関わるきっかけづくり

市内大学や関係団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

図書館と共に開催したイベントでは、ネイチャーゲームなどを通じて、子どもたちが自然や生き物に対する理解を深め、横浜の森について考える機会をつくりました。



森のネイチャーゲーム(瀬谷区)

学校と連携したきっかけづくり

小学校への出前授業では、市内大学の学生が講師役を務め、昆虫の体のつくりや生態などの紹介や、学生が制作したカードゲーム等を通して、子どもたちの森の生き物や自然に対する理解を深めることができました。



学生が講師を務める
出前授業(保土ヶ谷区)

2024年度の主な実績

	森づくりを担う人材の育成	森づくり活動団体への支援	市内大学や関係団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施	学校と連携したきっかけづくり
2024年度実績	10回	36団体	115回	推進
5か年の目標	50回	175団体	180回	推進

柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる

柱の構成



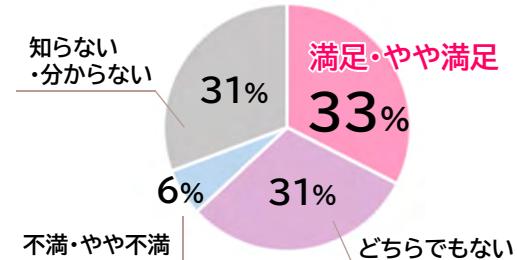
事業名	取組名
1 良好的な農景観の保全	8 水田の保全 9 特定農業用施設保全契約の締結 10 農景観を良好に維持する活動の支援 11 多様な主体による農地の利用促進
2 農とふれあう場づくり	12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進
3 身近に農を感じる地産地消の推進	14 地産地消にふれる機会の拡大
4 市民や企業と連携した地産地消の展開	15 地産地消を広げる人材の育成・支援 16 市民や企業等との連携

実績のまとめ

●市内の水田112.5haを、継続的に維持するための支援を行い、良好な農景観や生物多様性の保全など、多様な機能を持つ水田を保全しました。●気軽に楽しめる収穫体験農園の開設支援や横浜ふるさと村、恵みの里での農体験教室など、市民が農とふれあう場づくりを行いました。●直売所やマルシェ等の開設や、はまふうどコンシェルジュによるイベント開催などを支援し、市民が身近に農を感じる地産地消を推進しました。

市民アンケート※の評価

良好な農景観の保全の満足度



※2024年度実施
横浜市の緑の取組に関するアンケート調査

実績の概要

1. 良好的な農景観の保全

水田の保全

水田の継続的な保全の支援

市内の水田を、目標面積の97.8%保全しました。新規保全契約に向けた働きかけを丁寧に行つたことで、前年度の保全面積を上回ることができました。



寺家町(青葉区)



東俣野町(戸塚区)

貴重な
水田景観が
保全されて
います

多様な主体による農地の利用促進

遊休農地の復元支援

関係者などとの情報交換を図りながら遊休農地の復元を支援し、貸付けを促進したこと、新たな担い手による耕作につながり、農景観の保全を推進しました。



遊休農地の復元(緑区)



復元前 → 復元後



上飯田町(泉区)



田谷町(栄区)

2024年度の主な実績

	水田保全面積	遊休農地の復元支援
2024年度実績	112.5ha	0.89ha
5か年の目標	115ha	3.0ha

2 2024年度の主な成果

2. 農とふれあう場づくり

様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園の開設に向けて必要な設備の設置等を支援し、イチゴやブルーベリーなど様々な収穫体験ができる場づくりを進めました。



▲収穫体験農園
ナシ狩り(緑区)

市民が農を楽しみ支援する取組の推進

横浜ふるさと村、恵みの里において、体験水田やよもぎ団子教室等、農家による農体験の機会を提供し、市民が農とふれあう場づくりを行いました。



新治恵みの里
冬野菜作り教室(緑区)



柴シーサイド恵みの里
じゃがいも掘り(金沢区)

2024年度の主な実績

	様々なニーズに 合わせた農園の開設	横浜ふるさと村、恵みの里で 農体験教室などの実施	コーディネーター 派遣	市民農業大学講座 の開催
2024年度実績	3.38ha	119回	12回	35回
5か年の目標	19.5ha	450回	50回	175回

3. 身近に農を感じる地産地消の推進

地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

直売所に必要な設備の導入等を支援したほか、直売所やマルシェ等の開催により、市民が楽しみながら農畜産物を購入できる機会を拡大しました。



▲杉田野菜直売会
(磯子区)



みなとみらい農家朝市
(西区)

2024年度の主な実績

	直売所・青空市等の 支援	緑化用苗木等の 配布	市内産花苗の 公共施設等での活用
2024年度実績	62件	27,084鉢	2件
5か年の目標	285件	125,000鉢	10件

4. 市民や企業と連携した地産地消の展開

地産地消を広げる人材の育成・支援

はまふうどコンシェルジュ育成講座の開催

育成講座を通じて横浜の農業や地産地消に対する理解を深めた受講生が、講座修了後に地産地消の普及・啓発活動を積極的に行っています。

はまふうどコンシェルジュ

・よこはま地産地消サポート店の活動支援

はまふうどコンシェルジュなどの開催するマルシェや農体験、放課後キッズクラブなどと連携したイベントの開催支援などにより、多くの市民が横浜の農畜産物にふれる機会を創出しました。



市民が横浜の
農畜産物にふれる
機会が増えています

▲はまふうど
コンシェルジュ
育成講座(緑区)

2024年度の主な実績

	はまふうどコン シェルジュ育成 講座の開催	はまふうどコンシェル ジュ・よこはま地産地消 サポート店の活動支援	市民や 企業等 との連携
2024年度 実績	1回	37件	15件
5か年の目標	5回	150件	75件

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

柱の構成

事業名

1 まちなかでの緑の創出・育成

2 緑や花があふれる地域づくり

3 子どもを育む空間での緑の創出・育成

4 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成

取組名

17 シンボル的な緑の創出・育成

18 街路樹による良好な景観づくり

19 公開性のある緑空間の創出支援

20 建築物緑化保全契約の締結

21 名木古木の保存

22 地域緑のまちづくり

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

24 人生記念樹の配布

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

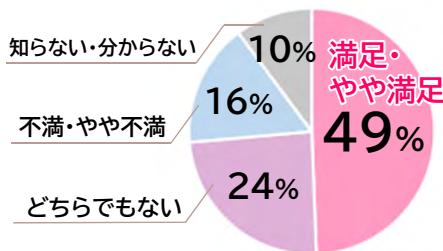


実績のまとめ

●緑の少ない市街地でも身近に緑や花を実感できるよう、鶴見区の北寺尾六丁目サムエル公園を公開したほか、地域で愛されている桜並木の再生などにより、街路樹による良好な景観づくりを進めました。●地域で取り組む緑のまちづくりを進めるため、緑化の計画づくりや植栽、花壇の整備を支援しました。●校庭・園庭の芝生化、植樹など、子どもを育む空間での緑の創出を行いました。●山下公園などの都心臨海部等で緑や花による魅力ある空間づくりを進めました。

市民アンケート※の評価

街など身近な場所での緑化の満足度



※2024年度実施
横浜市の緑の取組に関するアンケート調査

実績の概要

1. まちなかでの緑の創出・育成

シンボル的な緑の創出・育成

公共施設・公有地での緑の創出

旭図書館と白根地区センター、隣接する公園も含めて散策の楽しみが広がるよう芝生による緑化等を行いました。



白根地区センター(旭区)

公有地化によるシンボル的な緑の創出・育成

これまで地域に親しまれてきた広場の一部を、災害時のいっぽき避難所などにも利用できるよう整備し、北寺尾六丁目サムエル公園として公開しました。



北寺尾六丁目サムエル公園(鶴見区)

街路樹による良好な景観づくり

大岡川プロムナード、環状4号線、美しが丘中学校サクラ通りなど、地域で愛されている桜並木の再生などを行いました。



大岡川プロムナードの並木の再生(南区)

2024年度の主な実績

	シンボル的な緑の創出・育成	街路樹による良好な景観づくり	公開性のある緑空間の創出支援
2024年度実績	緑の創出 3か所	18区で推進	推進
5か年の目標	緑の創出 5か所	18区で推進	推進

2 2024年度の主な成果

2. 緑や花があふれる地域づくり

地域緑のまちづくり

各地域において、緑化の計画づくりの支援や、花壇の整備、寄せ植えなどの研修費用を助成するとともに、アドバイザー派遣などにより、地域で取り組む緑や花のまちづくりを進めています。



地域緑のまちづくり 野庭団地
地区での花壇の手入れ(港南区)

地域に根差した緑や花の楽しみづくり

市民が心を込めて育てている庭や花壇を巡る「オープンガーデン」や各区での公園愛護会を対象とした花壇講習会などの実施は、緑と花を通じた地域のつながりやコミュニケーションの活性化にもつながっています。



港北オープンガーデン
(港北区)

2024年度の主な実績

	地域緑の まちづくり	緑や花を身近に 感じる各区の取組	人生記念樹の 配布
2024年度実績	7地区	18区で推進	6,915本
5か年の目標	35地区	18区で推進	40,000本

3. 子どもを育む空間での緑の創出・育成

保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

子どもたちが多くの時間を過ごす場所で緑に親しめるよう、校庭・園庭の芝生化やビオトープ整備、花壇づくり、植樹などにより、多様な緑を創出しました。



山田小学校ビオトープ整備
(都筑区)

2024年度の主な実績

	緑の創出	緑の維持管理
2024年度実績	28か所	推進
5か年の目標	100か所	推進

4. 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成

2024年度の主な実績

	都心臨海部等の緑花による 魅力ある空間づくり
2024年度実績	推進
5か年の目標	推進



山下公園(中区)



港の見える丘公園(中区)



日本大通り(中区)

効果的な広報の展開

柱の構成

事業名

1 市民の理解を広げる広報の展開

取組名

27 計画の周知や実績報告

実績のまとめ

- デジタルサイネージでの動画放映、市民向けイベントブースを出展してのPRやタペストリー展示等を行い、「横浜みどりアップ計画」及び「横浜みどり税」の周知を進めました。

実績の概要

1. 市民の理解を広げる広報の展開



JR関内駅北口サイネージ
(中区)



よこはま動物園ズーラシア 横断幕
(旭区)



農と緑のふれあい祭り
(保土ヶ谷区)



よこはまこどもみどりアップリーフレット



北寺尾六丁目サムエル公園
現地看板(鶴見区)



都筑区役所での展示(都筑区)

	計画の周知や実績報告
2024年度実績	推進
5か年の目標	推進

第3章 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組 1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

取組内容

緑地保全制度に基づく地区指定による樹林地の保全

土地所有者ができるだけ樹林地を持ち続けられるよう、固定資産税等の減免などの優遇措置の適用や維持管理などの負担軽減が可能となる緑地保全制度による指定を進め、樹林地等を保全します。

土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

特別緑地保全地区の指定地等で、所有者に不測の事態等が発生し、市へ土地の買入れ申し出があった場合に、市が買取りに対応します。

保全した樹林地の整備

市民の森や市が取得した樹林地について、良好に維持管理するため、管理に必要なスペースの確保、柵の設置やのり面の安全対策、越境している樹木等のせん定や間伐などを行います。また、市民の森では、散策路などの市民が自然に親しむための施設の整備を行います。

2024年度の実績

進捗状況

	緑地保全制度による新規指定	市による買取り	保全した樹林地の整備
2024年度実績	49.5ha	7.2ha	推進
5か年の目標	180ha	100ha(想定)	推進
進捗率	27.5%	7.2%	-

事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2024年度決算額	4,099百万円	974百万円
5か年の計画額	25,166百万円	3,706百万円
執行率	16.3%	26.3%

実績の概要

緑地保全制度による新規指定

旭区の追分特別緑地保全地区や磯子区の円海山近郊緑地特別保全地区など、49.5haを新規指定しました。



追分特別緑地保全地区(旭区)

市による買取り

緑区の新治市民の森や、泉区の和泉町大坪特別緑地保全地区などで7.2haを買取りました。



和泉町大坪特別緑地保全地区(泉区)

保全した樹林地の整備

市民の森や特別緑地保全地区等の樹林地における、斜面地の安全性を高めるためののり面整備工事に向けて、地質調査や測量、詳細設計などを行いました。また、がけ地等での防災工事や、住宅等に越境した樹木のせん定、伐採作業を実施しました。

劣化した木製の柵や階段を擬木の製品に更新して、長く使えるように整備したほか、樹林地の保全範囲を明示するための柵や土砂流出等を未然に防ぐための土留め、管理車両用の駐車スペース等の整備を進めました。

また、市民の森の散策路や野外卓、案内板などを設計したほか、散策路などの工事を進めました。



園路の整備(港南区)



土留めの設置(旭区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



取組への工夫点・課題等

緑地保全制度による新規指定

緑地保全制度の情報を必要な方に届けられるよう、土地所有者を訪問して直接働きかけるだけでなく、土地や財産管理等の相談を受ける機会の多いJA横浜に緑地保全制度を紹介するなど、様々な方法により周知しました。

保全した樹林地の整備

金沢区の(仮称)富岡東三丁目市民の森では、隣接する公園と一体的に回遊できる空間を整備するため、周辺の地形や施設の状況を踏まえた園路設計を行いました。

また、朝比奈特別緑地保全地区では、安全確保と緑の保全の両立を図るために緑化を含む対策工法を採用し、景観にも配慮しながら、がけ地を整備しました。

市民推進会議からの評価コメント

緑地保全制度による新規指定

緑地保全制度に関する案内をいただきますが、制度が複雑でわかりにくいと感じています。パンフレット等を用いての説明に加えて、市による説明会や、JA横浜など土地所有者に身近なところからの説明を通じて、積極的な制度案内に取り組んでください。

保全した樹林地の整備

買取り直後や手続き中の樹林地では、立ち入ってはいけない場所に人が入り込んでしまう場合もあるようです。まずは、柵や看板の設置などにより、市が買い取ったまたは買取り手続き中の樹林地であることをわかりやすく周知することを検討してください。

土地所有者の声



代々受け継いできた樹林地を残したいが、維持管理の負担が大きい。

緑地保全制度の指定を受けて、今後も樹林地を守っていきたい。

今後の進め方

緑地保全制度による新規指定

緑地保全制度に基づく緑地の指定にあたっては、過去に制度をご案内したものの、指定に至らなかつた土地所有者に対し、改めて働きかけを進めます。さらに、既に指定した樹林地に隣接する土地の所有者に積極的に働きかけことで、よりまとまりのある大きな樹林地として保全できるよう取り組んでいきます。制度等のご案内に当たっては、わかりやすさに一層留意し工夫していきます。

また、JA横浜など、土地所有者にとって関連のある団体を通じた説明をはじめ、様々な機会をとらえて、効果的な制度の周知に取り組んでいきます。

保全した樹林地の整備

これまでに地域の意見を伺いながら設計等を進めた市民の森において、開園に向けた工事に着手しました。今後とも、地域の皆様が安全で快適に楽しめる市民の森となるよう、必要な整備を推進していきます。また、取得直後の緑地については、必要に応じて仮設柵の設置や現地での周知等、立ち入りを防止する取組を進めていきます。

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組 2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

取組内容

森の維持管理

市民の森、ふれあいの樹林、市有緑地及び都市公園内のまとまった樹林地を対象に、生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成、防災・減災、地球温暖化対策への寄与など森が持つ多様な機能が発揮できるように、利用者や樹林地周辺の安全にも配慮しながら、良好な森づくりを進めます。

森づくりにあたっては、地域の特性等を踏まえて策定した保全管理計画や森づくりガイドラインに沿って、愛護会など多様な主体と連携しながら実施します。

2024年度の実績

進捗状況

森の維持管理	
2024年度実績	推進
5か年の目標	推進
進捗率	-

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	689百万円	679百万円
5か年の計画額	3,783百万円	3,763百万円
執行率	18.2%	18.0%

実績の概要

森の維持管理

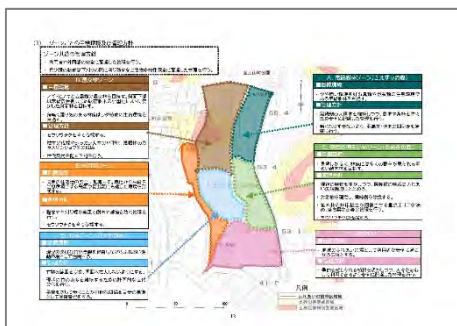
市民の森や公園利用者の安全を図るため、危険樹木の伐採やせん定を行いました。住宅地などに接している箇所では、越境した枝のせん定や、外周部の草刈りなどを行うことで、周辺住民の安全を確保するとともに理解や協力を得ることができました。

また、緑区の上山ふれあいの樹林では、地元愛護会と連携しながら保全管理計画を策定しました。



道路沿いの草刈りの実施
(杉田坪呑緑地 磐子区)

隣接地沿いの草刈りの実施
(鴨志田公園 青葉区)



保全管理計画の策定に向けた
現場での打合せ
(上山ふれあいの樹林 緑区)

策定した保全管理計画
(上山ふれあいの樹林 緑区)

保全管理計画
フォローアップ研修
(柏町市民の森 旭区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

森の維持管理

旭区の今宿市民の森や鶴ヶ峰ふれあいの樹林などでは、保全管理計画策定後のフォローアップ研修等を通じて、樹林地の維持管理担当者や各地の愛護会の方々が、生物多様性や希少植物等の保全に対する理解を深めることができました。

良好な森づくりには、多様な主体との連携や、愛護会の方々が活動できるような継続支援が必要になります。今後も、愛護会の方々が活動継続できるよう、様々な支援方法の検討に取り組んでいきます。

市民推進会議からの評価コメント

森の維持管理

地球温暖化の影響により、樹林地の状況が変化しつつあります。樹林地の抱える課題の変化に対応したみどり税の活用を検討してください。

個々の実情にあわせて策定する保全管理計画は、他都市ではあまり見ない取組として評価しています。引き続き推進してください。

「良好な森」とは、市民が安全・快適に入れて楽しめる場だと考えています。動植物を育む手つかずの自然を残しつつ、散策路の周りは明るくする等の先を見据えた維持管理を引き続き進めてください。

今後の進め方

森の維持管理

より多くの市民の方々に参加いただき、地域や愛護会との連携も深められるよう、安全で心地よい樹林地を目指して、森づくりの取組を進めていきます。

また、将来とも良好な樹林地を維持していくため、樹林地ごとに変化している課題に留意し、維持管理作業に反映していきます。



3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組 3 指定した樹林地における維持管理の支援

取組内容

維持管理の助成

樹林地を所有する方の維持管理負担を軽減し、樹林地の安全性の向上などを図るため、緑地保全制度により指定した樹林地の外周部で土地所有者が行う危険・支障樹木のせん定・伐採、草刈りなどの管理作業や、樹林地内部の倒木や枯れ木の撤去処分、台風による被害に対する作業などの費用の一部を助成します。

2024年度の実績

進捗状況

維持管理の助成	
2024年度実績	134件
5か年の目標	750件
進捗率	17.9%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	137百万円	137百万円
5か年の計画額	836百万円	836百万円
執行率	16.4%	16.4%

実績の概要

維持管理の助成

樹林地の外周部における樹木のせん定・伐採、竹林の伐採や、草刈り、土砂流出防止等のための土留めや不法投棄防止等のためのフェンスの設置など、134件の維持管理の助成を行い、土地所有者の維持管理負担を軽減しました。



維持管理の助成を行った
樹林地(南区)

維持管理の助成を行った
樹林地(保土ヶ谷区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



取組への工夫点・課題等

維持管理の助成

2024年度よりホームページからの電子申請の受付を開始し、申請者の事務の手間や書類送付にかかる費用の負担を減らすことができました。

台風被害に対する維持管理の助成について、近年の風水害の状況を踏まえ、台風以外の風水雪害の被害に対しても助成が適用できるよう、要綱を改正しました。引き続き、所有者のニーズ踏まえて柔軟に対応していきます。

維持管理の助成利用者の声



自分の手では作業ができない箇所について制度を活用することで、維持管理の負担が軽減しました。

書類の作成に手間がかかりましたが、施工をお願いした造園業者にも相談して、無事に作業を終えることができました。

今後の進め方

維持管理の助成

夏季の気温上昇や自然災害が激甚化しているなか、土地所有者の維持管理への負担を軽減し、未然の被害防止につなげていくため、今後とも従来の維持管理助成に加えて、風水雪害の被害に対する助成制度について多くの方々に周知していきます。また、必要となる制度の改良に向けた検討を進めていきます。



3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組 4 森づくりを担う人材の育成

取組内容

森づくりを担う人材の育成

森づくりボランティアの登録者や森づくり活動に取り組む団体を対象に、基本的な知識と安全確保を学ぶための研修や、活動のスキルアップのための研修を開催します。また、市民が森づくり活動に気軽に参加できる機会をつくるとともに、個人の森づくりボランティアと愛護会や森づくり活動団体との橋渡しの取組を進めます。

広報誌等での森づくり活動に関する情報発信

ニュースレターやウェブサイトを活用し、森づくりに関する情報発信を行います。

2024年度の実績

進捗状況

	森づくりを担う 人材の育成	広報誌等での森づくり 活動に関する情報発信
2024年度実績	10回	4回
5か年の目標	50回	20回
進捗率	20.0%	20.0%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	11百万円	11百万円
5か年の計画額	78百万円	78百万円
執行率	14.1%	14.1%

実績の概要

森づくりを担う人材の育成

研修や森づくり体験会を実施し、市民の森づくり活動を促進しました。森づくりボランティアの活動に対して、基本的な研修からスキルアップのための研修など幅広い研修や体験会プランを設けることで、様々な世代の方に森づくりに関わってもらうことができました。



森づくり体験会(戸塚区)



安全管理研修(旭区)



横浜市の森づくり塾！
(緑区)

広報誌等での森づくり活動に関する情報発信

ニュースレターを4回発行したほか、ウェブサイトを活用した森づくりに関する情報発信を行い、森づくりボランティアや森づくり活動団体の活動の円滑化や活性化につなげました。



よこはまの森ニュースレター
(第121号 表面)



よこはまの森ニュースレター
(第121号 裏面)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



取組への工夫点・課題等

森づくりを担う人材の育成

森づくり活動団体向けの安全管理研修で安全管理マニュアル作りについて紹介し、多くの団体に樹林地ごとのマニュアルを作成していただき、安全への意識を高め、事故の予防に役立てています。

より多くの方に安全な森づくり活動の基礎を学んでいただくため、eラーニングでの研修を実施しました。

また、森づくりボランティアのほか、若い世代の方にも森づくり活動に関わっていただけるよう、大学生向けの研修を実施しました。

広報誌等での森づくり活動に関する情報発信

ニュースレターやウェブサイトを活用し、森づくりに関する情報発信を行っています。団体の活動紹介を充実させることや森に親しみやすいトピックを紹介することで、読者の興味を引き、森づくり活動への理解を深めてもらうことで、団体の活動への参加を促しました。

森づくり体験会参加者の声



作業前の安全確認について教えていただき、安心して作業に入れました。

地元に貢献できたと感じることができ、とてもよかったです。

今後の進め方

森づくりを担う人材の育成

市民の方々が森づくり活動に求める内容は親子による入門体験や愛護会による活動など多岐にわたることから、より多くの市民の方々の多様なニーズに対応できるよう、体験会やボランティア派遣等の形を今後も改良していきます。

研修のあり方についても、さらに参加しやすく充実した内容になるよう取組を進めます。

広報誌等での森づくり活動に関する情報発信

森づくりボランティアや活動団体に向けた情報発信については、よこはまの森ニュースレターやウェブサイトだけでなくチラシやSNSなどを活用して、より多くの市民に向けて森づくり活動の情報提供を進めていきます。

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組 5 森づくり活動団体への支援

取組内容

森づくり活動団体への支援

市民の森や都市公園内のまとまった樹林で活動する団体を対象に、森づくりに必要な道具の貸出しを行います。また、活動に対する助成などの支援を行います。

また、維持管理作業の際に発生した間伐材などを樹林地内でチップ化したり、樹名板を作成するなどの活用を推進します。

2024年度の実績

進捗状況

森づくり活動団体への支援	
2024年度実績	36団体
5か年の目標	175団体
進捗率	20.6%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	10百万円	9百万円
5か年の計画額	42百万円	37百万円
執行率	23.8%	24.3%

実績の概要

森づくり活動団体への支援

市民の森や都市公園内のまとまった樹林で活動する団体に対し、森づくり活動に必要な道具の貸出しや樹木の伐採、刈払機の使用等に係る外部研修の受講費用の助成を行うなど、各団体の森づくり活動への支援を行いました。

また、維持管理作業の際に発生した間伐材などを樹林地内でチップ化する団体に対し、機械(チッパー・シュレッダー)の貸出しなどの支援を実施し、間伐材などの有効活用を図りました。



外部講師を招いた樹木の伐採作業への支援(旭区)



間伐材のチップ化(金沢区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



取組への工夫点・課題等

森づくり活動団体への支援

森づくりに必要な道具の貸出しメニューに、新たに呼子笛(よびこぶえ)や移植ごて、竹割り器を加えました。また、携帯式のAED(自動体外式除細動器)の貸出しを新たに2団体に行いました。

森づくり活動に対する助成制度については、樹木の伐採や刈払機の使用等に係る外部研修の受講費用を、助成金の対象に追加しました。

維持管理作業で発生する間伐材を樹林地内でチップ化するための機械(チッパーシュレッダー)の貸出しに対して、例年以上の新規申込みがありました。初めて利用する団体には、安全に使用できるように、事前見学や研修を実施しました。

土地所有者や参加者の声



作業研修で実際に竹割り器を使用して、簡単に楽しく作業ができました。次回はぜひ貸出しを受けたいと思いました。

間伐材のチップ化作業支援を受けるのは初めてでしたが、事前に作業の見学や、研修を受けたことにより、間伐材の集積や周辺住民への周知など、事前の準備をしっかりと行って支援を受けることができました。

今後の進め方

森づくり活動団体への支援

今後とも、森づくり活動団体のニーズや安全対策上の必要性を把握しながら、適宜、必要な道具を選定し、貸出し等の対応を進めます。

活動に対する助成や、専門家派遣による支援などの内容を見直しながら、森づくり活動の安全確保や間伐材などの有効活用を進めます。



取組 6 森に関わるきっかけづくり

取組内容

多様な主体と連携した楽しみづくり

地域に根差した各区での取組や大学など多様な主体と連携したイベントや広報の取組を進めます。また、森を活用した体験や学習ができる仕組みづくりなど、学校と連携した森を楽しむきっかけづくりに取り組みます。

ウェルカムセンターの運営

ウェルカムセンターにおける展示解説や自然体験、環境学習の機会の提供等を、企業のCSR活動などと連携しながら実施し、基本的な森の楽しみ方から森の魅力まで、市民が森について理解を深めるための取組を推進します。

森に関する情報発信

市民の森・ふれあいの樹林のガイドマップを作成し、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを推進します。

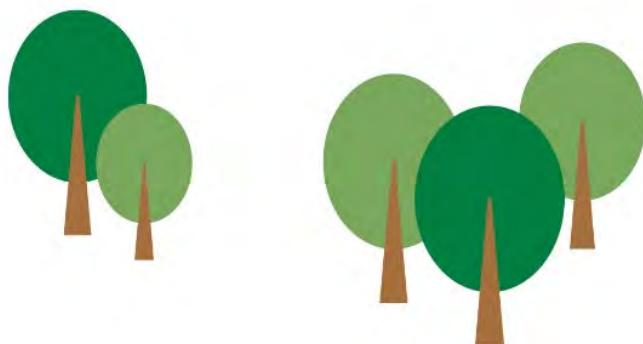
2024年度の実績

進捗状況

	市内大学や関係団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施	学校と連携したきっかけづくり	ウェルカムセンターでの森のマナーアップにつながるイベント等
2024年度実績	115回	推進	10回
5か年の目標	180回	推進	50回
進捗率	63.9%	-	20.0%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2024年度決算額	52百万円	14百万円
5か年の計画額	315百万円	115百万円
執行率	16.5%	12.2%



3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

実績の概要

市内大学や関係団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの開催

市内大学や関係団体等との連携や、区主催によるイベントを115回開催しました。

市内大学と連携した「よこはま森の楽校」や、子どもたちが自然や生き物に対する理解を深め、横浜の森について考えることができるネイチャーゲームを組み入れたイベントを市立図書館と共に開催しました。

また、市内の樹林地を手入れする際に発生した間伐材を活用したクラフトキットを作成し、市内各所でのクラフト教室の開催や、各種イベントでの配布によって、木にふれあう機会をつくりました。



森のネイチャーゲーム(瀬谷区)



クラフト教室(鶴見区)

学校と連携したきっかけづくり

環境活動支援センターでは、横浜市児童遊園地内の緑地等をフィールドにした環境教育として、近隣小学校での出前授業を東京都市大学と連携して実施しました。

出前授業は、昆虫の体のつくりや生態、在来種と外来種の違いについて学ぶ講義と、カードゲームという遊び要素の組み合わせで、子どもたちの森の生き物や自然への理解を深める内容としました。

東京都市大学の学生が講座で使用したカードゲームを制作し、講師役を務めました。



学生が講師を務める
出前授業(保土ヶ谷区)



出前授業での
カードゲームの様子(保土ヶ谷区)

ウェルカムセンターでの森のマナーアップにつながるイベント等

ウェルカムセンター各館において、森のマナーアップに関するイベントや展示を行いました。



マナー啓発展(保土ヶ谷区)



マナーアップのチラシ(緑区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

市内大学や関係団体などとの連携や区主催によるイベントの実施

市内大学との連携事業では、森に関わるイベントの実施形態などに応じて大学への助成額を増やし、大学側の負担軽減に取り組みました。また、市立図書館と連携した森のネイチャーゲーム事業では、イベントの参加対象者である小学生だけでなく、ネイチャーゲームに興味をもつ大学生が講師役として参加できるようにして、幅広い年齢層に森に関わるきっかけを提供しました。

学校と連携したきっかけづくり

通常の応募型のイベントと異なり、小学校のクラス単位の授業では、興味のない子どもたちも含まれると考えられましたが、ゲーム要素を取り入れた「遊び」を通じて「学んで」もらうことで、より多くの子どもたちの理解と関心を自然に高めることができました。講座後は、子どもたちが身近な外来種について会話をする様子が見られ、事業の効果を実感しています。

ウェルカムセンターでの森のマナーアップにつながるイベント等

パネルやチラシを作成するなど参加者が楽しみながら森のマナーについて学べるイベントを行いました。

また、外来種の生体展示など、来場者の興味を引く工夫を取り入れながら、様々な手法で森のマナーについて啓発を行いました。

市民推進会議からの評価コメント

これまで樹林地に関わってこなかった人にも知つてももらえるよう区役所などの多くの方が利用する場所に市民の森ガイドマップを配架することで、興味を持ってもらうための情報発信につながると考えています。

市民の森ガイドマップや保全管理計画に加え、個々の樹林地についての紹介や集めた情報も分かりやすく発信していけば、若者が樹林地へ興味を持つきっかけになるのではないかでしょうか。

参加した子どもや保護者の声



子どもが熱中できるイベントが多く良かった。
大学生が優しく教えてくれた。

間伐材でできたキーホルダーを丁寧に色付けし、大切そうに持ち帰っていました。

身近にいる外来種を知ることで、生きものをやみに放してはいけないことを学べました。

今後の進め方

市内大学や関係団体などとの連携や区主催によるイベントの実施

市内大学と連携したイベントでは、周知や広報の手段について検討を進め、より多くの方々が参加がしやすいような環境づくりに取り組みます。また、各区での催しでは、クラフト教室をはじめ、現在のイベントをさらに充実させた内容を実施できるよう進めていきます。

ウェルカムセンターでの森のマナーアップにつながるイベント等

市民の森等におけるルールやマナーの周知のため、引き続き、現地をはじめ、ウェブサイト、ガイドマップ等を活用して、フィールドマナーについて情報発信します。ウェルカムセンターでは、森のマナーアップに関する子ども向けの展示を各館で行い、啓発に力を入れていきます。

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組 7 森の多様な楽しみづくり

取組内容

市民の森の開園

保全した森を、地域との連携や必要な整備等を行い「市民の森」として開園し、市民が自然に親しみ、憩える場として活用していきます。

地域における多様な森の利活用

森の機能を保ち、魅力を高めるため、樹林地周辺の施設や環境等の状況を踏まえた利活用計画の検討や地域における多様な森の利活用を進めます。

2024年度の実績

進捗状況

	市民の森の開園	地域における 多様な森の利活用
2024年度実績	0か所	推進
5か年の目標	5か所	推進
進捗率	0.0%	-

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	4百万円	4百万円
5か年の計画額	30百万円	30百万円
執行率	13.3%	13.3%

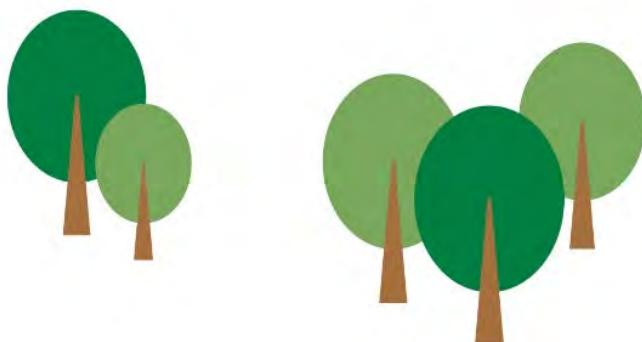
実績の概要

市民の森の開園

2024年度に開園した市民の森はありませんが、5か所の予定地で市民の森の開園に向けた設計や一部工事を進めています。

地域における多様な森の利活用

樹林地周辺の施設や環境などの情報を整理するほか、他都市における利活用事例について調査し、横浜という都市の樹林地としての特性を活かした利活用計画について検討しました。



3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



取組への工夫点・課題等

市民の森の開園

市民の森の開園に向け、現在5か所の予定地で樹林地の自然条件や周囲の環境などの特色を踏まえた基本計画の策定や、地域との協議を進めており、整備に一部着手しました。

地域における多様な森の利活用

樹林地をアクセス性や周囲の公共施設の有無などによりタイプを類型化し、樹林地を含めた一帯のエリアでどのような利活用がふさわしいのか検討を進めています。

森づくり体験会参加者の声



樹林地の中を散策して、自然とふれあえるようになるとよい。

子どもたちに緑を残すことが大切だと思う。

今後の進め方

市民の森の開園

早期開園を目指し、引き続き、地域との話し合いや緑地の特性や地域のニーズを反映した計画づくりを進めていきます。また、計画が定まった市民の森から、順次整備を進めます。

地域における多様な森の利活用

これまでの検討内容を踏まえて、森の多様な利活用に関する具体的な取組に順次着手し、暮らしの身近にある横浜の森の魅力を、より多くの市民に感じていただけるよう、事業を展開します。



取組 8 水田の保全

取組内容

水田の継続的な保全の支援

土地所有者が水田を維持し、水田景観の保全や多様な機能が発揮できるよう、水稻作付を10年間継続することを条件に、奨励金を交付します。また、保全された水田の維持管理に対する支援を行います。

良好な水田景観保全のための水源・水路の整備

水田景観の保全を図るために、井戸や水路等の水田に必要な施設等の整備を支援します。

2024年度の実績

進捗状況

	水田保全面積	水源・水路の整備
2024年度実績	112.5ha	3件
5か年の目標	115ha/年	25件
進捗率	97.8%	12.0%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	84百万円	47百万円
5か年の計画額	536百万円	236百万円
執行率	15.7%	19.9%

実績の概要

水田の継続的な保全の支援

市内の水田を112.5ha、目標面積の97.8%を保全しました。



青葉区寺家町



戸塚区東保野町



泉区上飯田町



栄区田谷町

良好な水田景観保全のための水源・水路の整備

川の水を水田に引き込むための取水施設や、水田の排水性を改善するための水路など、水稻の栽培に欠かすことができない施設の整備を3件、支援しました。



水田の暗きよ排水の整備
(青葉区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



取組への工夫点・課題等

水田の継続的な保全の支援

市内の水田自体は減少傾向にありますが、新規申し出に向けた働きかけを丁寧に行ったことで、前年度の保全面積を上回ることができました。

良好な水田景観保全のための水源・水路の整備

水源や用水路の老朽化が進む中、劣化が進んだ箇所を優先して地区を選定し、支援を実施しました。

市民推進会議からの評価コメント

水田の継続的な保全の支援

みどりアップ計画の支援がなければ水田はここまで残っていなかったと思います。

水田の持つ生産機能に加え、生物多様性の保全などのさまざまな機能を発揮していくためにも、保全すべき水田を今後も残せるよう支援の継続をお願いします。

土地所有者の声



高齢で、水田の管理が難しくなってきていたところ、市から事業案内があったので、利用することにしました。おかげで水田を維持することができています。

稲作にとって水は生命線であり、用水の確保は大変重要です。井戸や用水路の整備が進むことで、安心して営農を続けられます。

今後の進め方

水田の継続的な保全の支援

引き続き、土地所有者に新規申し出に向けた働きかけを行うとともに、あわせて水田の維持管理に対する支援も案内することで、水田保全面積の維持に努めます。

良好な水田景観保全のための水源・水路の整備

水田の風景を守るために、実際に耕作している農家の皆様や、取水施設・用水路を維持管理している農業者団体の活動が欠かせません。こうした活動が今後も継続できるよう、地域の状況や要望を踏まえて、営農に必要な施設の老朽化対策などを進めていきます。

取組 9 特定農業用施設保全契約の締結

取組内容

特定農業用施設保全契約の締結

農地所有者の負担軽減と農地の保全を図るため、農地を10年間適正に管理することと、農地の保全に不可欠な農業用施設を10年間継続利用することを条件として、農家の住宅敷地内等にある農業用施設用地の固定資産税・都市計画税を10年間軽減します。

2024年度の実績

進捗状況

特定農業用施設 保全契約の締結	
2024年度実績	制度運用
5か年の目標	制度運用
進捗率	-

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	2百万円	-
5か年の計画額	10百万円	-
執行率	20.0%	-

実績の概要

特定農業用施設保全契約の締結

新規、更新あわせて24件の特定農業用施設保全契約を結び、農家の負担軽減と、営農の継続及び農地の保全につなげました。



農機具格納庫(緑区)



農機具格納庫(泉区)



出荷調整施設、農機具格納庫
(瀬谷区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能

- 多様な生き物のすみか
- 美しく潤いのある景観
- 健康づくり・コミュニティ
- 自然・農体験
- 暑さをやわらげる
- 防災・減災
- 街なかの魅力向上・賑わいの創出

取組への工夫点・課題等

特定農業用施設保全契約の締結

概ね計画どおりの進捗となり、申し出に対する着実に対応しました。

制度開始から15年以上が経過していることから、制度の周知とともに、今後制度運用の振り返りも必要と考えています。

土地所有者の声



固定資産税が軽減されることで農地保全に対する意識が高まり、営農意欲につながっています。

今後の進め方

特定農業用施設保全契約の締結

引き続き、申し出に対する特定農業用施設保全契約の締結を進めます。JA横浜などと連携し制度の周知を図っていきます。



3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

取組内容

まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

良好な農景観を形成するため、水路等での清掃活動や農地縁辺部への植栽、水源を確保するための井戸の整備などに対して支援します。また、農地周辺の環境を良好に維持するため、土砂流出を防止する活動に対する支援や農地周辺の不法投棄対策を進めます。

周辺環境に配慮した活動への支援

都市の中で農景観を維持するためには、農地の周辺にお住まいの方々の農業への理解が必要です。このため、農地周辺の環境に配慮した取組や、農作業等により生じるせん定枝などをたい肥化する活動などに対して支援します。

2024年度の実績

進捗状況

	まとまりのある農地を良好に維持する 団体の活動への支援		周辺環境に配慮した活動への支援	
	集団農地維持 活動団体	農地縁辺部への 植栽	農景観保全整備	環境配慮支援
2024年度実績	57団体／年	23件	8件	5件 5.0ha
5か年の目標	60団体／年	75件	40件 20ha	
進捗率	95.0%	30.7%	20.0%	20.0% 25.0%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	106百万円	10百万円
5か年の計画額	467百万円	67百万円
執行率	22.7%	14.9%

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

実績の概要

集団農地維持活動団体

57団体によって、農地周辺の草刈や水路清掃などの適正な管理が行われています。



舞岡農業専用地区協議会(戸塚区)

農景観保全整備

まとまりのある農地を維持するために必要な水源の整備や、畠からの土砂流出を防止する対策を支援しました。



畠に水を送るポンプの更新(都筑区)

緑肥作物等による環境対策

土ぼこりの発生や耕作土の流失を防止するため、畠での緑肥作物等の栽培を5.0ha支援しました。

農地縁辺部への植栽

23団体が農地縁辺部等で景観植物の植栽管理などを行っており、農景観の保全が図られています。



折本農業専用地区観音山協議会(都筑区)

環境配慮支援

農作業等により生じるせん定枝などをたい肥化する活動を5件支援しました。



チッパーシュレッダーの導入支援(栄区)



生育中の緑肥作物(港北区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組への工夫点・課題等

集団農地維持活動団体

農政事務所を通して、活動を行う農業者団体の確保に努めました。また、活動内容についての相談に丁寧に対応するなど、農地周辺の良好な景観維持につなげました。

農家の活動によって管理されている農景観を市民の皆様に楽しんでいただきたい半面、散策者が農地に立ち入ってしまうなど営農への影響が懸念されるため、マナー啓発等についても考えていく必要があります。

農地縁辺部への植栽

地区によっては、高齢化等により参加者が減少している農家団体があることから、参加者の確保に向けて、様々な機会を捉えて事業説明などを行いました。

農景観保全整備

施設の老朽化を背景に、ポンプの更新など数多くの要望があることから、整備の優先度を考慮しながら地区を選定し、取組を進めています。

環境配慮支援

ご要望の多かった、害虫を捕食する生物を用いた天敵農薬を補助メニューに追加し、化学農薬を低減させる取組を進めました。

緑肥作物等による環境対策

作付の少ない冬季の土ぼこり対策として、緑肥作物の栽培を支援しました。

冬から春に生育する秋まきの緑肥作物も事業対象となるよう、制度の変更を行いました。

市民推進会議からの評価コメント

まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

農地を維持する地域の団体が高齢化し活動の継続が困難になることが予想されるため、人材育成への支援があると良いと思います。

農地縁辺部への植栽

良好な農景観は、農家の耕作や管理により成り立っていることを市民に理解していただけるよう、広報や見せ方を工夫してください。

土地所有者の声



機械を導入することで、せん定枝のたい肥化をより効率的に行えるようになりました。

緑肥作物の作付けにより、土ぼこり対策のほか、畠の土づくりも行うことができました。

今後の進め方

まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

今後も農地周辺の良好な景観維持を図るため、水路等の清掃活動や農地縁辺部への植栽に対する取組を支援します。また、農地の多面的機能とともに、農景観を維持している農業者団体の活動についても市民の皆様に知っていただけるよう、広報を図っていきます。

農景観保全整備

傾斜のある農地では、近年多発している集中豪雨により土砂が流出するリスクが高まっているため、土砂流出対策を進めて被害の軽減を図ります。また、まとまりのある農地を対象に、水源確保の取組を継続して農地の利活用を促進し、良好な農景観を守っていきます。

環境配慮支援

今後も周辺環境に配慮した取組を推進するため、必要に応じて補助メニューの拡充を検討し、より多くの農家に取り組んでいただけるよう工夫し、農景観の維持につなげていきます。

緑肥作物等による環境対策

土ぼこり等の環境配慮対策になるだけでなく、緑肥作物の栽培によるメリットを農家に感じていただけるよう、今後も啓発に努めています。

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組11 多様な主体による農地の利用促進

取組内容

遊休農地の復元支援

遊休化して荒れた農地は、貸し借りが進まず、良好な農景観が損なわれます。良好な農景観を保全するために、意欲ある農家や新規に参入を希望する個人・法人など多様な主体へ農地を貸し付けられるよう遊休化した農地の復元を支援します。

2024年度の実績

進捗状況

遊休農地の復元支援	
2024年度実績	0.89ha
5か年の目標	3.0ha
進捗率	29.7%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2024年度決算額	10百万円	10百万円
5か年の計画額	88百万円	88百万円
執行率	11.4%	11.4%

実績の概要

遊休農地の復元支援

遊休農地の復元への支援を0.89haに対して行い、農地の貸し借りを促進しました。



復元後の農地(旭区)



復元後の農地(緑区)



復元後の農地(都筑区)



復元後の農地(瀬谷区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



取組への工夫点・課題等

遊休農地の復元支援

要綱を見直し、制度の利用に必要な提出書類を減らすなど手続きを簡素化し、制度利用者の負担の軽減を図りました。

JJA横浜の担当者や地域の農家との情報交換を図り、荒れて借り手がなかなか見つからない農地の復元支援を進めることで、新たな担い手の耕作につながり、農景観保全が図られました。

制度利用者の声



貸し手の声

農地が荒れてしまい自分で借り手を見つけるのが困難でしたが、JJA横浜の方から農地の復元制度と借り手の方を紹介していただき、農地が耕作されるようになります。ほっと一安心です。

借り手の声

遊休農地の土地所有者の方が制度利用に積極的ではなかったので、私がこの制度を利用しました。費用の自己負担はありました。条件の良い農地を借りることができました。

今後の進め方

遊休農地の復元支援

引き続き、JJA横浜の担当者や地域の農家との情報交換を図りながら農地の復元支援を進め、農景観の保全を図ります。



取組12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

取組内容

収穫体験農園の開設支援

野菜の収穫や果物のもぎとりなどを気軽に体験することができる収穫体験農園の開設に必要な施設整備等を支援します。

市民農園の開設支援(栽培収穫体験ファーム、環境学習農園、認定市民菜園)

農作業の経験がない人でも農家から指導を受けることで栽培から収穫までを楽しめる農園や、利用者が自由に農作業を楽しめる農園など、土地所有者等が農園を開設するための支援を行います。環境学習農園の開設や利用希望等の相談があった際には、農家と学校等の相談に積極的に対応します。

農園付公園の整備

土地所有者による維持管理が難しくなった農地等を公園として市が買取ることや、農地の少ない都心部においても、市民が農作業を楽しめる農園を公園内に整備し開設します。

2024年度の実績

進捗状況

様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	
2024年度実績	3.38ha
5か年の目標	19.5ha
進捗率	17.3%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	334百万円	87百万円
5か年の計画額	1,835百万円	650百万円
執行率	18.2%	13.4%

実績の概要

様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園の開設支援では、イチゴやブルーベリー、ナシやブドウなど様々な農園、計2.94haに対して、収穫体験農園の開設に必要な設備の設置等の支援を行いました。

市民農園(栽培収穫体験ファーム、環境学習農園、認定市民菜園)の開設支援では、土地所有者等が認定市民菜園や環境学習農園を開設するための支援を実施し、0.34ha、10件の農園が開設されました。



収穫体験農園でのナシ狩り(緑区)



環境学習農園(青葉区)



認定市民菜園(泉区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



取組への工夫点・課題等

収穫体験農園の開設支援

のぼりなどの広報ツールを農家へ提供し、農園で掲出していただくことで、市民の皆様へのPRにつなげました。

市民農園の開設支援＜栽培収穫体験ファーム、環境学習農園、認定市民菜園＞

米作りや野菜の栽培を体験したい学校と、環境学習農園を開設したい農家からの要望を受けて、両者をつなぐ調整をしたことで、環境学習農園の開設数増につなげることができました。

一方で、住宅等が隣接しているなど、立地により市民農園の開設にあたって地域との調整に時間を要するケースもあります。

農園付公園の整備

本牧山頂公園をはじめ都心部の公園ならではの、市民の皆様が気軽に農とふれあう場づくりの検討を進めました。(仮称)長津田町深田農園付公園は、整備に向けた設計等を進めたほか、(仮称)新吉田東四丁目農園付公園は、基盤整備工事に取り組みました。

市民推進会議からの評価コメント

農園付公園の整備

農園付公園は、トイレなど、必要な施設がしっかり整備されており、自由に栽培や収穫ができる農体験の場として、利用のハードルが低いと思います。

ある程度の整備費用がかかるなどの課題はあるかと思いますが、ぜひ開園に結び付けてください。

参加者の声



収穫体験農園の参加者

横浜で収穫体験ができるのを知りませんでした。農園の周りにたくさんのがりが立っていて、細い路地でも迷わずに到着できました。

環境学習農園の参加者

普段、学校の授業でじつといられない子が素直に農作業の指導を受けているのに驚きました。今後も続けてほしいです。

今後の進め方

収穫体験農園の開設支援

農園の開設で必要な初期投資支援を継続するとともに、のぼりなどのPR資材も充実させていきます。

市民農園の開設支援＜栽培収穫体験ファーム、環境学習農園、認定市民菜園＞

小学校での稻作体験授業や、特別支援学級での農作業指導などの要望があり、今後、ニーズに合わせた環境学習農園の開設支援を図っていきます。

農園付公園の整備

農地の少ない都心部においても市民の皆様が農の魅力を実感できるよう、本牧山頂公園で農作業が楽しめる農園の整備に向けて取組を進めます。また、その他の地域においても、農園付公園の整備を進めます。

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組13 市民が農を楽しむ支援する取組の推進

取組内容

農を楽しむ取組の推進

横浜ふるさと村や恵みの里等で、苗の植え付けや農産物の収穫などを行う農体験教室など、市民が農とふれあう機会を提供します。また、ふるさと村総合案内所に農を楽しむ拠点としての機能の充実を図り、農の魅力を発信します。さらに、市内全域で農体験に関する様々な相談に応じるため、専門知識やスキルを有するコーディネーターを派遣します。

農体験の場の提供と援農の推進

市民農業大学講座や家族で学ぶ農体験講座を開催し、市民が栽培技術などを学ぶ場を提供します。子どもたちが楽しく農を学べるよう、家族で参加できる農体験講座の充実に取り組みます。また、援農コーディネーター(※)等を活用し、市民農業大学講座修了生などによる農家への援農活動を支援します。

※援農コーディネーター：労働力不足の農家と農家への手伝いを希望している市民を結び、農家の援農を支援する組織

2024年度の実績

進捗状況

	横浜ふるさと村、恵みの里 で農体験教室などの実施	コーディネーター 派遣	市民農業大学講座 の開催	家族で学ぶ 農体験講座の開催
2024年度実績	119回	12件	35回	6回
5か年の目標	450回	50件	175回	30回
進捗率	26.4%	24.0%	20.0%	20.0%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	30百万円	-
5か年の計画額	179百万円	-
執行率	16.8%	-



3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



実績の概要

横浜ふるさと村、恵みの里で農体験教室などの実施

市内7か所のエリアで、体験水田、枝豆づくり等の栽培収穫体験や、よもぎ団子教室等の農産加工体験など、農家による農体験を119回実施しました。

コーディネーター派遣

市内小中学校において、農のコーディネーターとして登録した農家による農業の仕事で行っている工夫を学ぶ授業や、学校の畑を活用した冬野菜作りなどの実習授業を12件実施しました。

市民農業大学講座の開催

野菜・果樹や花・樹木栽培管理の基礎について実習を中心に学び、修了後に農家での農作業のお手伝い(援農)や公園緑地の維持管理のボランティア活動など、地域で活躍する人材育成講座を35回を開催しました。

家族で学ぶ農体験講座の開催

作物の植え付けから収穫までの全6回の連続講座を開催し、小学生が家族と一緒に土にふれる農業を体験しました。

横浜ふるさと村、恵みの里で農体験教室などの実施



新治恵みの里冬野菜作り教室(緑区)

コーディネーター派遣



滝頭小学校(磯子区)

市民農業大学講座の開催



ブドウの管理作業(保土ヶ谷区)

家族で学ぶ農体験講座の開催



サツマイモの定植(保土ヶ谷区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組への工夫点・課題等

横浜ふるさと村、恵みの里で農体験教室などの実施

新治恵みの里では、新たに大豆づくり・豆腐づくりをするなど、さまざまな農体験を通じて市民の皆様が身近に横浜の農とふれあう機会が拡大しています。

寺家ふるさと村では、農家の高齢化等もあることから、今後活動の継続に向けて地区の活性化についても検討を行っていきます。

コーディネーター派遣

2024年度からの新しい事業として、農家と学校のマッチングにより、農家が少ない都心臨海部の小中学生にも横浜の都市農業を体感してもらう機会を提供することができました。

稻の栽培を学びたいという学校側のニーズは高い一方で、稻作を教えられる登録農家が少ないため、今後、協力いただける農家を増やしていく必要があります。

市民農業大学講座の開催

野菜づくりの講座に播種機の使い方などを取り入れ、受講生へ新しい手法の紹介を行いました。また、講座内容の充実や受講環境の改善に取り組みました。

家族で学ぶ農体験講座の開催

雨天時や熱中症警戒アラート発令時に屋外作業ができなくなる場合にも、室内作業への切り替えや内容変更が行えるよう代替講座を事前準備し、充実した講座内容となるよう工夫しました。

市民推進会議からの評価コメント

横浜ふるさと村、恵みの里で農体験教室などの実施

栽培や収穫だけではなく、料理して食べることなども加えることで体験に広がりをもたせることができ、市内産農産物のさらなる周知につながるのではないかと思います。

参加者の声



農のコーディネーター事業を受けた学校職員

農家の仕事や、野菜作りの工夫だけでなく、どのように流通させるかなどの経営面に関してもお話をいただき、農家の皆さんや農業がどのように地域社会に貢献しているかが子どもたちに伝わりました。

家族で学ぶ農体験講座の参加者

野菜がどんなふうに畑で育つか、子どもと実際に畑で見て、体験することができてよかったです。

今後の進め方

横浜ふるさと村、恵みの里で農体験教室などの実施

農体験や農産加工教室、直売イベント等を継続して実施し、市民の皆様が農にふれあう場を増やしていくとともに、市民の皆様が市内産農産物の魅力をより深く実感できる場を広げていきます。

コーディネーター派遣

市内の子どもたちが横浜の農業について学ぶ機会を増やすため、特に、農体験の機会が少ない都心臨海部の小学校等を中心に、コーディネーターの派遣を行います。

市民農業大学講座

引き続き、援農や緑化ボランティアの育成に向けて、園内圃場での実習のほか、農家の視察や研修など、さらなる講座の充実を図っていきます。

家族で学ぶ農体験講座の開催

熱中症などの暑さ対策と内容の充実を図り、子どもから大人まで誰もが安心して受講できるよう、工夫し講座を運営していきます。

取組14 地産地消にふれる機会の拡大

取組内容

直売所支援等の地域に根差した地産地消の推進

直売所や加工所に必要な設備の導入等を支援します。また、市民に身近な場所で実施される青空市やマルシェ等の継続的な開催を支援します。

市民が市内産植木や草花に親しめる機会の創出

市民が市内産植木や草花に親しめる機会を創出するため、市内の植木農家や花き農家が生産した苗木や花苗を、市民への配布や公共施設、農地の縁辺部への植栽に活用します。

市民に伝わる地産地消の情報発信

情報誌やパンフレットなどの制作・発行やウェブサイト・SNSなどの活用により地産地消の取組のPRを推進します。また、「横浜農場」を活用した市内産農畜産物のブランド化に向けたプロモーションの強化を図ります。特に、生物多様性の保全や美しい農景観の形成など、多くの意義のある市内水田を守るために市内産米のPRを行います。また、地域の特性を生かした地産地消の取組を推進します。

2024年度の実績

進捗状況

	直売所・青空市等の 支援	緑化用苗木等の 配布	市内産花苗の 公共施設等での活用	情報発信・PR: 情報誌などの発行
2024年度実績	62件	27,084鉢	2件(※)	10回
5か年の目標	285件	125,000鉢	10件	35回
進捗率	21.8%	21.7%	20.0%	28.6%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	44百万円	-
5か年の計画額	238百万円	-
執行率	18.5%	-

※公共施設と商業施設に対する支援を、各1件として計上しています。公共施設においては、市内18区の複数施設で活用しています。

実績の概要

直売所・青空市等の支援

直売所等に必要な設備の導入等を支援したほか、市民の皆様が楽しみながら農畜産物を購入できる青空市やマルシェの開催を62件支援しました。



みなとみらい農家朝市(西区)

緑化用苗木等の配布

イベント開催時に市民に市内産苗木27,084鉢を配布したほか、公共施設等の周辺に植樹することで、市民が植木に親しむ場を提供しました。



南部児童相談所の緑化(港南区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



実績の概要

市内産花苗の公共施設等での活用

公園や商業施設に対し市内産花苗を配布し、市民の皆様に横浜で高品質で多様な花苗の栽培が盛んであることを身近に感じていただける取組を実施しました。



公園における活用(鶴見区)

情報発信・PR:情報誌などの発行

はまふうどナビ等の広報物の発行を行ったほか、SNSの活用や、地産地消月間におけるキャンペーン等の実施により、横浜の農を身近に感じていただける情報発信を展開しました。



はまふうどナビ(第66号・67号)

取組への工夫点・課題等

直売所・青空市等の支援

直売団体等へ、広報面で効果が大きいと反響のあったのぼり等の物品を提供し、集客支援を実施しました。また、都心臨海部において開催されるマルシェの出店支援を行い、同地区の近隣住民に対して市内産農畜産物を購入できる場を提供しました。

緑化用苗木等の配布

市民ニーズに合わせて配布する樹種の本数を調整し、より市民の皆様が緑に親しむ機会を提供しました。また、今後に向けて、新規樹種の導入を検討するため、人気のある樹種の情報を収集しました。

市内産花苗の公共施設等での活用

市内産花苗を市民の皆様の目に付きやすい出入口や窓口等の公共空間における展示等で活用しました。

公共施設では良質な花を実際に目にした市民の方が生産者から直接購入するなど、生活の中に市内産の花を取り入れるきっかけになりました。商業施設では公共的な空間を活用し展示いただくことで、高品質な花を実際に見てもらいながら市内産の花を大々的にPRできました。

情報発信・PR:情報誌などの発行

全市立小学校に配布されるエコチル横浜版や、市営地下鉄の駅等で配架される情報誌「ぐるっと」での特集記事の掲載など、様々な媒体を活用して広く地産地消に関する情報発信を行いました。さらに、子育て世帯向けアプリ「パマトコ」で、横浜の農や食育に関する発信など新しい取組を行いました。

Instagramの投稿には多くのリアクションをいただいていますが、より多くの方に横浜の農の魅力を知っていただくため、フォロワー数の増や発信力の向上につながる取組が必要と感じています。

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

市民推進会議からの評価コメント

直売所・青空市等の支援

地域でとれた農畜産物やその加工品などが集まるマルシェは大変良い取組のため、さまざまな地域ができるよう、さらなる支援の検討をお願いします。

情報発信・PR・情報誌などの発行

他区局とも連携し、さまざまな媒体でPRが実施されていますが、今後は効果検証も踏まえた広報についても検討してください。

参加者の声



直売所・青空市等での購入者

中区や西区ではなかなか横浜産の野菜を買うことができないので、マルシェで買えるのは嬉しいです。

情報誌などの読者

横浜にも田んぼがあることを知らなかったので、田んぼがあるメリットも含め、知ることができました。

稻刈り体験をしたばかりだったので、実践と結びついておもしろかったです。

緑化用苗木を受け取った人

苗木の成長を楽しめます。

横浜で植木の苗を生産していることを初めて知りました。

市内産花苗を活用した公共施設の管理者

公園利用者から、質の高い様々な市内産の花を身近に見ることができ、毎年楽しみにしているとの声をいただいている。

今後の進め方

直売所・青空市等の支援

市民の皆様の身近な場所で市内産農畜産物を購入する場が維持されるよう、直売所等に必要な設備等の導入や都心臨海部で開催されるマルシェ等への出店支援を引き続き行います。

緑化用苗木等の配布

市民配布や公共緑化を通じて、市民の皆様が農や緑に親しむ機会を提供します。また、市民ニーズを反映しつつ、配布樹種の選定を行っていきます。

市内産花苗の公共施設等での活用

より多くの市民に市内産花苗の展示をご覧いただけるよう、展示に関する情報発信をより充実させます。

情報発信・PR

引き続き多様な媒体でPRを行うとともに、SNSのインサイト分析を活用し、読者のニーズや傾向に合わせた発信を行うなど、より効果的な広報の実施を図っていきます。また、他区局の広報ツールとの連携や新たに構築するウェブサイトにより情報へのアクセス性の向上を図り、多くの方に伝わる広報を開します。

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組15 地産地消を広げる人材の育成・支援

取組内容

はまふうどコンシェルジュ(※1)等の地産地消を広げる人材の育成

講座の開催により、地産地消を広げるはまふうどコンシェルジュを育成します。また、飲食店からの市内産農畜産物の使用に関する相談などに対応し、「よこはま地産地消サポート店」(※2)への登録を促します。

市民等による主体的な地産地消の活動支援

はまふうどコンシェルジュやよこはま地産地消サポート店によるイベント開催など、主体的な地産地消の活動を支援します。

地産地消活動の情報交換の場づくり

生産者やよこはま地産地消サポート店、はまふうどコンシェルジュ、地産地消に取り組む市民・企業等をつなげる交流会等を開催し、ネットワークづくりを支援します。

※1 はまふうどコンシェルジュ：横浜市が横浜の「食」と「農」をつなぎ地産地消を広めるため講座で育成した市民

※2 よこはま地産地消サポート店：市内産の農畜産物を使ったメニューを提供する飲食店などで横浜市に登録されているもの

2024年度の実績

進捗状況

	はまふうどコンシェルジュ 育成講座の開催	はまふうどコンシェルジュ・よこはま地産地消サポート 店の活動支援	地産地消フォーラムの開催
2024年度実績	1回	37件	1回
5か年の目標	5回	150件	5回
進捗率	20.0%	24.7%	20.0%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	5百万円	-
5か年の計画額	27百万円	-
執行率	18.5%	-

実績の概要

はまふうどコンシェルジュ育成講座の開催

全5回の講座で座学、実習及び視察形式で講義を行い、横浜の農業や地産地消に対する理解を深めました。

最終的に23名の修了生を輩出することができました。今後もコンシェルジュと連携しながら、地産地消を市内各地で推進していきます。



浜なし園の見学(緑区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



実績の概要

はまふうどコンシェルジュ・ よこはま地産地消サポート店の活動支援

はまふうどコンシェルジュ等の開催するマルシェや農体験などの活動支援を37件行い、多くの市民が横浜の農畜産物にふれる機会を創出しました。



はまふうどコンシェルジュ奨励事業(緑区)

地産地消フォーラムの開催

地産地消に取り組む人材の交流や情報交換等を行う「横浜 食と農のフォーラム」を、市民・企業等にも参加していただき開催しました。



食と農のフォーラム(中区)

取組への工夫点・課題等

はまふうどコンシェルジュ育成講座の開催

「農を巡る」をテーマにした回の講座では、実際に圃場を見学し、生産者の声を聞くことで、受講生は横浜の農業の現状を肌身に感じることができたと感じます。

「これから地産地消」をテーマにした回の講座では、講座修了後の活動を見据えたグループワークを実施し、活発な意見交換をすることができました。また、経歴の異なる受講生の間で様々なネットワークが形成され、講座修了後のそれぞれの活動でも、協力して取り組まれるなどの成果が出ています。

各講座を円滑・効率的に進めていくため運営側の事務の進め方を見直すことで、受講生とより多くのコミュニケーションを図れるようになり、講座受講後の活動の相談などを早期からできるようになりました。また、提出書類等の電子化を進めたことで利便性の向上にも取り組みました。

はまふうどコンシェルジュ・よこはま地産地消サポート店の活動支援

地産地消月間である11月には、よこはま地産地消サポート店を利用して参加するレシートキャンペーンを実施し、SNSを活用した広報を行うことで、地産地消のPRとよこはま地産地消サポート店の認知度向上の相乗効果を狙いました。

さらに、放課後キッズクラブや児童クラブと連携して、子どもたちとの市内産米を使ったおにぎりづくりのイベントの開催など、はまふうどコンシェルジュの新たな活躍の場を作り出すことができました。

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組への工夫点・課題等

地産地消フォーラムの開催

2024年度は「横浜農場×食育～食や農を通じた子どもの学び～」をテーマに実施し、子ども達へ向けた様々な取組を提供している事業者による取組の紹介や「子どもたちと作る豊かな地域」をテーマとするグループワークを通して、参加者の交流や相互連携による地産地消を広げるためのネットワーク形成を進めました。

事業者による取組紹介では、構成などを工夫したことで発表時間を拡充し、目的や内容に加え、事業化のプロセスなどを紹介し、参加者の満足度向上につなげることができました。トークセッションでは、登壇者と参加者の双方向のやり取りを通して、活発な意見交換ができました。

一方で、はまふうどコンシェルジュ、よこはま地産地消サポート店、農家など、多様な関係者間の交流機会の創出が求められています。

市民推進会議からの評価コメント

はまふうどコンシェルジュ・よこはま地産地消サポート店の活動支援

はまふうどコンシェルジュは、さまざまな農家とつながることができます、それ以外の場所での認知度は低い状況です。はまふうどコンシェルジュと企業等との交流や、学校への情報提供など、交流や周知を広げていただくようお願いします。

参加者の声



はまふうどコンシェルジュ育成講座の開催

地産地消を推進する方法を具体的に考えることができ、活動のヒントが得られました。

様々な経歴を持つ受講生と関わることができて刺激となりました。

はまふうどコンシェルジュ・よこはま地産地消サポート店の活動支援

支援を受けたマルシェが開催を重ねるごとに地域から認知されるようになり、地産地消の普及の場となっています。

地産地消フォーラム参加者の声

多様な人の集まりから様々な取組やご苦労を聞く機会があり、とてもありがとうございます。

全体の時間が短いと感じました。集まったメンバーが今後も継続できる取組につなげるところまでできるとよいです。

今後の進め方

はまふうどコンシェルジュ育成講座の開催

講座の中で、今後の活動アイデアや計画を立てるワークショップを行うとともに、認定後に活用できる支援制度を案内するなど、意欲をもって活動を継続してもらえるように工夫します。

はまふうどコンシェルジュ・よこはま地産地消サポート店の活動支援

はまふうどコンシェルジュ等の活躍の場をさらに広げられるよう、府内連携の強化や、新たな支援策の検討を進めます。はまふうどコンシェルジュ講師派遣制度では、主催者側のニーズを丁寧にくみ取り、より適切な講師を派遣することで参加者の満足度の向上を図ります。

地産地消フォーラムの開催

生産者やはまふうどコンシェルジュ、地産地消サポート店など、市域で地産地消に関わる多様な人材の交流、ネットワーク構築が促されるよう、実施手法を適宜見直しながら展開していきます。

取組16 市民や企業等との連携

取組内容

企業等と連携した地産地消の推進

地産地消を広げるため、地産地消に取り組む意欲のある企業からの相談などに対応し、地産地消のPRイベントの開催や市内産農畜産物を使用した商品の販売等、企業等と連携した地産地消の取組を推進します。

地産地消ビジネス創出の推進

地産地消に関する新たなビジネスに取り組む市内中小企業等を対象に、ビジネスプランを策定するための講座を開催し、認定されたプランを支援します。

学校給食での市内産農産物の利用促進

小学校の給食メニューにおける市内産農産物の利用促進や食育の推進を図るため、企業などと連携し、学校給食での市内産農産物の一斉供給や、小学生を対象とした料理コンクールを開催します。

2024年度の実績

進捗状況

	市民や企業等との連携	ビジネス創出支援	学校給食での市内産農産物の一斉供給	料理コンクールの開催
2024年度実績	15件	0件(※)	推進	1回
5か年の目標	75件	20件	推進	5回
進捗率	20.0%	0.0%	-	20.0%

※2~5年目の各年に5件ずつ実施する計画となっています

事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2024年度決算額	3百万円	-
5か年の計画額	43百万円	-
執行率	7.0%	-

実績の概要

市民や企業等との連携

企業等と連携し、市内各所で地産地消の普及啓発イベントを実施しました。農地が少ない都心臨海部では、模擬的な収穫体験を実施し、農産物にふれる機会を提供しました。



横浜赤レンガと連携した「おいも万博」における街なか収穫体験の実施(中区)

横浜みどりアップ計画 2024年度実績報告書

ビジネス創出支援

地産地消の活動をビジネス化したい事業者や新規創業者を対象とした育成講座を実施しました。講座は全5回行い、最後に補助対象者を決定するための選定懇談会を実施しました。



地産地消ビジネス創出支援事業
育成プログラム(中区)

3-39

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり
・コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

実績の概要

学校給食での市内産農産物の一斉供給

食育推進の一環として、市内産農産物の一斉供給を実施し、学校給食で使用しています。2024年度は322校に市内産キャベツを供給し、「タンタンスープ」として提供されました。



市内産キャベツを使用した給食

料理コンクールの開催 (はま菜ちゃん料理コンクール)

2024年度はコマツナを使用した給食メニューを考案してもらうコンクールを実施し、応募総数は過去最多の2,509点となりました。



入賞作品レシピ集

取組への工夫点・課題等

市民や企業との連携

JA横浜と連携して市庁舎で開催している農畜産物の直売では、レイアウトやオペレーション、陳列品目の改善などにより来客数が昨年比で約1.5倍になるなど、多くの方へ横浜の農にふれる機会を提供できました。また、浜なしを使用した「キリン 氷結®mottainai 浜なし」が生まれるなど、企業と連携した取り組みを進めました。

ビジネス創出支援

2回の対面講座に加え、多様な受講機会を提供するためオンラインでも講座を3回、実施しました。また、2024年度より受講生全員との個別面談を実施し、現状のビジネスプランの確認と課題の認識を行う伴走支援を強化しました。

学校給食での市内産農産物の一斉供給

地産地消について児童の関心を高めたうえで、市内産農産物を使用した給食の提供ができるよう、供給食材に関するポスターを作成し、事前に全校へポスター配布を行いました。

料理コンクールの開催(はま菜ちゃん料理コンクール)

西区、青葉区、都筑区の周年事業と連携して区長賞等を設定したほか、飲食店の協力を得て、入賞した作品をアレンジしたメニューとして期間限定で提供してもらうことにより、はま菜ちゃん料理コンクールの認知度向上につなげました。

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

市民推進会議からの評価コメント

市民や企業等との連携

企業等との連携はPR効果が大変大きい取組です。横浜に根差す企業等を応援していくことが横浜農業の応援にもつながるような、企業等と農家とがwin-winの関係になるような取組をさらに広げてください。

参加者の声



市民や企業等との連携

周辺に市内産の新鮮な野菜を買う場がないので、市庁舎直売の開催は助かります。

横浜FCホームゲームで定期的に開催される横浜農場マルシェを楽しみにしています。

ビジネス創出支援

ビジネス初心者でも参加可能な講座内容で、参加して良かったです。

事業計画書作成から選定懇談会までの期間がタイトなので、作成期間にゆとりを持たせてもらえると良いです。

学校給食での市内産農産物の一斉供給

これまで市内産の農産物等を使用する機会がなかなかなかったのですが、市内産キャベツは甘みが強く児童からも好評で、児童にとっても良い勉強の機会となりました。

料理コンクールの開催

横浜の野菜について研究したり、「もし給食でてくるなら」と想像したりしながら、家族の意見を聞いていろいろなレシピを考えました。コマツナのおいしい食べ方をたくさん発見でき、楽しかったです。また、参加したいと思います。

今後の進め方

市民や企業等との連携

市内各地で地産地消を展開するために、企業等と連携した取組を引き続き実施していきます。

ビジネス創出支援

受講生が事業内容を検討する時間を確保するため、事業計画を発表する選定懇談会の開催時期の変更を検討していきます。また、2024年度より実施した受講生の個別面談を継続して行うことで、事業実現性を高めるための伴走支援を強化します。

学校給食での市内産農産物の一斉供給・料理コンクールの開催(はま菜ちゃん料理コンクール)

食育を通じて、子どもたちの横浜の農への理解や関心を高めていくために、府内関係区局や企業等と連携しながら、一斉供給事業や料理コンクールを引き続き展開していきます。

取組17 シンボル的な緑の創出・育成

取組内容

公共施設・公有地での緑の創出

各区の主要な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進します。

公有地化によるシンボル的な緑の創出・育成

多くの市民の目にふれる場所で、土地利用転換などの機会をとらえて用地を確保し、緑豊かな空間を創出することで、街の魅力や賑わいづくりにつなげます。

また、花畠や名所など、地域に親しまれている緑のオープンスペースが、所有者の不測の事態等により、存続が困難となった場合に用地を取得し、緑や花による地域のシンボル的な空間として保全し、良好に育成します。

2024年度の実績

進捗状況

事業費執行状況

	緑の創出	緑の維持管理
2024年度実績	3か所	推進
5か年の目標	5か所	推進
進捗率	60.0%	-

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	20百万円	3百万円
5か年の計画額	835百万円	97百万円
執行率	2.4%	3.1%

実績の概要

公共施設・公有地での緑の創出

併設している白根地区センターと旭図書館の緑地を再整備しました。白根地区センターには小さな芝生の広場等を整備し、旭図書館にはモッコウバラを仕立てるためのトレリスフェンス等を設置しました。



白根地区センター(旭区)



旭図書館(旭区)

公有地化によるシンボル的な緑の創出・育成

鶴見区北寺尾で、これまで町のはらっぱとして地域で利用されてきた土地の一部を北寺尾六丁目サムエル公園として整備・公開しました。また、中区山手町の公園予定地において、基盤整備工事を実施しました。

これまで本事業で整備した公園では、地域のシンボル的な緑として、質の高い維持管理を進めています。

緑の創出
北寺尾六丁目サムエル公園(鶴見区)緑の維持管理
伊勢町もくせい公園(西区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

公共施設・公有地での緑の創出

公共施設の緑地の再整備等により新たに緑を創出し、より多くの方が緑を実感して愛着が持てるよう、カラーリーフや花などによる魅力的な空間づくりを心掛けています。

旭図書館では、ボランティアの方も手入れをしやすいような壁面緑化を検討し、モッコウバラによる魅力づくりを行いました。図書館と地区センター、隣接する公園も含めて散策の楽しみが広がるよう一部は芝生による緑化も行いました。

公有地化によるシンボル的な緑の創出・育成

鶴見区で長年、地域の方々に親しまれてきたサムエル町のはらっぱを、災害時のいっぽうに避難所や地域コミュニティの場としても利用できる北寺尾六丁目サムエル公園として整備しました。

市民推進会議からの評価コメント

公共施設・公有地での緑の創出

公共施設の隣接地及び近接地など、ベンチや緑陰があれば、少しのスペースでも住民の憩いの場となりうる可能性があることを念頭に置き、引き続き、緑の創出・育成を進めてください。

土地所有者の声



公共施設・公有地での緑の創出

プランターや壁面緑化で花や緑が増えて、緑化ボランティアさんにもご好評いただいている。

今後の進め方

公共施設・公有地での緑の創出

公共施設や公有地においては、当初整備から年数が経過した緑地をより魅力的にするなど、多くの方が緑の魅力を実感でき、憩いの場所となるような緑化を重点的に進めます。

公有地化によるシンボル的な緑の創出・育成

公有地化によるシンボル的な緑の創出では、中区山手町の公園予定地の公開に向け、設計等を進めていきます。また、これまで本事業で整備した場所では、引き続き質の高い維持管理を進めます。

取組18 街路樹による良好な景観づくり

取組内容

街路樹による良好な景観づくり

駅周辺や各区の主要な路線を中心に、多くの市民の目にふれ、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成します。また、地域で愛されている桜並木等の再生を行います。これらを通して街路樹による良好な景観づくりを進めます。

2024年度の実績

進捗状況

街路樹による良好な景観づくり	
2024年度実績	18区で推進
5か年の目標	18区で推進
進捗率	-

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	454百万円	454百万円
5か年の計画額	2,300百万円	2,300百万円
執行率	19.7%	19.7%

実績の概要

街路樹による良好な景観づくり

各区の街路樹で計画的なせん定を行い、美しい景観づくりを進めました。

また、大岡川プロムナード、環状4号線、石崎川プロムナード、美しが丘中学校サクラ通りなどの地域で愛されている桜並木等の再生を行いました。



すずかけ通り(維持管理)
(西区)



石崎川プロムナード(並木の再生)
(西区)



大岡川プロムナード(並木の再生)
(中区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



取組への工夫点・課題等

街路樹による良好な景観づくり

管理目標となる樹形を設定し、樹種に合ったせん定を進めています。

また、桜並木を次世代に継承する取組を行っています。市内ではいろいろな場所に桜並木がありますが、樹木医による診断で、不健全と判断された桜は、倒木等の危険があるため伐採の対象となるため、積極的に若い桜に植え替え、桜並木が楽しめる景観の維持を進めています。

桜並木の再生に当たっては、歩道がせまい路線では、広がりすぎない樹形の桜を適切に選ぶなど、複数の部署で連携しながら進めています。

市民推進会議からの評価コメント

街路樹による良好な景観づくり

街路樹は市民の皆様の目にふれやすく、関心が高い場所です。街路樹の生育状況や整備条件などもあると思いますので、伐採せざるを得ない場合は、「なぜ伐採しなければならないのか」「その後どのように植え替えるのか」を、市民の皆様に伝え十分な理解を得ることも重要と考えます。

地域の声



交差点での信号待ちの時に街路樹の木陰があると助かります。

街路樹の新緑や紅葉などを見られることで、街なかで季節を感じることができます。

今後の進め方

街路樹による良好な景観づくり

街路樹を危険防止のため伐採する場合には、現地での掲示や事前のチラシ配布などによりお知らせを行い、地域の皆様にご理解が進むよう今後とも取り組んでいきます。

市内の街路樹を紹介する冊子の作成や、桜並木の再生を紹介するような取組も進めています。

これからも、市民の皆様が日常生活で目にする街路樹の適切な維持管理に努め、次の世代に引き継いでいくように取り組んでいきます。



取組19 公開性のある緑空間の創出支援

取組内容

公開性のある緑空間の創出支援

多くの人が訪れる公開性のある民有地において、法令等で定める基準以上の緑化を行う市民・事業者に対し、その費用の一部を助成します。

2024年度の実績

進捗状況

事業費執行状況

公開性のある 緑空間の創出支援		事業費	うち横浜 みどり税
2024年度実績	推進	2024年度決算額	10百万円
5か年の目標	推進	5か年の計画額	110百万円
進捗率	-	執行率	9.1% 6.7%

実績の概要

公開性のある緑空間の創出支援

西区みなとみらいの複合施設において、法令等で定める基準以上の緑化を行う事業者が費用の一部に助成を活用し、目にする人に魅力的に感じてもらえる緑化を行いました。



緑化を助成した複合施設(西区)



3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



取組への工夫点・課題等

公開性のある緑空間の創出支援

制度の認知度が低く、対象となる方にもご利用いただけていない状況となっています。

制度の認知度向上のため、ウェブサイトの公開や、関係課へのチラシの配架、横浜市環境保全協議会の会報誌への制度の情報の掲載などを行いました。

制度内容についてご相談があった際には、実際に現地に伺い、制度の趣旨にあった「多くの人に公開できる緑化」整備となるよう、相談者とともにアイデアを出しあいながら、実現に努めています。

事業者の声



建築行為に伴った緑化でしたが、この事業を活用することで、基準を超える、魅力的な緑化整備に踏み切ることができました。

今後の進め方

公開性のある緑空間の創出支援

2024年度に受けた8件の助成相談には、特定の利用者を対象とした敷地や、対象緑化面積の確保が難しい敷地など、制度の要件を満たさず、助成に結び付かないケースがありました。

今後は、助成内容とその要件等をより多くの事業者に知っていただくよう、わかりやすく工夫するとともに、可能な限り活用に結び付けられるよう、効果的な広報活動を更に進めていきます。



取組20 建築物緑化保全契約の締結

取組内容

建築物緑化保全契約の締結

緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い、保全する場合、建築物所有者(管理者)の建築物の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減します。

2024年度の実績

進捗状況

事業費執行状況

建築物緑化保全契約の締結		事業費執行状況	
		事業費	うち横浜 みどり税
2024年度実績	制度運用	2024年度決算額	-
5か年の目標	制度運用	5か年の計画額	4百万円
進捗率	-	執行率	0.0%

実績の概要

建築物緑化保全契約の締結

ビルなどが立ち並ぶ街なかで、外構部分を中心に緑化された緑地に対して契約を締結しました。これから10年間、緑の環境をつくり育てる条例で定める一定の基準を超える緑化率で緑地を保全していただきます。



3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



取組への工夫点・課題等

建築物緑化保全契約の締結

契約件数が減少の傾向にあるため、制度の広報を行うとともに、ニーズの変化を検証する段階にあると考えています。

市庁舎の建築情報センターに制度についての案内チラシを配架しているほか、横浜市環境保全協議会の会報誌に制度の情報を掲載するなど、より多くの市民や事業者の皆様に制度を知っていただけるよう、周知に取り組んでいます。

また、契約手続きを行うか迷っている方が気軽に相談できるよう、事前相談期間を設けています。

契約者の声



家の敷地にたくさん緑があり、維持管理が大変なため、少しでも減税してもらえるのは助かります。

かなり昔に建てた家のため、建築時の書類など、手続きに必要な書類を準備する面では苦労しました。

しかし、家と同じように緑もずっと守ってきたので、この制度を活用することで、保全に力を入れていきたいと思います。

今後の進め方

建築物緑化保全契約の締結

引き続き、より多くの方々に制度周知を図るとともに、制度内容をより分かりやすく、契約手続きの改良にも努めます。



取組21 名木古木の保存

取組内容

名木古木の保存

地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を保存すべき樹木として指定し、潤いのある市民生活の確保と、都市の美観風致を維持していきます。

また、指定木の維持管理に必要な樹木の診断や治療及びせん定等の維持管理費用の一部を助成します。

2024年度の実績

進捗状況

名木古木の保存	
2024年度実績	推進
5か年の目標	推進
進捗率	-

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	16百万円	15百万円
5か年の計画額	93百万円	80百万円
執行率	17.2%	18.8%

実績の概要

名木古木の保存

栄区や港北区等で、8件を名木古木に新規指定しました。

既存の指定樹木については、75件について維持管理費用の一部を助成しました。



新規指定樹木(栄区)



新規指定樹木(港北区)



既指定樹木(中区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



取組への工夫点・課題等

名木古木の保存

指定された名木古木に対し、10年に一度、市が樹木医による定期調査を実施しています。その結果を所有者の方に送付することで、所有される名木古木の現状を把握いただき、維持管理の参考として役立てていただいている。また、XをはじめとしたSNSによる情報発信を通じて、各区の名木古木をご紹介し、より広く、多くの方々に事業を知っていただくよう工夫しています。

名木古木の所有者の声



大切にしてきた樹木が名木古木に指定されたことで、地域の方々からより関心を持ってもらえるようになりました。

高木のせん定は非常に費用がかかるので、助成制度を活用することで負担が減り、助かっています。少しでも長く、名木古木として維持していきたいと思います。

今後の進め方

名木古木の保存

引き続き、地域の方々に親しまれている名木古木が将来とも健全に保全されるよう、所有者の方々に向けて、助成金の活用を適時にご案内するとともに、新規指定に向けた制度周知や個別の説明を進めています。



取組22 地域緑のまちづくり

取組内容

地域緑のまちづくり

「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の思いを実現するため、計画づくり、花や木の植栽、維持管理など、緑のまちづくりの取組を支援します。ご近所同士や集合住宅の管理組合でも気軽に取り組める仕組みです。

また、2023(令和5)年度までに協定を締結した地区の継続支援のほか、協定締結終了地区にもアドバイザー派遣等の支援を実施します。

2024年度の実績

進捗状況

事業費執行状況

地域緑のまちづくり		事業費		うち横浜 みどり税
2024年度実績	7地区	2024年度決算額	50百万円	50百万円
5か年の目標	35地区	5か年の計画額	504百万円	504百万円
進捗率	20.0%	執行率	9.9%	9.9%

実績の概要

地域緑のまちづくり

2024年度は新たに3地区との協定を締結し、4地区の再整備支援を開始しました。2023年度までに協定を締結した15地区の団体に対して、花壇の整備、鉢の寄せ植えなどの研修費用を助成、支援を行いました。



野庭団地地区(港南区)



六浦東地区(金沢区)



中川西地区(都筑区)



柏尾町地区(戸塚区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



取組への工夫点・課題等

地域緑のまちづくり

地域の状況や活動する団体の皆様の思いにより、プランター設置から広場一帯の緑化まで、様々な提案があります。地域に合った緑化となるように、また、活動が長く継続できるよう、アドバイザーと一緒に技術的な支援などを行っています。

今期から、これまで活動してきた地区で、老朽化した花壇の再整備などを始めました。引き続き、各団体のニーズを踏まえた支援を行っていきます。

市民推進会議からの評価コメント

地域緑のまちづくり

「地域緑のまちづくり」の支援終了後に活動が廃れてしまうことが無いよう、現在の支援額の妥当性も踏まえて、より市民の皆様の緑化に対する希望に添えるように検討を進めてください。

学校関係者や福祉関係者、若い世代などさらに多くの人に参加していただき、コミュニティの交流の活性化や地域の課題解決につなげることで、持続可能なまちづくりの一端となることを期待します。

活動団体の声



関係各所との調整が大変でしたが、コミュニティが広がり、通行人の方からも「いつもきれいにしてくれてありがとう」などお声掛けいただくことも多く、やって良かったなと思います。

活動中はやってみないと分からないことも多く、試行錯誤と挑戦を重ね、結果的には120%の仕上がりになったと感じています。

薄暗かった通りが、明るく統一感のある魅力的な通りになったことで、周りからの反響も大きかったです。

今後の進め方

地域緑のまちづくり

近年は地域緑のまちづくりに取り組んだ地区の近隣の地区から提案いただく機会も多いことから、小規模な地区での緑化も積極的に支援しています。今後も、取組がつながりをもって面的に広がっていくよう、また、地域交流の活性化にもつながるよう推進していきます。

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

取組内容

地域に根差した緑や花の楽しみづくり

緑や花に親しむ市民の盛り上がりを醸成していくため、地域をはじめとする多様な主体と連携した緑や花に関するイベントの開催や、緑や花を育む活動の支援など、地域に根差した各区での取組や、それを担う人材育成等を推進します。また、地区センター等の地域に身近な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進し、良好に育成します。

2024年度の実績

進捗状況

緑や花を身近に感じる各区の取組	
2024年度実績	18区で推進
5か年の目標	18区で推進
進捗率	-

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	85百万円	-
5か年の計画額	620百万円	-
執行率	13.7%	-

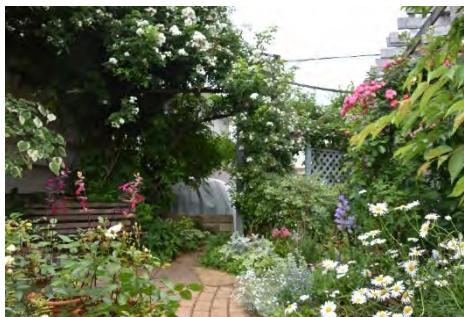
実績の概要

緑や花を身近に感じる各区の取組

市民の皆様が心を込めて育てている庭や花壇を巡る「オープンガーデン」は、年々参加者が増加しており、花と緑の輪が広がるとともに、地域のコミュニケーションの活性化にもつながっています。区役所の花壇と一緒に作ったり、親子で参加するガーデニング教室など、次世代を担う子ども向けの花育の取組を実施しました。

ガーデンネックレス横浜の会場の一つである山下公園では、球根ミックス花壇づくり講習会を実施しました。また、各区で公園愛護会を対象とした花壇づくり講習会を実施したほか、球根や花苗、堆肥を配布し、公園花壇に植えていただき、緑や花でいっぱいのまちづくりにつなげました。

都筑区庁舎、栄区庁舎、八景島客船ターミナル周辺の3か所の身近な公共施設・公有地で、新たに魅力的な緑を創出しました。



オープンガーデン
(瀬谷区)



キッズガーデニング教室
(都筑区)



球根ミックス花壇づくり
講習会(山下公園 中区)



親子で咲かせるはじめての
ミニガーデン(神奈川区)



身近な公共施設での緑の創出
(都筑区庁舎)



身近な公共施設での緑の育成
(泥亀公園 金沢区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



取組への工夫点・課題等

緑や花を身边に感じる各区の取組

ガーデンシティ横浜の実現を目指し、街なかのみどりの空間により地域への愛着を深め、地域住民同士の交流を促進するための取組の一つとして、オープンガーデンを実施しています。実施に当たっては、スタンプラリーやルート案内ツアーの開催など、毎年恒例の企画をより充実させ、参加者が広がるよう工夫しています。

また、区庁舎などで区民向けのガーデニング講座を開催しています。特に、未就学児を対象に、親子で楽しみながら初めて花を育てるコツを学ぶ講座を開催しましたが、近隣の保育園に直接チラシでお説明するなどPRを工夫したため、定員を大幅に上回る多くの申込がありました。

花壇づくり講習会では、多年草を使ったローメンテナンスな花壇づくりを学んでいただきました。山下公園の球根ミックス花壇講習会では、募集人数を上回るご応募があり、初めての方を中心に83名の方にご参加いただきました。

これまでに緑を創出した区庁舎や地区センターなど市民の皆様に身近な公共施設では、訪れた人に心地の良い緑を感じていただけるよう、施設管理者向けに適切な維持管理のためのアドバイスを行っています。

市民推進会議からの評価コメント

近年、各区でオープンガーデンが活発に開催されるなど、地域と連携した緑化が着実に進んでいることを評価します。

参加者や地域の声



オープンガーデン参加者の声

楽しい企画で、家族との絆もできて良い一日を過ごせました。街の華やぎにもつながります。お花を見に歩くので、高齢の方から若い人もおすすめです。庭を愛情もって精を込めて咲かせて、いいお顔をしているのに感心する。お庭づくりを生きがいにされている方々ばかりで元気をいただきました。

ガーデニング講座参加者の声

寄せ植えのやり方も知ることができてよかったです。子どもが想像以上に楽しく取り組んでいて良い体験になりました。これまで子どもと一緒に花を植える機会がなかったので、楽しく参加させてもらいました。

山下公園の球根ミックス花壇づくり講習会の参加者の声

球根ミックスの植え方がわかったので、子どもたちと楽しくできそうです。

地域の声

家の近くの芝生広場は地域の子どもたちでぎわっていて、気持ちよさそうに広場を利用している姿をよく見ます。近くを通るだけでも涼しさを感じます。いつも楽しみにしています。

花壇づくり講習会の参加者の声

水やりの方法が参考になった。

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

今後の進め方

緑や花を身边に感じる各区の取組

緑や花に親しむ区民の皆様の活動を支援し、2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)に向けた緑や花による機運醸成にもつなげていくため、様々な年代を対象としたガーデニング講座の開催や、オープンガーデンの開催、花や緑の見どころをめぐるウォーキングイベントを開催していきます。また、花や緑による美しい街並みや、公園、自然豊かな里山などの横浜の魅力を発信することで、まちの活性化やにぎわいの創出にも貢献していきます。

公園愛護会に向けには、花壇づくり講習会で、夏場の公園での水やりや維持管理等の負担が軽減できる手法をお伝えしています。また、管理しやすい多年草や堆肥の配布を行っていきます。

多くの人が訪れる公共施設では、緑を楽しんでいただき、憩いの場ともなるような緑化を推進していきます。

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組24 人生記念樹の配布

取組内容

人生記念樹の配布

多くの市民の皆様が緑をつくり、育むきっかけとなるよう、出生や入学、住宅の新築や購入などの人生の節目の記念に、希望した市民に、市内で生産された苗木を配布します。

2024年度の実績

進捗状況

事業費執行状況

人生記念樹の配布		事業費		うち横浜 みどり税
2024年度実績	6,915本	2024年度決算額	18百万円	11百万円
5か年の目標	40,000本	5か年の計画額	100百万円	57百万円
進捗率	17.3%	執行率	18.0%	19.3%

実績の概要

人生記念樹の配布

市民参加による緑の育成と推進を図るため、6,915本の苗木を人生記念樹として無料で配布しました。



人生記念樹配布(港南区)



人生記念樹配布(金沢区)



3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



取組への工夫点・課題等

人生記念樹の配布

5か年の目標に向けて、進捗状況がやや低い状況にあり、実施手法の見直し及び新たな広報の展開などさまざま検討を進めています。

配布する苗木の種類を見直し、若年層にニーズがある樹種や、ベランダで鉢植えがしやすい樹種などを盛り込むことで、大幅な申込増につなげました。また、ガーデンネックレス横浜の取組と連携して広報を行うなど、PRを強化しました。

さらに、2024年度秋配布では、配布場所をJA横浜のメルカートやハマッ子直売所としたことにより、店舗の利用者に対しても広く事業を周知することができました。また、苗木を受け取りに来た方には、初めて店舗を利用する方も多く、市内農産物の地産地消に関心を持っていただくきっかけとなるなど、横浜みどりアップ計画の柱を越えた取組の推進に寄与できました。

受け取った人の声



子どもたちの入学・入園の記念にもらいました。小さな苗木ですが、子どもの成長とともに、苗木の成長も楽しみにしていきたいです。

配布している樹種が鉢植えでも育てられることを知らなかった。もっとお知らせしてもらえるとありがたい。

今後の進め方

人生記念樹の配布

人生記念樹は、申込みが通年であることから、申込みから受取までの期間が長期になる場合があるため、申込者から確認の問合せ等をお受けする機会が増えています。申込者がスムーズに受け取れるよう、申込みと受取の期間の短縮やリマインドメールの送付など、受付方法の改善を検討していきます。また、申込みの実施期間中に重点的に広報を実施するなどの工夫を進めます。

JA横浜のメルカート等の農産物直売所での受取は、利用者の皆様から、緑や花、さらに農を感じることができると好評をいただいたため、今後も継続していきます。



取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

取組内容

保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

子どもを育む空間である保育園、幼稚園、小中学校において、園庭・校庭の芝生化や生き物とふれあい学べるビオトープの整備、花壇づくり、屋上や壁面の緑化など、多様な緑を創出する取組を推進します。また、創出した緑を良好に維持するとともに、芝生やビオトープに関する技術支援を行います。

2024年度の実績

進捗状況

	緑の創出	緑の維持管理
2024年度実績	28か所	推進
5か年の目標	100か所	推進
進捗率	28.0%	-

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	47百万円	6万円
5か年の計画額	445百万円	75万円
執行率	10.6%	8.0%

実績の概要

緑の創出

校庭・園庭の芝生化、ビオトープや花壇、樹木による植栽など、子どもたちが多くの時間を過ごす場所で、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑を28か所創出しました。また、ビオトープの整備に関するアドバイスを求める声に応じるため、専門家の派遣も実施しました。



大道小学校芝生整備(金沢区)



港北小学校植樹(港北区)



山田小学校ビオトープ整備
(都筑区)

緑の維持管理

この取組により緑化した芝生や植栽の維持管理について、費用の一部を支援するとともに、芝生の維持管理についての技術講習会や訪問指導、ビオトープの整備や維持管理の訪問指導を実施しました。



本郷特別支援学校での
芝生講習会(品川区)



南希望が丘中学校でのビオトープ
アドバイザー派遣(足立区)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

緑の創出

保育園や幼稚園、小中学校において、それぞれの施設の自然環境や地域特性を大切にしながら、本事業を活用した緑化整備を推進しています。また、子どもたちが主体となって緑化整備の計画づくりができるよう支援に努めています。

港北区の小学校では、地域のニーズや子どもたちの利用状況に合わせた樹種を提案し、サクラを植樹することができました。

緑の維持管理

施設を利用する子どもたちや教職員、地域ボランティアが協力して花壇やビオトープの維持管理に取り組めるよう、他施設の管理体制等を紹介するなどのアドバイスを行っています。また、専門家をアドバイザーとして派遣し、活動を継続できるように支援しています。

ビオトープの計画づくりでは、現地調査だけでなく、職員が授業にも参加し、子どもたちが調べた成果や思いを伺いながら、計画づくりをサポートしました。

市民推進会議からの評価コメント

緑の創出

小学校、中学校や高校などへの情報提供を強化し、周知の浸透を図ることで、教育現場がこの事業をさらに利用しやすくなるよう努めてください。

施設管理者の声



この取組のおかげで、学校の周年事業として、児童たちと一緒に記念植樹を実施することができました。学校としても記念植樹で植えた樹木をこれからも大切にしていきたいです。

芝生の専門家を派遣していただき、整備後の維持管理についてもアドバイスしてもらえたので、不安もなく園庭を芝生化することができました。

今後の進め方

緑の創出・緑の維持管理

保育園や幼稚園、小中学校において、より多くの施設で緑化が進むよう、施設関係者と連携を深めながら広報や技術支援に取り組んでいきます。

緑化整備の支援だけでなく、維持管理に関する支援をさらに充実させ、持続的な緑化につなげていきます。また、子どもたちが緑にふれるきっかけづくりの支援も進めていきます。

取組26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

取組内容

都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

山下公園などの都心臨海部や、ガーデンネックレス横浜の会場となっている里山ガーデン(よこはま動物園ズーラシア隣接)など、多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。また、いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し、創出した質の高い緑花を良好に育てます。

2024年度の実績

進捗状況

緑花による魅力づくり	
2024年度実績	推進
5か年の目標	推進
進捗率	-

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	518百万円	264百万円
5か年の計画額	2,712百万円	1,380百万円
執行率	19.1%	19.1%

実績の概要

緑花による魅力づくり

山下地区を中心とした都心臨海部や新横浜駅周辺の14か所で、緑や花による良好な空間づくりを進めました。



港の見える丘公園(中区)



新港中央広場(中区)



新横浜駅周辺(港北区)



里山ガーデン(旭区)



3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組がもたらす 緑の効果・機能



取組への工夫点・課題等

緑花による魅力づくり

緑花で彩るスポットは、市民の皆様をはじめ、横浜を訪れる多くの方に美しい緑と花の空間を提供できるよう、高い管理水準を心がけています。年ごとに花の色や花壇のデザインに変化を与え、何回でも訪れたくなるような空間づくりに努めています。

広報では、ガーデンネックレス横浜における花の見どころをPRするほか、多くの来場者の方々に写真をSNS等で発信していただけるよう工夫し、横浜の街の魅力の更なるアピールにつなげています。

来園者の声



バラやその他の花が美しく咲く様子がとても綺麗で癒されています。毎年楽しみにしています。

いつ訪れても花や緑が綺麗に管理されている山下公園や港の見える丘公園などのエリアは、横浜市の有名な観光名所になっています。これからも美しい景色を期待しています。

今後の進め方

緑花による魅力づくり

ガーデンネックレス横浜を通して、緑花で彩られたスポットを引き続き積極的にPRしていきます。さらに、GREEN×EXPO 2027の開催も見据えて、より魅力的な緑花や質の高い維持管理を継続していくとともに、市民の皆様にとって、花と緑、環境への関心の高まりにつながるような取組も進めていきます。



3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組27 計画の周知や実績報告

取組内容

具体的な取組

1.インターネットによる広報

(1)ホームページへの掲載

(2)SNSによる発信

2.出版物による広報

(1)広報よこはまへの掲載

(2)実績概要リーフレットの作成

(3)その他広報誌への掲載

3.その他

(1)交通広告(動画等)によるPR

(2)イベント会場でのPR

(3)取組に基づいて実施したことを示すプレート等の設置

緑の取組への理解を広げ、共感と参画につなげる広報

1.イラストや写真等を活用しながら、取組の内容や実績をわかりやすく市民の皆様にお伝えします。

2.より多くの市民の皆様が緑の取組を体感し、活用していただけるよう様々な情報発信を行います。

緑の取組の多様な情報発信

1.イベント・体験のスポットのご紹介

2.市民が活用できる制度のご紹介

3.横浜の美しい緑や花、緑を楽しむ人のご紹介

2024年度の実績

進捗状況

事業費執行状況

計画の周知や実績報告		事業費	うち横浜 みどり税
2024年度実績	推進	2024年度決算額	14百万円
5か年の目標	推進	5か年の計画額	80百万円
進捗率	-	執行率	17.5%

実績の概要

広報よこはま等の広報紙への記事掲載

市民・事業者の皆様に、横浜みどりアップ計画の取組の成果や効果、事業実績を広くPRするため、広報よこはまをはじめとする広報紙に記事を掲載しました。

- ・広報よこはま 市版：1回
- ・広報よこはま 区版：33回
- ・その他広報誌：6回

実績リーフレット作成、自治会・町内会への説明

市民の皆様に、横浜みどりアップ計画の取組の成果や効果、実績をわかりやすく伝えるため、事業報告書及び実績概要リーフレットを作成し、市連会・区連会への実績説明と、公共施設や駅に設置されているPRボックス等への配架を行いました。



広報よこはま
都筑区版
(2025年1月号)

エコチル横浜版
(2024年12月号)

This image shows the front cover of the "Yokohama Midori Up Plan Annual Report (2019-2023)". The cover features a large photograph of a park and the title "Yokohama Midori Up Plan [2019-2023]". It includes a QR code and contact information for the plan.

横浜みどりアップ計画の
実績概要リーフレット

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

各種メディアを活用したPR

横浜みどりアップ計画を視覚的にアピールするため、市役所・区役所デジタルサイネージや交通広告等を活用した動画・静止画の放映を実施しました。

〈動画等〉

- ・18区役所デジタルサイネージ
- ・横浜市役所デジタルサイネージ
- ・横浜信用金庫のデジタルサイネージ
- ・関内駅北口デジタルサイネージ
- ・交通広告での放映：市営地下鉄車内LCD（液晶ディスプレイ）

〈ポスター等〉

- ・動物園、ウェルカムセンター、下水道水再生センター等での横断幕の掲出
- ・日産スタジアムへのPR看板の掲出
- ・市営バス等へのPR用ステッカーの貼付
- ・図書館でのポスターの掲出
- ・自転車駐輪場でのポスター掲出



関内駅北口 デジタルサイネージ
(中区)



よこはま動物園ズーラシア 横断幕
(旭区)

よこはまこどもみどりアップリーフレットを用いたPR

未来を担うこどもたちに横浜の緑について知つてもらいたいという思いから、こども向けに「よこはまこどもみどりアップ」リーフレットを作成しました。イベントでの配布や区役所などの施設での配架を行うなどPRしています。

横浜みどり税を活用して整備した公園等でのPR

横浜みどり税を活用して整備している工事現場や、整備後の公園などに、看板を設置して横浜みどりアップ計画をPRしています。



北寺尾六丁目サムエル公園
現地看板(鶴見区)



公園緑地整備
工事看板

イベントや区役所でのPR

里山ガーデンフェスタや農と緑のふれあい祭り等の市民向けイベントにブースを出展したほか、区役所や区民ホールにて、PRタペストリーを展示しました。



農と緑のふれあい祭り
(保土ヶ谷区)



都筑区役所(都筑区)
(保土ヶ谷区)



よこはまこどもみどりアップリーフレット
(一部抜粋)

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組への工夫点・課題等

計画の周知や実績報告

区役所や財政局とも連携し、市連会・区連会での実績説明、デジタルサイネージでの動画放映、市民向けイベントブースを出展してのPRやタペストリー展示等を行い、「横浜みどりアップ計画」及び「横浜みどり税」の周知を行いました。

市民の皆様が「横浜みどりアップ計画」の取組についてご理解いただき、実感いただけるよう、引き続き、効果的な広報を工夫して進めていきます。

市民推進会議からの評価コメント

計画の周知や実績報告

広報や発信においては、情報の源流をどのようにつくり、それを様々な手法で市民に伝えるといった情報流通の戦略が非常に重要です。

広報を通じて、みどりアップ計画によりどのような恩恵を得ているのかという実感を市民にもってもらうことが大切です。実績数値を伝わりやすくする表現の工夫や、市民の声をたくさん拾うなど共感を得られるような定性的な表現も加えていくといいと考えます。

取組においては、教育現場などの他事業との関わりも大きいことから、こういったつながりを生かした情報発信について検討すべきと考えます。作成した「よこはまこどもみどりアップリーフレット」を学校の教材として活用してもらうなどして、教育現場で横浜の緑をテーマに考えてもらうような能動的な発信を行い、横浜の緑の取組への関心が広がること、理解と共感が深まることを期待します。

今後の進め方

計画の周知や実績報告

多くの市民の皆様がご覧になる広報よこはまをはじめ、様々なSNSや交通広告、現地看板など、様々な媒体を効果的に活用することで、幅広い年齢層の方々に、横浜みどりアップ計画の取組や横浜みどり税の使い道についてご理解いただけるような取組を進めます。

また、「横浜市の緑の取組に関するアンケート調査」を毎年度実施し、市民の皆様のニーズの確認、事業評価を継続して実施し、個々の事業の改善につなげます。

さらに、未来を担うこどもたちに、横浜の緑の魅力やみどりアップ計画の仕組みを理解してもらうため、2024年度に作成した「よこはまこどもみどりアップリーフレット」を効果的に活用していきます。一例として、教育現場とのつながりを強化し、子どもたちに横浜の緑についての関心と理解が進むよう取り組みます。

今後も伝わる広報を意識して取組み、横浜みどりアップ計画への一層のご理解と共感につなげます。

2024年度の事業・取組の実績一覧

端数調整により、合計値は一致しないことがあります。

取組番号	計画内容	2024年度執行額(百万円)		5か年の目標	2024年度実績			
		総額	うち横浜みどり税					
柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む								
事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り								
1	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り							
	緑地保全制度による新規指定	4,099	[974]	180ha	49.5ha			
	保全した樹林地の整備			推進	推進			
事業② 良好的な森の育成								
2	森の多様な機能に着目した森づくりの推進							
	森の維持管理	689	[679]	推進	推進			
3	指定した樹林地における維持管理の支援							
	維持管理の助成	137	[137]	750件	134件			
事業③ 森に関わる多様な機会の創出								
森づくりを担う人材の育成								
4	森づくりを担う人材の育成			50回	10回			
	広報誌等での森づくり活動に関する情報発信	11	[11]	20回	4回			
森づくり活動団体への支援								
5	森づくり活動団体への支援	10	[9]	175団体	36団体			
	森に関わるきっかけづくり							
6	市内大学や関係団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施			180回	115回			
	学校と連携したきっかけづくり	52	[14]	推進	推進			
	ウェルカムセンターでの森のマナーアップにつながるイベント等			50回	10回			
森の多様な楽しみづくり								
7	市民の森の開園	4	[4]	5か所	0か所			
	地域における多様な森の利活用			推進	推進			

取組番号	計画内容	2024年度執行額(百万円)		5か年の目標	2024年度実績			
		総額	うち横浜みどり税					
柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる								
事業① 良好的な農景観の保全								
8	水田の保全							
	水田保全面積	84	[47]	115ha/年	112.5ha			
	水源・水路の確保			25件	3件			
特定農業用施設保全契約の締結								
9	特定農業用施設保全契約の締結	2	-	制度運用	制度運用			

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組番号	計画内容	2024年度 執行額(百万円)		5か年の目標	2024年度 実績			
		総額	うち横浜みどり税					
柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる								
事業① 良好的な農景観の保全								
10	農景観を良好に維持する活動の支援							
	まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援:							
	集団農地維持活動団体			60団体/年	57団体/年			
	農地縁辺部への植栽	106	[10]	75件	23件			
	農景観保全整備			40件	8件			
	周辺環境に配慮した活動への支援:							
	環境配慮支援			25件	5件			
11	多様な主体による農地の利用促進							
	遊休農地の復元支援	10	[10]	20ha	5.0ha			
事業② 農とふれあう場づくり								
様々な市民ニーズに合わせた農園の開設								
12	様々なニーズに合わせた農園の開設 (以下、内訳)			19.5ha	3.38ha			
	・収穫体験農園	334	[87]	10ha	2.94ha			
	・市民農園			5ha	0.34ha			
	・農園付公園			4.5ha	0.1ha			
市民が農を楽しみ支援する取組の推進								
13	横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施			450回	119回			
	コーディネーター派遣	30	-	50件	12件			
	市民農業大学講座の開催			175回	35回			
	家族で学ぶ農体験講座の開催			30回	6回			
事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進								
地産地消にふれる機会の拡大								
14	直売所・青空市等の支援			285件	62件			
	緑化用苗木の配布	44	-	125,000鉢	27,084鉢			
	市内産花苗の公共施設等での活用			10件	2件			
	情報発信・PR:情報誌などの発行			35回	10回			
事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開								
地産地消を広げる人材の育成・支援								
15	はまふうどコンシェルジュ育成講座の開催			5回	1回			
	はまふうどコンシェルジュ・よこはま地産地消サポート店の活動支援	5	-	150件	37件			
	地産地消フォーラムの開催			5回	1回			
市民や企業等との連携								
16	市民や企業等との連携			75件	15件			
	ビジネス創出支援	3	-	20件※	0件			
	学校給食での市内産農産物の一斉供給			推進	推進			
	料理コンクールの開催			5回	1回			

※2~5年目で各年5回ずつ実施する計画となっています。

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組番号	計画内容	2024年度執行額(百万円)		5か年の目標	2024年度実績			
		総額	うち横浜みどり税					
柱3 市民が実感できる緑や花をつくる								
事業① まちなかでの緑の創出・育成								
17	シンボル的な緑の創出・育成							
	緑の創出	20	[3]	5か所	3か所			
	緑の維持管理			推進	推進			
18	街路樹による良好な景観づくり							
	街路樹による良好な景観づくり	454	[454]	18区で推進	18区で推進			
19	公開性のある緑空間の創出支援							
	緑化の助成	10	[6]	推進	推進			
20	建築物緑化保全契約の締結							
	建築物緑化保全契約の締結	-	-	制度運用	制度運用			
21	名木古木の保存							
	名木古木の保存	16	[15]	推進	推進			
事業② 緑や花があふれる地域づくり								
22	地域緑のまちづくり							
	地域緑のまちづくり	50	[50]	35地区	7地区			
23	地域に根差した緑や花の楽しみづくり							
	緑や花を身边に感じる各区の取組	85	-	18区で推進	18区で推進			
24	人生記念樹の配布							
	人生記念樹の配布	18	[11]	40,000本	6,915本			
事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成								
25	保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成							
	緑の創出	47	[6]	100か所	28か所			
	緑の維持管理			推進	推進			
事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成								
26	都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり							
	緑花による魅力づくり	518	[264]	推進	推進			

取組番号	計画内容	2024年度執行額(百万円)		5か年の目標	2024年度実績			
		総額	うち横浜みどり税					
効果的な広報の展開								
事業① 市民の理解を広げる広報の展開								
27	計画の周知や実績報告	14	-	推進	推進			

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

柱別・合計執行額

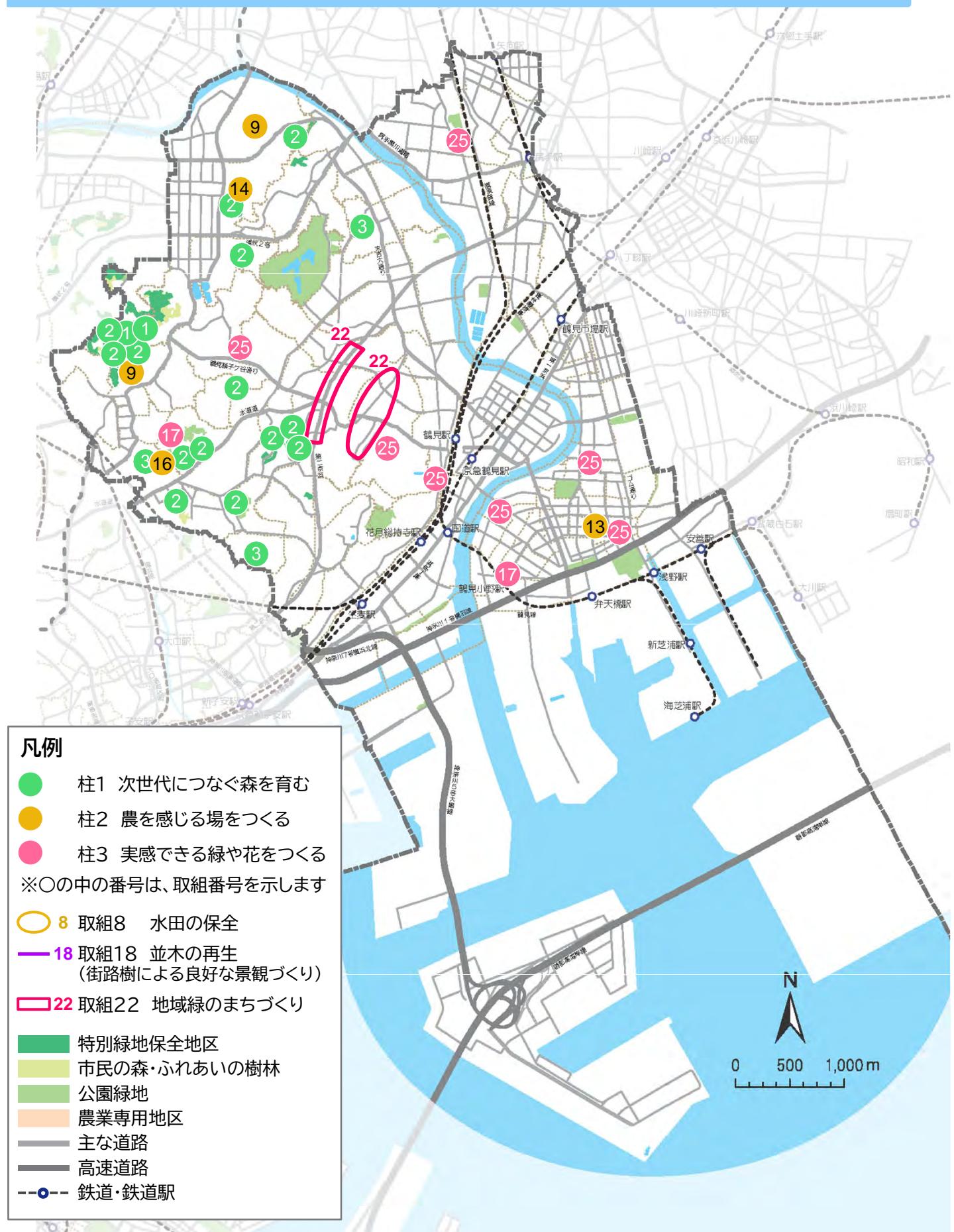
端数調整により、合計値は一致しないことがあります。

	2024年度 執行額 (百万円)	うち横浜 みどり税 (百万円)
柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	5,001	[1,827]
柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる	617	[154]
柱3 市民が実感できる緑や花をつくる	1,218	[810]
効果的な広報の展開	14	-
合計	6,850	[2,791]

第4章 各区の実績

- ・各区における実績マップに示されている取組の場所は、実際の位置を正確に示すものではなく、おおよその目安としてご覧ください。
- ・市域全体から広く参加者を募ったイベントや講座など、全市的に効果が及ぶものは各区の実績には含めていません。

鶴見区における実績



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
6

森に関わるきっかけづくり

関連団体との連携によるクラフト教室の開催 つるみ夢ひろば in 總持寺



取組
14

地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

JJA鶴見支店駐車場直売所(野菜部)



取組
23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布 平安公園



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
13

市民が農を楽しみ支援する取組の推進

農のコーディネーター派遣
入船小学校



取組
17

シンボル的な緑の創出・育成

公有地化によるシンボル的な緑の創出
北寺尾六丁目サムエル公園



取組
25

保育園・幼稚園・小中学校での

緑の創出・育成

芝生の整備 總持寺保育園



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・市による買取り

特別緑地保全地区 0.20ha

獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区(2か所)

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 8か所

獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区／馬場五丁目特別緑地保全地区／馬場二丁目特別緑地保全地区／東寺尾六丁目特別緑地保全地区／駒岡中郷市民の森／獅子ヶ谷市民の森／かぶと塚ふれあいの樹林／東寺尾ふれあいの樹林

公園 6か所

駒岡堂ノ前公園／白幡公園／馬場町公園／馬場二丁目公園／二本木第二公園／ニツ池公園

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援・維持管理の助成

3か所 上末吉一丁目／馬場一丁目／東寺尾三丁目

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

12回 各種イベント(2回)／クラフト教室等(10回)

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

●取組9 特定農業用施設保全契約の締結

・特定農業用施設保全契約の締結

2件 北寺尾七丁目／駒岡四丁目

●取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

・市民が農を楽しみ支援する取組の推進

コーディネーター派遣 1回

入船小学校

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

青空市・マルシェ等 1件

JJA鶴見支店駐車場直売所(野菜部)

●取組16 市民や企業等との連携

・市民や企業等との連携

企業等と連携した地産地消の推進

馬場花木園における地産地消イベントの開催(馬場花木園)

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組17 シンボル的な緑の創出・育成

・シンボル的な緑の創出・育成

公有地化によるシンボル的な緑の創出・育成
北寺尾六丁目サムエル公園(創出および育成)／下野谷町三丁目公園(育成)

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 430本

ゴム通り／平安町栄町公園通りほか

●取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

継続支援 1地区

寺谷地区

協定締結終了地区的支援 1地区

北寺尾地区

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組
環境啓発イベント「TSURUMI GO GREEN」／まちかど花壇

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(市場旧東海道公園など55か所)／花苗の配布(市場旧東海道公園など53か所)／堆肥の配布(市場旧東海道公園など55か所)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

364本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の創出 4か所

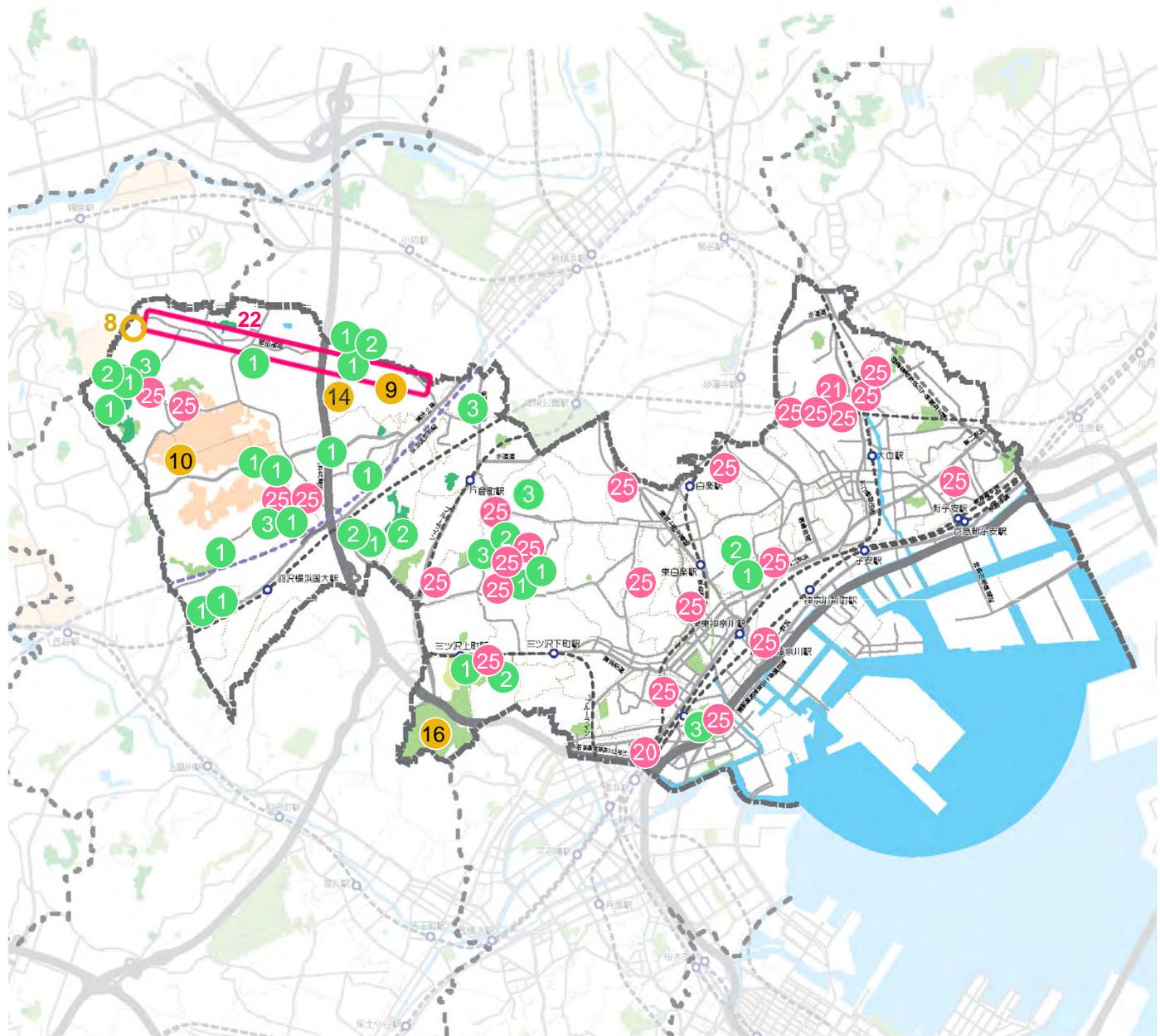
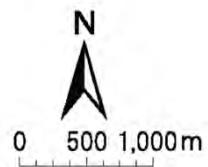
總持寺保育園／總持寺本町通保育園／旭小学校／入船小学校

緑の育成 3か所

鶴見大学短期大学部付属三松幼稚園／潮田小学校／新鶴見小学校

4 各区の取組

神奈川区における実績



凡例

- 柱1 次世代につなぐ森を育む
- 柱2 農を感じる場をつくる
- 柱3 実感できる緑や花をつくる

※○の中の番号は、取組番号を示します

- 8 取組8 水田の保全
- 18 取組18 並木の再生
(街路樹による良好な景観づくり)
- 22 取組22 地域緑のまちづくり

特別緑地保全地区
市民の森・ふれあいの樹林
公園緑地
農業専用地区
主な道路
高速道路
鉄道・鉄道駅

4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
1

緑地保全制度による指定の拡大・
市による買取り
新規指定 羽沢町具行特別緑地保全地区



取組
6

森に関わるきっかけづくり
神奈川図書館との連携による森のネイチャーゲームの開催 立町みはらし公園



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
16

市民や企業等との連携
横浜FCホームゲームにおける
横浜農場PRイベントの実施 三ツ沢公園



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組
23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり
地域の花いっぱいにつながる取組
球根・堆肥の配布 六角橋六丁目公園



取組
23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり
緑や花を身近に感じる各区の取組
親子で咲かせるはじめてのミニガーデン



取組
24

人生記念樹の配布
JA横浜メルカートかながわ



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

特別緑地保全地区 0.40ha

羽沢町具行特別緑地保全地区

源流の森保存地区 0.44ha

菅田町／羽沢町

寄付緑地等 0.50ha

三枚町矢崎特別緑地保全地区隣接地／白幡西緑地隣接地／(仮称)三枚町公園

・市による買取り

特別緑地保全地区 1.10ha

神大寺二丁目特別緑地保全地区／菅田町赤坂特別緑地保全地区／羽沢町相原特別緑地保全地区／羽沢南

四丁目特別緑地保全地区

・保全した樹林地の整備

8か所

神大寺二丁目特別緑地保全地区／菅田町
出戸谷特別緑地保全地区／菅田町堀上特
別緑地保全地区(2か所)／羽沢町相原特別
緑地保全地区／羽沢町綿打特別緑地保全
地区／羽沢南四丁目特別緑地保全地区／
豊頃寺市民の森

●取組2 森の多様な機能に着目した 森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 7か所

神大寺二丁目特別緑地保全地区／三枚町特別緑地保全地区／三枚町牛道根特別緑地保全地区／菅田町赤坂特別緑地保全地区／菅田町堀上特別緑地保全地区／豊頃寺市民の森／白幡西緑地

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

9か所 青木町／神大寺二丁目／神大寺四丁目／
三枚町／菅田町(2か所)／羽沢町(3か所)

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による 地域の森でのイベントの実施

2回 各種イベント(2回)

柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる

●取組8 水田の保全

・水田保全面積

0.12ha 菅田町

●取組9 特定農業用施設保全契約の締結

・特定農業用施設保全契約の締結

1件 菅田町

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への 支援

集団農地維持活動団体 1件

神奈川農地整備組合

農地縁辺部への植栽 1件

神奈川農地整備組合

・周辺環境に配慮した活動への支援

緑肥作物等による環境対策 0.9ha

羽沢町(8か所)

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

直売所・加工所 1件

菅田町

●取組16 市民や企業等との連携

・市民や企業等との連携

企業等と連携した地産地消の推進

横浜FCホームゲームにおける横浜農場PRイベントの
実施(ニッパツ三ツ沢球技場)

4 各区の取組

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 384本

新横浜通り／栄本町線ほか

●取組20 建築物緑化保全契約の締結

・建築物緑化保全契約の締結

1件 鶴屋町

●取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

維持管理の助成 2件

松見町(2件)

●取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

協定締結終了地区の支援 1地区

菅田地区

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

神奈川区内の花と緑のスポットマップ作成／区民向け

ガーデニング講座

身近な公共施設での緑の育成 2か所

神奈川区庁舎／砂田川花壇

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(赤坂公園など136か所)／花苗の配布(赤坂公園など137か所)／堆肥の配布(赤坂公園など137か所)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

426本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

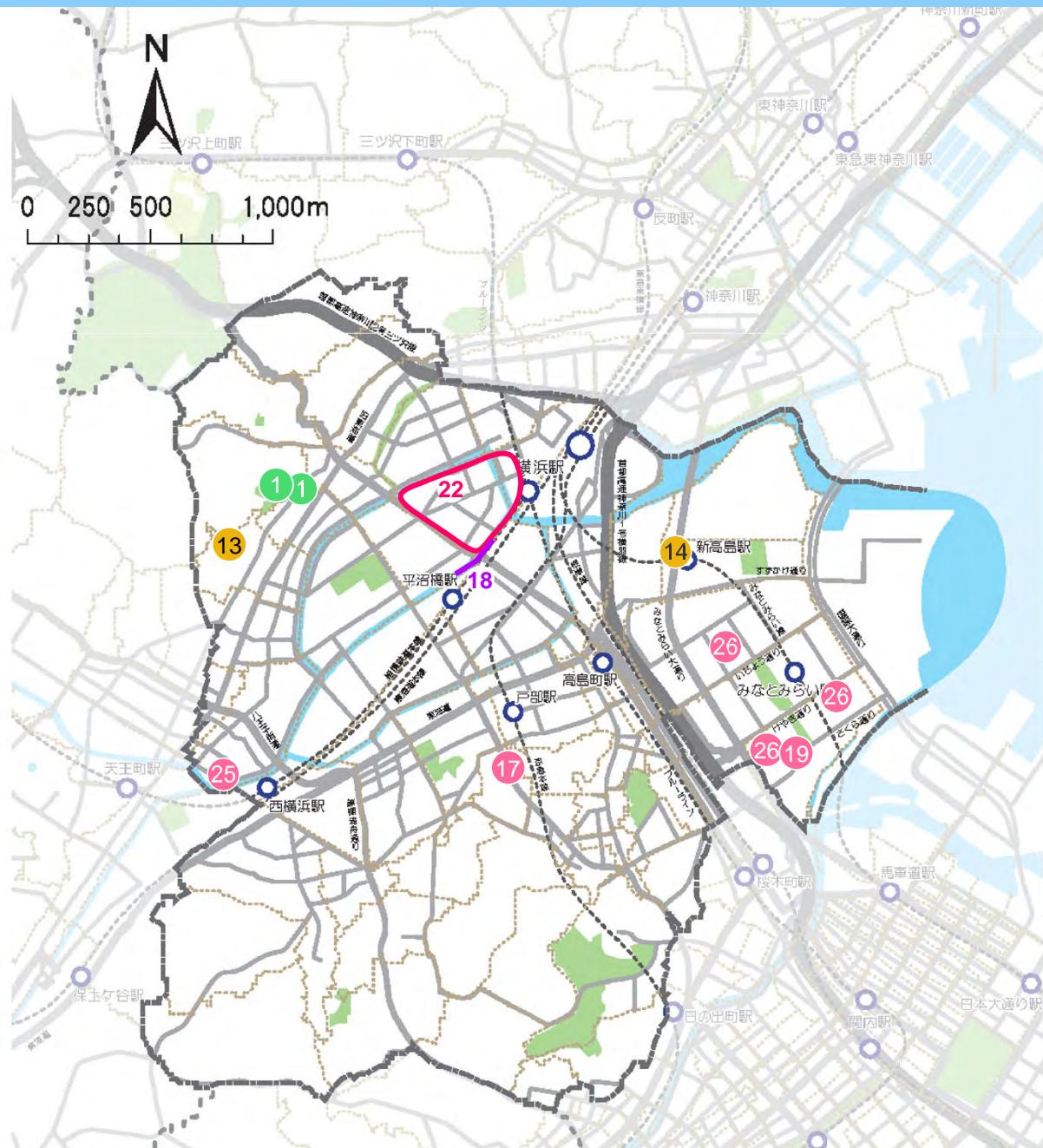
緑の創出 2か所

神大寺保育園／羽沢小学校

緑の育成 22か所

神大寺保育園／西菅田保育園／松見保育園／青木小学校／浦島小学校／大口台小学校／神奈川小学校／神橋小学校／神大寺小学校／幸ヶ谷小学校／子安小学校／斎藤分小学校／白幡小学校／菅田の丘小学校／中丸小学校／西寺尾小学校／西寺尾第二小学校／羽沢小学校／二谷小学校／三ツ沢小学校／南神大寺小学校／盲特別支援学校

西区における実績



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
1 緑地保全制度による指定の拡大・
市による買取り
新規指定 緑地保存地区 浅間台



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進
農のコーディネーター派遣
浅間台小学校



取組
14 地産地消にふれる機会の拡大
直売所・青空市等の支援
みなとみらい農家朝市



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組
18 街路樹による良好な景観づくり
並木の再生 石崎川プロムナード(整備中)
サクラ(ヨコハマヒザクラ)



取組
19 公開性のある緑空間の創出支援
みなとみらい二丁目



取組
23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり
バラ育成講座
岡野二丁目集会所(岡野公園内)



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

- 取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

- ・緑地保全制度による新規指定

緑地保存地区 0.47ha

浅間台／浅間町

柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる

- 取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

- ・市民が農を楽しみ支援する取組の推進

コーディネーター派遣 1回

浅間台小学校

- 取組14 地産地消にふれる機会の拡大

- ・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

青空市・マルシェ等 1件

みなとみらい農家朝市

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

- 取組17 シンボル的な緑の創出・育成

- ・シンボル的な緑の創出・育成

公有地化によるシンボル的な緑の創出・育成

伊勢町もくせい公園(育成)

- 取組18 街路樹による良好な景観づくり

- ・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 608本

環状1号線／桜川新道ほか

並木の再生 1路線

石崎川プロムナード※整備中・サクラ(ヨコハマヒザクラ)

- 取組19 公開性のある緑空間の創出支援

- ・公開性のある緑空間の創出支援

1か所 みなとみらい二丁目

- 取組22 地域緑のまちづくり

- ・地域緑のまちづくり

継続支援 1地区

南幸地区

- 取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

- ・緑や花を身边に感じる各区の取組

各区の取組

「藤の花再生プロジェクト」推進事業

バラ育成講座

身近な公共施設での緑の育成 3か所

西区庁舎／市長公舎／中央図書館

地域の花いっぱいにつながる取組

花苗の配布(池ノ上公園など13か所)／堆肥の配布
(池ノ上公園など31か所)

公園愛護会花壇づくり講習会の実施(1か所 大谷公園)

- 取組24 人生記念樹の配布

- ・人生記念樹の配布

289本

- 取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

- ・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の育成 1か所

南浅間保育園

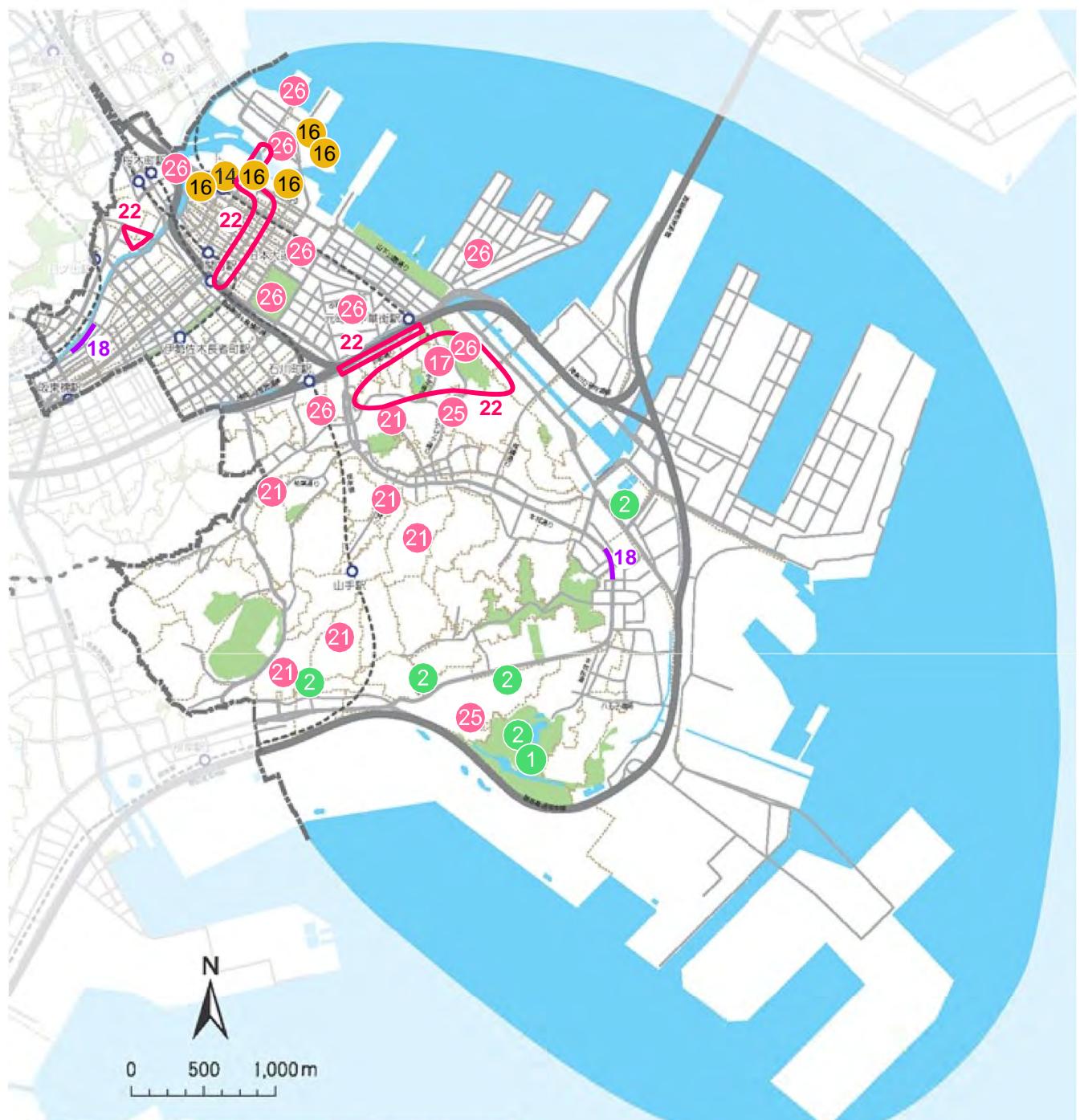
- 取組26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

- ・緑花による魅力づくり

3か所 グランモール公園／さくら通り／けやき通り

4 各区の取組

中区における実績

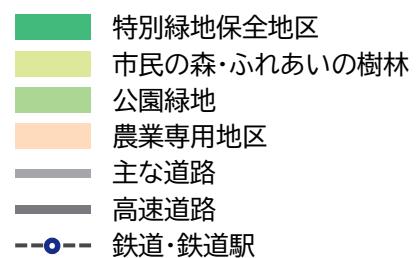


凡例

- 柱1 次世代につなぐ森を育む
 - 柱2 農を感じる場をつくる
 - 柱3 実感できる緑や花をつくる

※○の中の番号は、取組番号を示します

- 8 取組8 水田の保全
 - 18 取組18 並木の再生
(街路樹による良好な景観づくり)
 - 22 取組22 地域縁のまちづくり



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
6

森に関わるきっかけづくり
中図書館との連携による森の
ネイチャーゲームの開催 本牧山頂公園



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
16

市民や企業等との連携
横浜赤レンガと連携した「おいも万博」
における街なか収穫体験の実施



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組
18

街路樹による良好な景観づくり
並木の再生 大岡川プロムナード(整備中)
サクラ(ジンダイアケボノ)



取組
23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり
公園愛護会花壇づくり講習会
山下公園



取組
25

保育園・幼稚園・小中学校での
緑の創出・育成
緑の創出 ビオトープの整備 北方小学校



取組
26

都心臨海部等の緑花による魅力ある
空間づくり
日本大通り



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・保全した樹林地の整備

1か所 三渓園緑地

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 4か所

加曾台緑地／三渓園緑地／本牧荒井緑地／本牧間門緑地

公園 1か所

本牧十二天緑地

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

8回 各種イベント(4回)／クラフト教室等(4回)

柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

青空市・マルシェ等 22件

北仲マルシェ

●取組16 市民や企業等との連携

・市民や企業等との連携

企業等と連携した地産地消の推進

JA横浜との連携による市庁舎直売の実施(横浜市役所)／北仲マルシェにおける横浜農場ブースの出店(北仲ブリック&ホワイト)／ハマフェスY165の地産地消マルシェ＆横浜パン祭りにおける横浜農場ブースの出店(象の鼻パーク)／横浜赤レンガと連携した「おいも万博」における街なか収穫体験の実施(横浜赤レンガ倉庫)／横浜赤レンガと連携した「Yokohama Strawberry Festival 2025」におけるイチゴ農家の直売(横浜赤レンガ倉庫)

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組17 シンボル的な緑の創出・育成

・シンボル的な緑の創出・育成

公有地化によるシンボル的な緑の創出・育成

山手町(創出 ※整備中)

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 943本

豊浦町第52号線／大桟橋浦舟線ほか

並木の再生 2路線

大岡川プロムナード※整備中・サクラ(ジンダイアケボノ)／本牧通り※完了路線の補植・サクラ(ソメイヨシノ)

●取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

維持管理の助成 13件

滝之上(1件)／西之谷町(1件)／豆口台(2件)／山手町(3件)／大和町(1件)／山元町(5件)

●取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

新規支援 1地区

元町通り地区

継続支援 2地区

関内桜通り地区／野毛本通り地区

協定締結終了地区の支援 1地区

山手地区

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

フラワー＆グリーンフェスタ2024／花と緑のウォーキングツアー

身近な公共施設での緑の育成 1か所

中本牧コミュニティハウス敷地内子どもの遊び場

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(石川町五丁目公園など37か所)／花苗の配布(福富町西公園など7か所)／堆肥の配布(石川町五丁目公園など37か所)

公園愛護会花壇づくり講習会の実施(1か所 山下公園での球根ミックス花壇づくり)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

225本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の創出 1か所

北方小学校

緑の育成 1か所

間門小学校

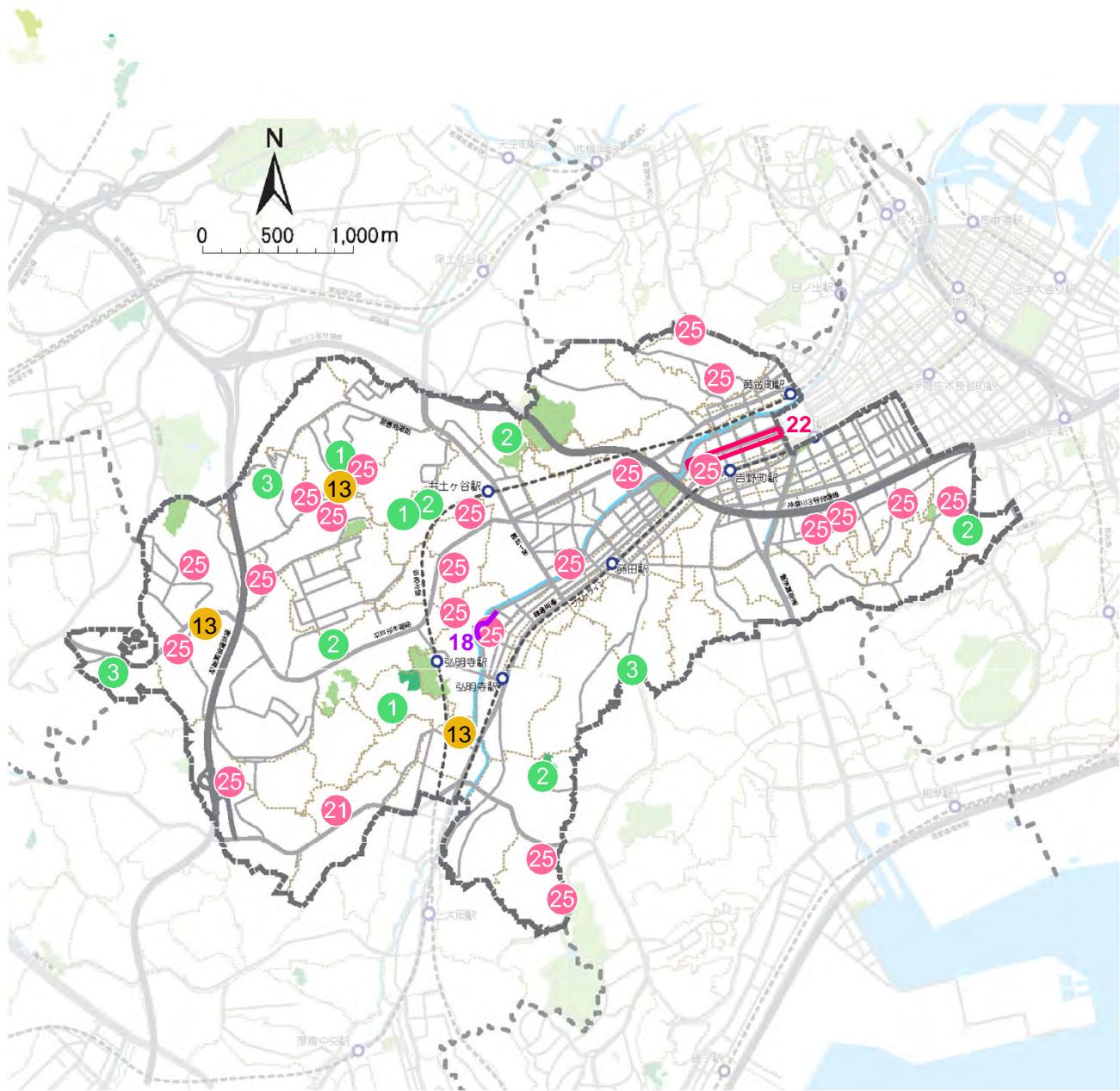
●取組26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

緑花による魅力づくり

9か所 山下公園／港の見える丘公園／山手イタリア山庭園／横浜公園／日本大通り／山下公園通り／新港中央広場／桜木町駅前広場／横浜ハンマーヘッド周辺

4 各区の取組

南区における実績



凡例

- 柱1 次世代につなぐ森を育む
- 柱2 農を感じる場をつくる
- 柱3 実感できる緑や花をつくる

※○の中の番号は、取組番号を示します

- 8 取組8 水田の保全
- 18 取組18 並木の再生
(街路樹による良好な景観づくり)
- 22 取組22 地域緑のまちづくり

特別緑地保全地区
市民の森・ふれあいの樹林
公園緑地
農業専用地区
主な道路
高速道路
--- 鉄道・鉄道駅

4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
1

緑地保全制度による指定の拡大・
市による買取り
新規指定 緑地保存地区 永田北二丁目



取組
3

指定した樹林地における維持管理の
支援
六ツ川四丁目



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
13

市民が農を楽しみ支援する取組の推進
農のコーディネーター派遣
永田中学校



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組
18

街路樹による良好な景観づくり
並木の再生 大岡川プロムナード(整備中)
サクラ(ジンダイアケボノ)



取組
23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり
地域の花いっぱいにつながる取組
花苗の配布 山ノ下公園



取組
24

人生記念樹の配布
南区庁舎



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

緑地保存地区 0.31ha

永田北二丁目

・市による買取り

公園樹林部等 41m²

永田東緑地管理用地

・保全した樹林地の整備

1か所 中里三丁目特別緑地保全地区

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 2か所

大岡三丁目緑地／永田東緑地

公園 3か所

唐沢公園／南太田四丁目公園／六ツ川中央公園

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

3か所 永田台／蒔田町／六ツ川四丁目

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

3回 各種イベント(3回)

柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる

●取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

・市民が農を楽しみ支援する取組の推進

コーディネーター派遣 3回

永田中学校／南小学校／六つ川西小学校

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 569本

永楽町一丁目通り・永真北通り・永真仲通り／鎌倉街道ほか

並木の再生 1路線

大岡川プロムナード※整備中・サクラ(ジンダイアケボノ)

●取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

維持管理の助成 2件

別所二丁目(2件)

●取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

継続支援 1地区

お三の宮通り周辺地区

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

身近な公園の魅力アップ

身近な公共施設での緑の育成 1か所

南区庁舎

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(東橋公園など83か所)／花苗の配布(大谷戸公園など5か所)／堆肥の配布(東橋公園など57か所)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

222本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の創出 4か所

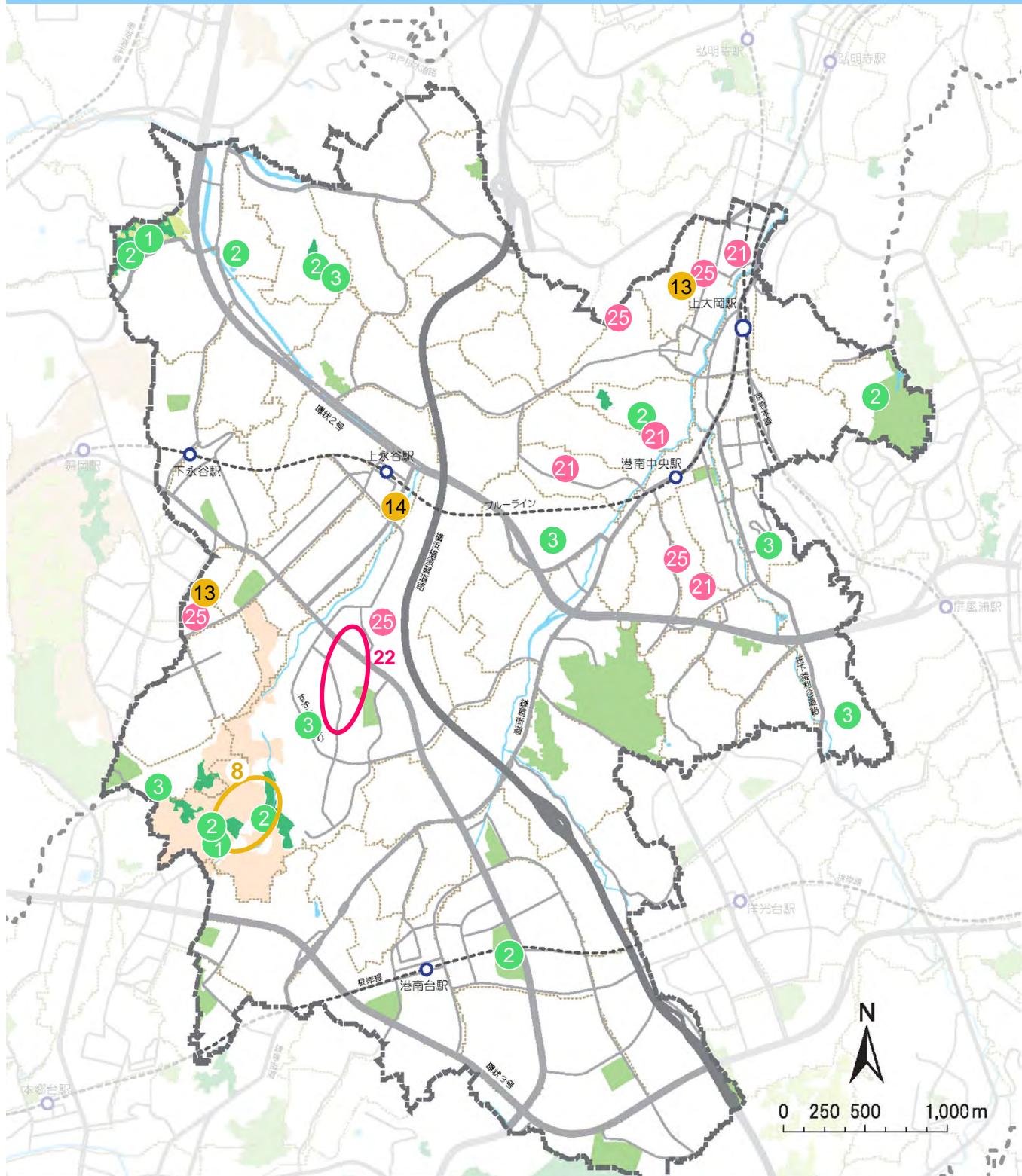
石川小学校／井土ヶ谷小学校／太田小学校／藤の木中学校

緑の育成 18か所

井土ヶ谷保育園／しろばら保育園／石川小学校／井土ヶ谷小学校／大岡小学校／太田小学校／中村小学校／永田小学校／永田台小学校／日枝小学校／藤の木小学校／別所小学校／南太田小学校／六つ川小学校／六つ川西小学校／南中学校／永田中学校／六ツ川中学校

4 各区の取組

港南区における実績



凡例

- 桁1 次世代につなぐ森を育む
- 桁2 農を感じる場をつくる
- 桁3 実感できる緑や花をつくる

※○の中の番号は、取組番号を示します

- 8 取組8 水田の保全
- 18 取組18 並木の再生
(街路樹による良好な景観づくり)
- 22 取組22 地域緑のまちづくり

- 特別緑地保全地区
- 市民の森・ふれあいの樹林
- 公園緑地
- 農業専用地区
- 主な道路
- 高速道路
- 鉄道・鉄道駅

4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
1 緑地保全制度による指定の拡大・
市による買取り
保全した樹林地の整備 下永谷市民の森



取組
6 森に関わるきっかけづくり
関連団体との連携によるクラフト教室の
開催 港南台地区センター



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進
農のコーディネーター派遣
桜岡小学校



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組
23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり
地域の花いっぱいにつながる取組
球根の配布 日野宮ノ脇公園



取組
24 人生記念樹の配布
港南区庁舎



取組
25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の
創出・育成
芝生の育成 大久保保育園



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

- 取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・保存した樹林地の整備

2か所 下永谷市民の森／野庭町特別緑地保全地区

- 取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 6か所

港南一丁目特別緑地保全地区／芹が谷五丁目特別緑地保全地区／下永谷市民の森／下永谷長町緑地／野庭・上永谷町緑地／野庭町緑地

公園 2か所

久良岐公園／港南台中央公園

- 取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

11か所 上永谷町／笹下一丁目／笹下三丁目／芹が谷五丁目／野庭町(6か所)／日野二丁目

- 取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

5回 各種イベント(1回)／クラフト教室等(4回)

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

- 取組8 水田の保全

・水田保全面積

0.71ha 野庭町

- 取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

・市民が農を楽しみ支援する取組の推進

コーディネーター派遣 2回

桜岡小学校／日限山小学校

- 取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・緑化用苗木等の配布

公共施設等の周辺への植樹 1件

南部児童相談所

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

- 取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 491本

環状2号線(北部)／野庭団地2号線ほか

- 取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

維持管理の助成 8件

港南一丁目(1件)／港南三丁目(3件)／港南五丁目(3件)／最戸一丁目(1件)

- 取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

継続支援 1地区

野庭団地地区

- 取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

ひまわり育成事業／東永谷地区センター・東永谷地域ケアプラザ「季節の彩り花展」

身近な公共施設での緑の育成 4か所

港南区庁舎／上大岡コミュニティハウス／横浜藤沢線中央分離帯／港南図書館

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(榎戸公園など56か所)／花苗の配布(東永谷桜台公園など8か所)／堆肥の配布(日限山港南プラザ公園など8か所)

- 取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

406本

- 取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の創出 1か所

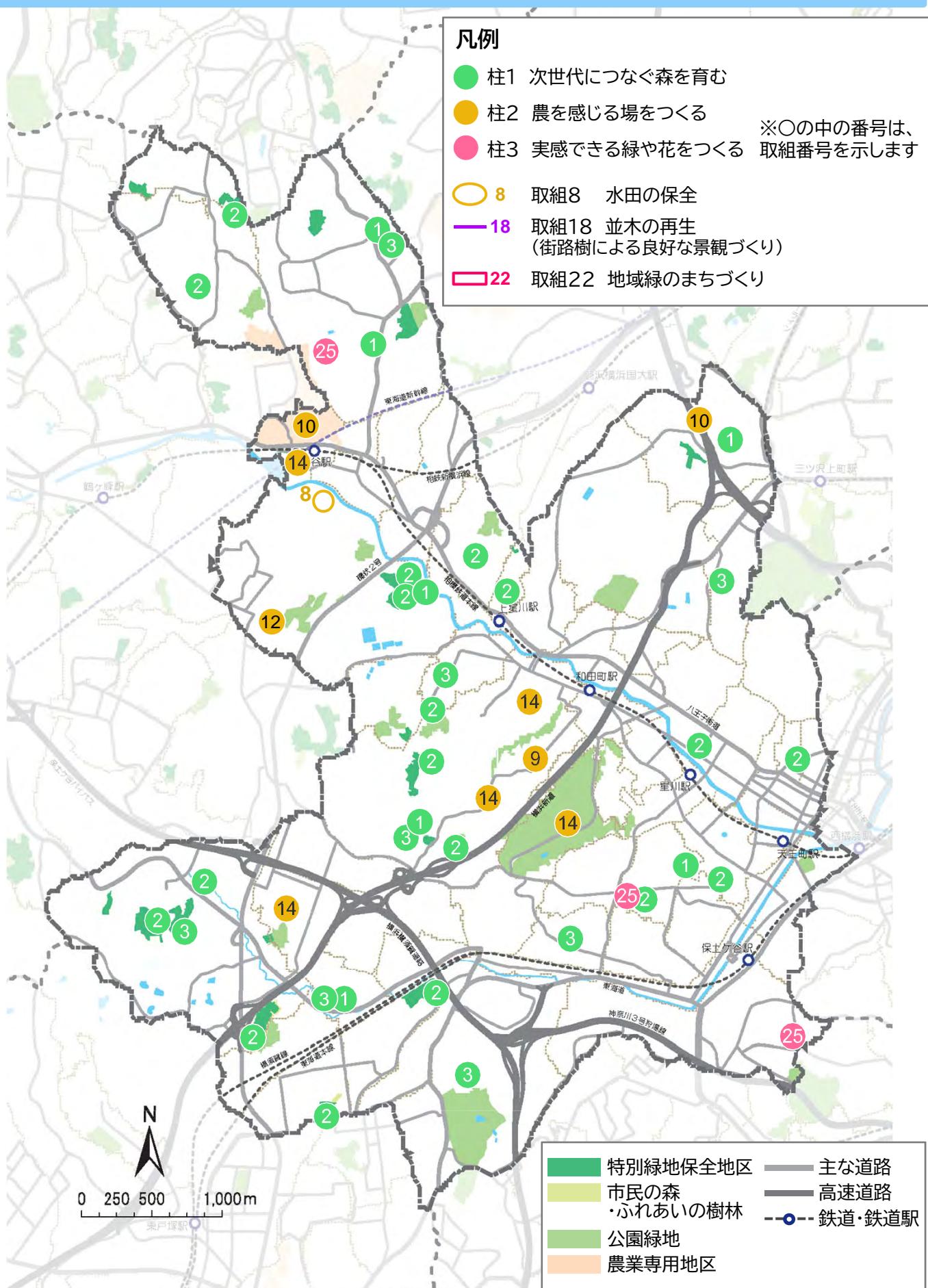
日限山小学校

緑の育成 4か所

大久保保育園／野庭第二保育園／桜岡小学校／南台小学校

4 各区の取組

保土ヶ谷区における実績



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
1

緑地保全制度による指定の拡大・
市による買取り

新規指定 源流の森保存地区 上菅田町



取組
3

指定した樹林地における維持管理の
支援
上菅田町



取組
6

森に関わるきっかけづくり

横浜国立大学との連携による地域の森でのイベントの実施 よこはま森の楽校



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
14

地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援 西谷朝市会



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組
23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり
ほどがや花フェスタ2024



取組
23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり
地域の花いっぱいにつながる取組
球根・堆肥の配布 笹山西公園



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

緑地保存地区 0.01ha

法泉三丁目

源流の森保存地区 0.58ha

上菅田町

・保全した樹林地の整備

5か所 上菅田町寺下橋特別緑地保全地区／川島特別緑地保全地区／桜ヶ丘緑地／仏向町横谷特別緑地保全地区／峰沢町特別緑地保全地区

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 14か所

今井町大久保特別緑地保全地区／今井町美立橋特別緑地保全地区／上菅田町金草沢東特別緑地保全地区／上星川一丁目特別緑地保全地区／川島特別緑地保全地区／権太坂特別緑地保全地区／仏向町特別緑地保全地区／今井・境木市民の森／境木ふれあいの樹林／川島向台緑地／神戸緑地／桜ヶ丘緑地／仏向緑地／宮田緑地

公園 4か所

新井町公園／上星川あおぞら公園／仏向矢シ塚公園／横浜市児童遊園地

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

12か所 今井町(2か所)／岩崎町／岡沢町／上菅田町(2か所)／狩場町／坂本町／仏向町(3か所)／法泉三丁目

●取組5 森づくり活動団体への支援

・森づくり活動団体への支援

樹林地 2団体

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

13回 各種イベント(4回)／クラフト教室等(9回)

柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる

●取組8 水田の保全

・水田保全面積

0.34ha 川島町

●取組9 特定農業用施設保全契約の締結

・特定農業用施設保全契約の締結

1件 仏向町

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

集団農地維持活動団体 2件

西谷農業専用地区協議会／峰沢地区農地保全協議会

・周辺環境に配慮した活動への支援

緑肥作物等による環境対策 0.15ha

上菅田町

●取組12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

・様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園 0.07ha

川島町

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

直売所・加工所 1件

仏向町

青空市・マルシェ等 4件

新桜ヶ丘支店直売所直売班／西谷朝市会／横浜中部地区市民朝市／和田町駅前直売会

4 各区の取組

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 248本

保土ヶ谷駅浅間線／今井町321号線ほか

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身边に感じる各区の取組

各区の取組

ほどがや花フェスタ2024

身近な公共施設での緑の育成 2か所

保土ヶ谷区庁舎／保土ヶ谷ビオガーデン

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(初音ヶ丘公園など41か所)／花苗の配布

(新桜ヶ丘第三公園など6か所)／堆肥の配布(新桜ヶ

丘第三公園など32か所)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

338本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の

創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

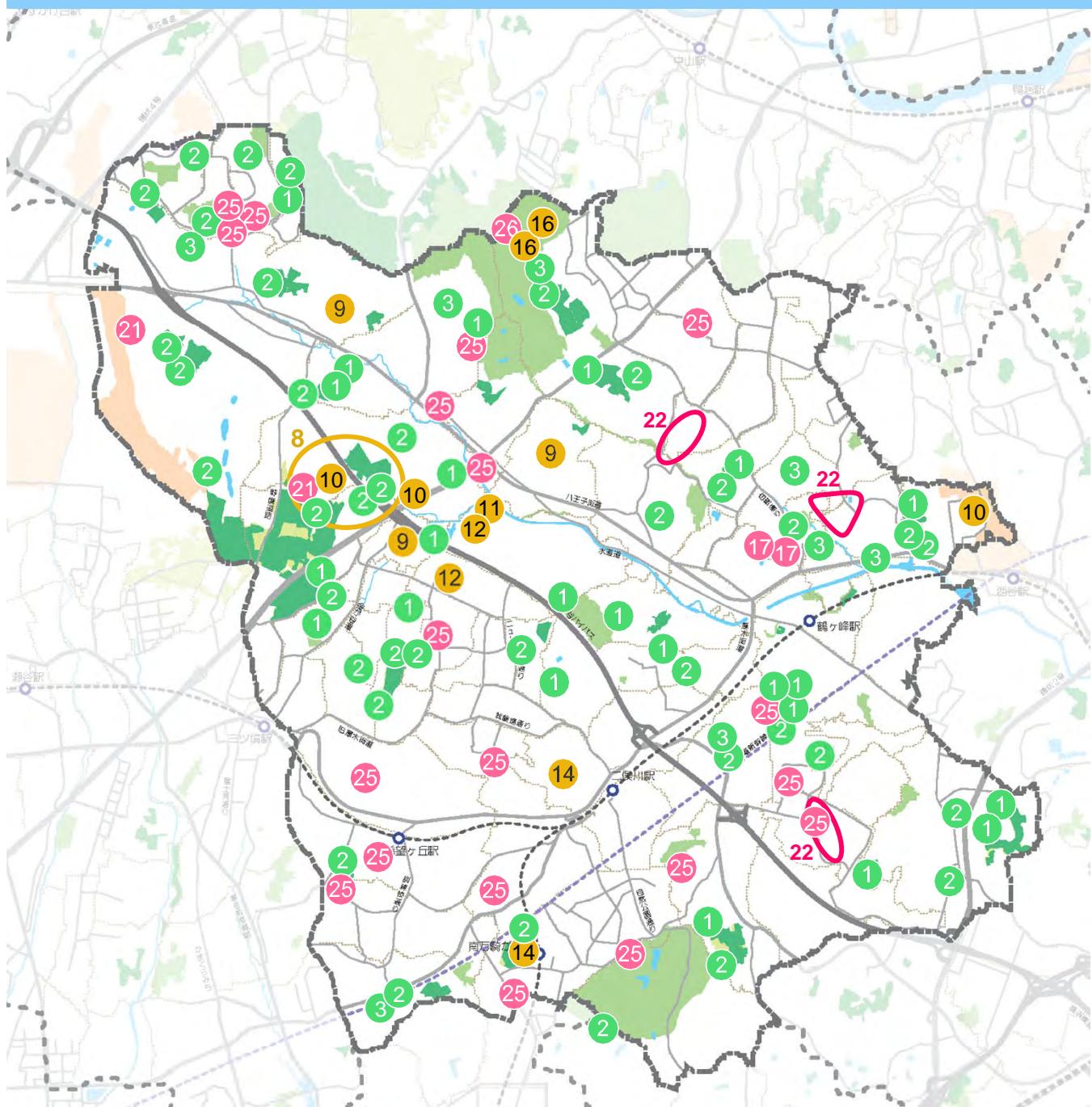
緑の創出 2か所

上菅田笹の丘小学校／桜台小学校

緑の育成 1か所

岩井保育園

旭区における実績



凡例

● 柱1 次世代につなぐ森を育む	■ 特別緑地保全地区
● 柱2 農を感じる場をつくる	■ 市民の森・ふれあいの樹林
● 柱3 実感できる緑や花をつくる	■ 公園緑地
※○の中の番号は、取組番号を示します	■ 農業専用地区
	■ 主な道路
	■ 高速道路
	■ 鉄道・鉄道駅
○ 8 取組8 水田の保全	
— 18 取組18 並木の再生(街路樹による良好な景観づくり)	
■ 22 取組22 地域緑のまちづくり	

4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
1

緑地保全制度による指定の拡大・
市による買取り
新規指定 川井宿町特別緑地保全地区



取組
2

森の多様な機能に着目した森づくりの
推進
森の維持管理 鶴ヶ峰ふれあいの樹林



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
13

市民が農を楽しみ支援する取組の推進
都岡地区恵みの里での秋野菜づくり体
験教室



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組
17

シンボル的な緑の創出・育成
公共施設・公有地での緑の創出
旭図書館・白根地区センター



取組
23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり
地域の花いっぱいにつながる取組
球根・堆肥の配布 鶴ヶ峰公園



取組
26

都心臨海部等の緑花による魅力ある
空間づくり
里山ガーデン



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

特別緑地保全地区 11.2ha

今川町西特別緑地保全地区／追分特別緑地保全地区／金が谷特別緑地保全地区／川井宿町特別緑地保全地区

緑地保存地区 0.09ha

中沢一丁目

源流の森保存地区 1.10ha

今宿南町／川井本町／下川井町

寄付緑地等 36m²

今宿3号緑地隣接地

・市による買取り

特別緑地保全地区 1.50ha

川井本町特別緑地保全地区／鶴ヶ峰特別緑地保全地区(2か所)

市民の森等 0.70ha

南本宿市民の森

・保全した樹林地の整備

10か所 市沢市民の森(2か所)／市沢ふれあいの樹林／今川町特別緑地保全地区／上白根町後谷特別緑地保全地区／白根ふれあいの樹林／鶴ヶ峰ふれあいの樹林／猪子山緑地／笹野台三丁目緑地／若葉台一丁目緑地

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 29か所

猪子山特別緑地保全地区／上川井町堂谷特別緑地保全地区／上川井町中田谷特別緑地保全地区／上川井町堀谷特別緑地保全地区／上白根町後谷特別緑地保全地区／上白根町小池特別緑地保全地区／川井特別緑地保全地区／川井本町特別緑地保全地区／川島町二ノ沢特別緑地保全地区／下川井町特別緑地保全地区／中沢二丁目特別緑地保全地区／三保特別緑地保全地区(旭区分)／市沢市民の森／今宿市民の森／追分市民の森／柏町市民の森／上川井市民の森／南本宿市民の森／矢指市民の森／市沢ふれあいの樹林／白根ふれあいの樹林／鶴ヶ峰ふれあいの樹林／猪子山緑地／今宿第二緑地／笹野台緑地／笹野台三丁目緑地／二俣川ニュータウン緑地／若葉台一丁目緑地／若葉台四丁目緑地

公園 9か所

今宿東公園／大貫谷公園／希望が丘水の森公園／こども自然公園／四季美台ふれあい公園／白根公園／桧山公園／南本宿公園／若葉台公園

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

10か所 上川井町／上白根町／川井宿町(2か所)／白根二丁目(2か所)／白根三丁目／白根六丁目／善部町／本宿町

●取組5 森づくり活動団体への支援

・森づくり活動団体への支援

樹林地 5団体

柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる

●取組8 水田の保全

・水田保全面積

0.79ha 下川井町／矢指町

●取組9 特定農業用施設保全契約の締結

・特定農業用施設保全契約の締結

3件 今宿西町／金が谷／上川井町

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

集団農地維持活動団体 2件

下川井農地整備組合／西谷農業専用地区協議会

農地縁辺部への植栽 1件

都岡地区恵みの里運営協議会

・周辺環境に配慮した活動への支援

緑肥作物等による環境対策 0.33ha

下川井町／矢指町

●取組11 多様な主体による農地の利用促進

・遊休農地の復元支援

0.45ha 今宿南町

●取組12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

・様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園 0.29ha

今宿一丁目／今宿南町

●取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

・市民が農を楽しみ支援する取組の推進

横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施
31回

都岡地区恵みの里での枝豆づくり体験、オリーブ収穫体験、小麦づくり体験など

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

直売所・加工所 1件

柏町

青空市・マルシェ等 1件

横浜農協二俣川支店直売所直売班

4 各区の取組

●取組16 市民や企業等との連携

・市民や企業等との連携

企業等と連携した地産地消の推進

春の里山ガーデンフェスタにおける地産地消サポート店のキッチンカー出店及びJA横浜による市内産農産物の販売（里山ガーデン）／秋の里山ガーデンフェスタにおける地産地消サポート店のキッチンカー出店及びJA横浜による市内産農産物の販売（里山ガーデン）

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組17 シンボル的な緑の創出・育成

・シンボル的な緑の創出・育成

公共施設・公有地での緑の創出

旭図書館／白根地区センター

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 480本

ニュータウン通り／今宿南郵便局通りほか

●取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

維持管理の助成 4件

上川井町(1件)／下川井町(3件)

●取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

継続支援 2地区

白根二丁目地区／左近山地区

協定締結終了地区の支援 1地区

上白根国際地区

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

旭オーブンガーデン

区民利用施設で花の種配布

身近な公共施設での緑の育成 3か所

旭区庁舎／ふるさと尾根道緑道／旭図書館

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(大原西公園など84か所)／花苗の配布

(大原西公園など17か所)／堆肥の配布(大原西公園など70か所)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

462本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の創出 1か所

中尾小学校

緑の育成 18か所

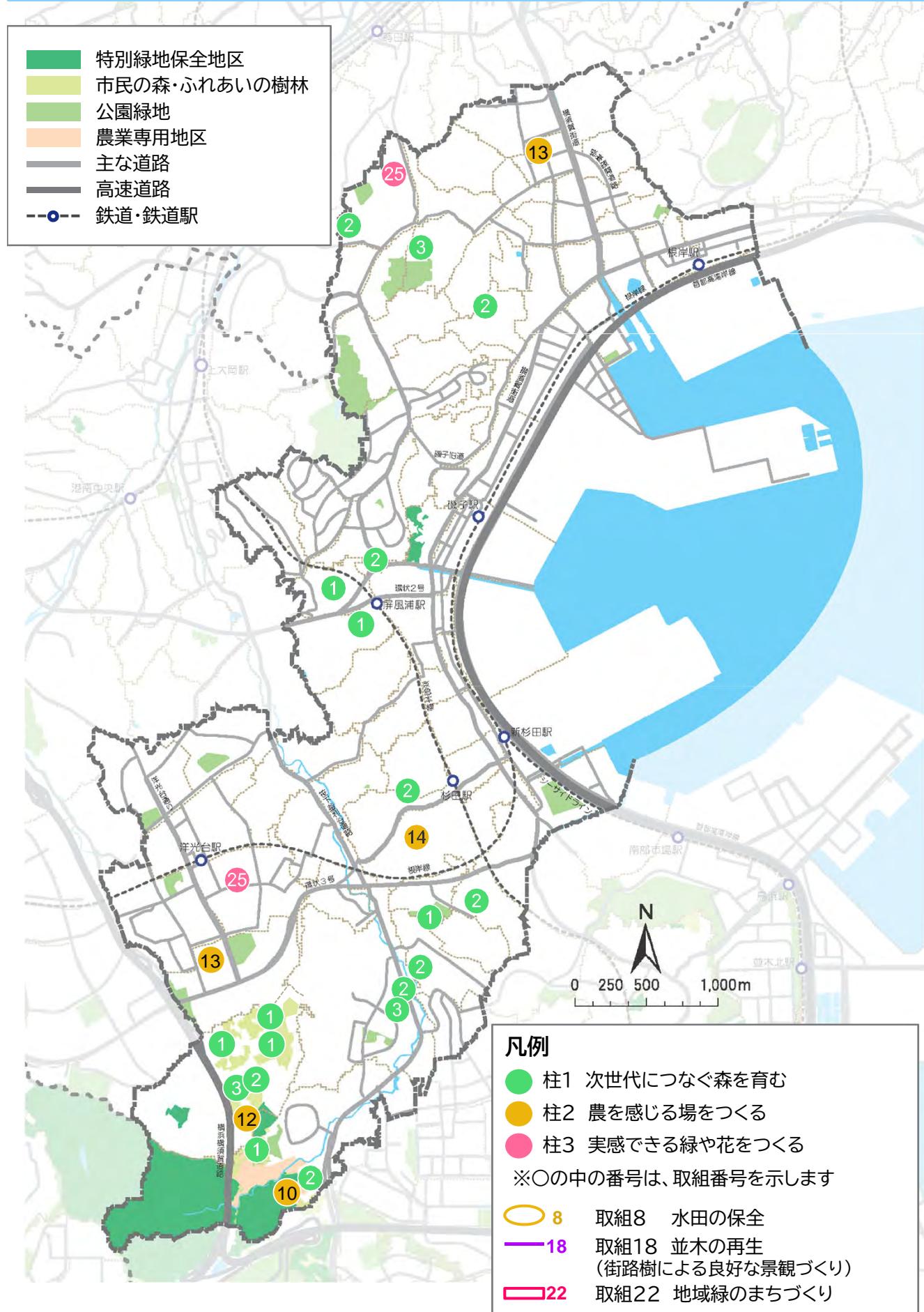
柏保育園／左近山保育園／鶴ヶ峰幼稚園／幼保連携型認定こども園若葉台こども園／上白根小学校／川井小学校／希望ヶ丘小学校／さちが丘小学校／都岡小学校／東希望が丘小学校／万騎が原小学校／南本宿小学校／若葉台小学校／旭中学校／都岡中学校／本宿中学校／南希望が丘中学校／若葉台特別支援学校

●取組26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

・緑花による魅力づくり

1か所 里山ガーデン

磯子区における実績



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
1

緑地保全制度による指定の拡大・
市による買取り

新規指定 円海山近郊緑地特別保全地区



取組
6

森に関わるきっかけづくり

区主催のイベントでのクラフト教室の
開催 磐子まつり



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
13

市民が農を楽しみ支援する取組の推進
農のコーディネーター派遣
洋光台第四小学校



取組
14

地産地消にふれる機会の拡大
直売所・青空市等の支援
杉田野菜直売会



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組
23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり

地域の花いっぱいにつながる取組
球根・堆肥の配布 磐子峯第二公園



取組
24

人生記念樹の配布

J.A横浜メルカートいそご



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

特別緑地保全地区 3.20ha

円海山近郊緑地特別保全地区(磯子区分)

緑地保存地区 0.09ha

森五丁目

源流の森保存地区 13.26ha

峰町

寄付緑地等 0.10ha

(仮称)森四丁目第六公園

・保全した樹林地の整備

3か所 峰市民の森(2か所)／杉田坪呑緑地

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 9か所

森浅間社特別緑地保全地区／氷取沢市民の森／峰市民の森

／岡村一丁目緑地／岡村四丁目緑地／上中里緑地／

杉田九丁目緑地／杉田坪呑緑地／中原四丁目緑地

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

3か所 岡村二丁目／上中里町／峰町

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

7回 各種イベント(2回)／クラフト教室等(5回)

柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

農地縁辺部への植栽 1件

氷取沢畠地かんがい組合

●取組12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

・様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

市民農園 0.02ha

氷取沢町

●取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

・市民が農を楽しみ支援する取組の推進

コーディネーター派遣 2回

滝頭小学校／洋光台第四小学校

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

青空市・マルシェ等 1件

杉田野菜直売会

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 659本

洋光台団地3号線／洋光台団地4号線ほか

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

区の花フォトスポット設置

身近な公共施設での緑の育成 5か所

磯子区庁舎／滝頭コミュニティハウス／市道新杉田第117号線／横浜市社会教育コーナー／杉田臨海緑地

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(岡村西公園など50か所)／花苗の配布(岡村西公園など14か所)／堆肥の配布(岡村西公園など61か所)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

261本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の育成 2か所

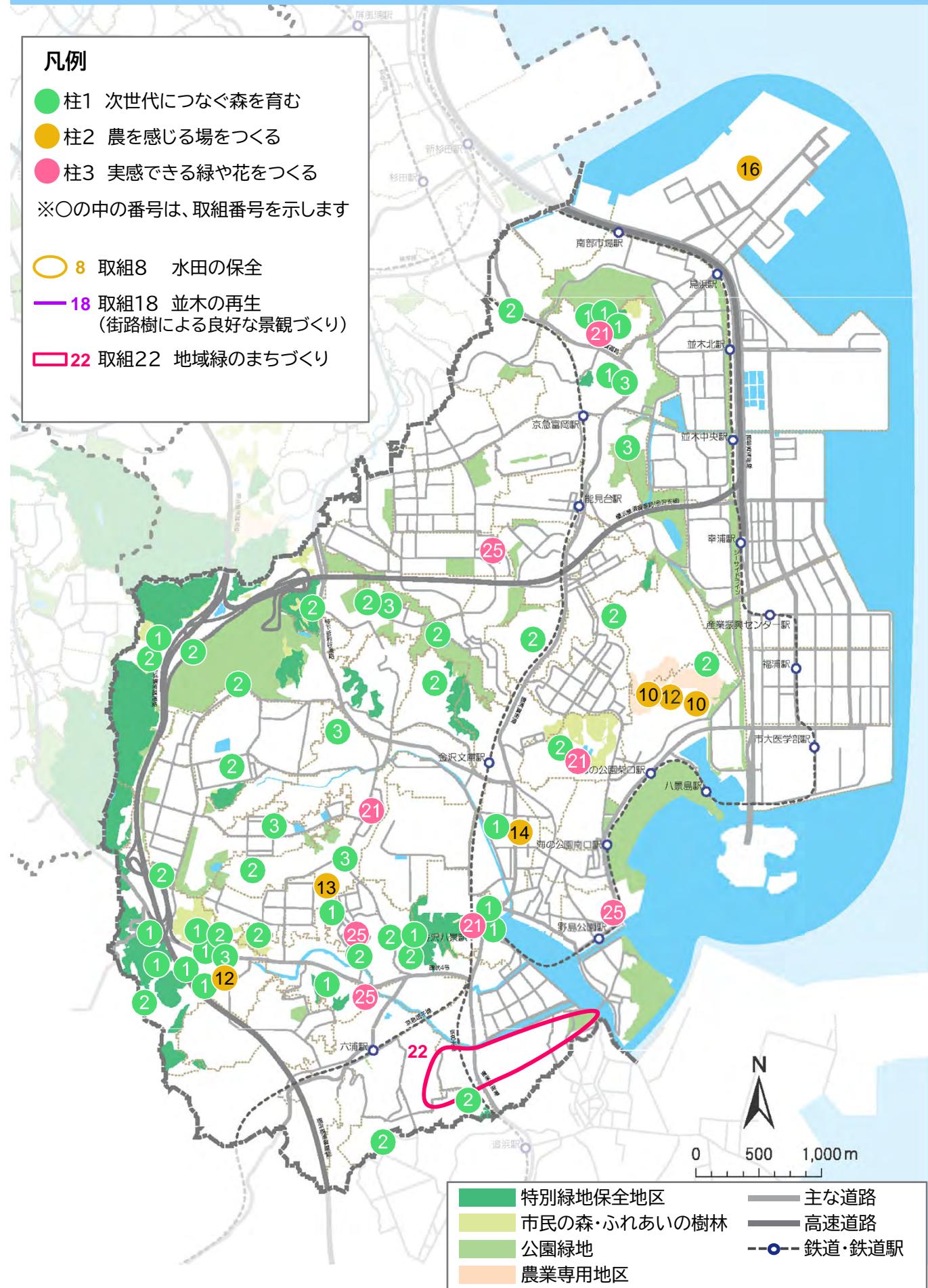
洋光台第二保育園／岡村小学校

4 各区の取組

金沢区における実績

凡例

- 柱1 次世代につなぐ森を育む
 - 柱2 農を感じる場をつくる
 - 柱3 実感できる緑や花をつくる
 - ※○の中の番号は、取組番号を示します
- 8 取組8 水田の保全
- 18 取組18 並木の再生
(街路樹による良好な景観づくり)
- 22 取組22 地域緑のまちづくり



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
2

森の多様な機能に着目した
森づくりの推進
森の維持管理 六浦緑地



取組
5

森づくり活動団体への支援
間伐材チップ化作業支援
関ヶ谷市民の森



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
13

市民が農を楽しみ支援する取組の推進
柴シーサイド恵みの里での
ジャガイモ掘り体験



取組
13

市民が農を楽しみ支援する取組の推進
農のコーディネーター派遣
高舟台小学校



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組
23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり
身近な公共施設での緑の創出
八景島客船ターミナル周辺



取組
25

保育園・幼稚園・小中学校での
緑の創出・育成
芝生の整備 大道小学校



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

特別緑地保全地区 1.90ha

円海山近郊緑地特別保全地区(金沢区分)

寄付緑地等 0.20ha

大道二丁目特別緑地保全地区隣接地

・市による買取り

特別緑地保全地区 1.30ha

朝比奈特別緑地保全地区(2か所)／御伊勢山・権現山特別緑地保全地区／富岡東五丁目特別緑地保全地区／富岡東三丁目特別緑地保全地区

公園樹林部等 61m²

朝比奈特別緑地保全地区管理用地／富岡東三丁目特別緑地保全地区管理用地

・保全した樹林地の整備

8か所 片吹緑地／六浦緑地／六浦二丁目緑地／朝比奈特別緑地保全地区(3か所)／(仮称)富岡東三丁目市民の森／(仮称)御伊勢山・権現山市民の森

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 19か所

朝比奈特別緑地保全地区／朝比奈北市民の森／金沢市民の森／釜利谷市民の森／称名寺市民の森／関ケ谷市民の森／片吹緑地／釜利谷緑地／釜利谷東三丁目緑地／釜利谷南二丁目緑地／柴・長浜緑地／大道二丁目緑地／富岡東一丁目緑地／能見台六丁目緑地／六浦緑地／六浦五丁目緑地(協働の森)／六浦三艘緑地／六浦二丁目緑地／六浦東三丁目緑地

公園 4か所

金沢自然公園／釜利谷五号緑地／小柴崎緑道／能見堂緑地

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

9か所 朝比奈町／釜利谷東六丁目／釜利谷南一丁目(3か所)／釜利谷南四丁目／富岡東五丁目／富岡東六丁目／能見台六丁目

●取組4 森づくりを担う人材の育成

・森づくりを担う人材の育成

体験会の開催 1回

金沢自然公園

●取組5 森づくり活動団体への支援

・森づくり活動団体への支援

樹林地 2団体

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

集団農地維持活動団体 1件

柴農業機械利用組合

農地縁辺部への植栽 1件

柴農業機械利用組合

農景観保全整備

1件

横浜市金沢区柴土地改良区

●取組12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

・様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園 0.03ha

柴町

市民農園 0.03ha

朝比奈町

●取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

・市民が農を楽しみ支援する取組の推進

横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施
4回

柴シーサイド恵みの里でのジャガイモ掘り、みかん狩り、さといも掘りなど

コーディネーター派遣 1回

高舟台小学校

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

青空市・マルシェ等 1件

柴シーサイド恵みの里協議会

●取組16 市民や企業等との連携

・市民や企業等との連携

企業等と連携した地産地消の推進

横浜ベイサイドマリーナマルシェ(Y.B.Marina Marche)における横浜農場ブースの出店 (横浜ベイサイドマリーナ)

4 各区の取組

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 2,101本

能見台環境施設帯／釜利谷団地周辺ほか

●取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

維持管理の助成 12件

金沢町(4件)／釜利谷南一丁目(3件)／瀬戸(1件)／
富岡東三丁目(4件)

●取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

継続支援 1地区

六浦東地区

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

区の花PR事業

身近な公共施設での緑の創出 1か所

八景島客船ターミナル周辺

身近な公共施設での緑の育成 3か所

金沢区庁舎／金沢地区センター／泥亀公園

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(大川公園など118か所)／花苗の配布(大川公園など67か所)／堆肥の配布(大川公園など2か所)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

438本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の 創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の創出 2か所

大道小学校／能見台小学校

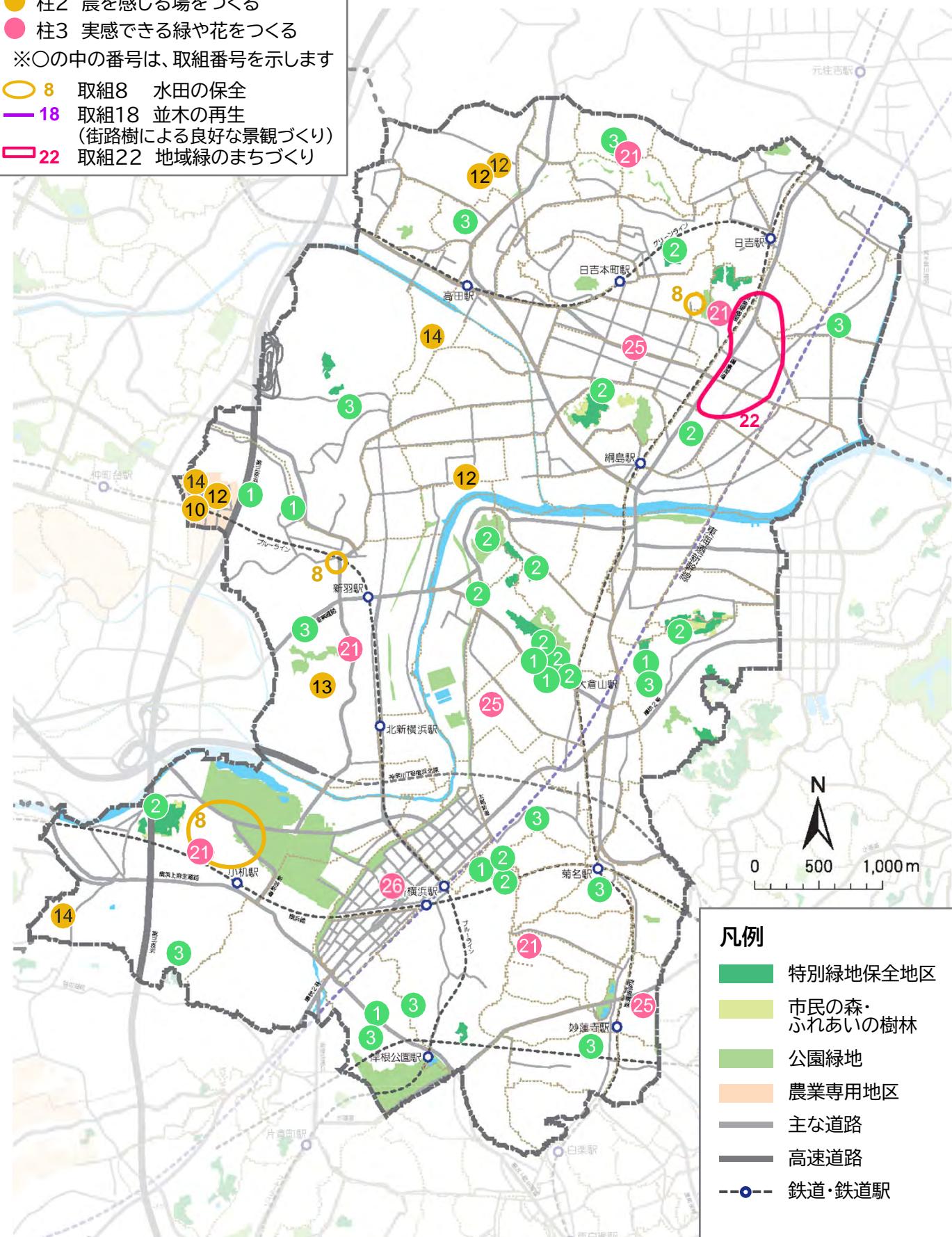
緑の育成 3か所

聖星保育園／大道小学校／六浦小学校

港北区における実績

凡例

- 柱1 次世代につなぐ森を育む
 - 柱2 農を感じる場をつくる
 - 柱3 実感できる緑や花をつくる
 - ※○の中の番号は、取組番号を示します
- 8 取組8 水田の保全
- 18 取組18 並木の再生
(街路樹による良好な景観づくり)
- 22 取組22 地域緑のまちづくり



凡例

- 特別緑地保全地区
- 市民の森・ふれあいの樹林
- 公園緑地
- 農業専用地区
- 主な道路
- 高速道路
- 鉄道・鉄道駅

4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
1

緑地保全制度による指定の拡大・
市による買取り

新規指定 緑地保存地区 岸根町



取組
6

森に関わるきっかけづくり

関連団体との連携によるクラフト教室の
開催 新横浜公園



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
8

水田の保全
小机町



取組
13

市民が農を楽しみ支援する取組の推進
農のコーディネーター派遣
新羽小学校



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組
23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり

地域の花いっぱいにつながる取組

花壇づくり講習会 新吉田第一公園



取組
25

保育園・幼稚園・小中学校での
緑の創出・育成

ビオトープ整備 太尾保育園



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

特別緑地保全地区 0.10ha

大倉山特別緑地保全地区

緑地保存地区 0.29ha

岸根町／大豆戸町

源流の森保存地区 0.15ha

新羽町(2か所)

・保全した樹林地の整備

2か所 大倉山特別緑地保全地区／熊野神社市民の森

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 13か所

大倉山特別緑地保全地区／大曾根台特別緑地保全地区

／日吉特別緑地保全地区／熊野神社市民の森／小机城址市民の森／綱島市民の森／大倉山二丁目緑地

／篠原城址緑地／綱島東二丁目緑地／太尾緑地／棒田谷緑地／大豆戸緑地／牢尻緑地

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

15か所 岸根町／小机町(2か所)／篠原町／下田町三丁目／新吉田町(3か所)／高田西三丁目／仲手原二丁目／錦が丘／新羽町／日吉五丁目／大豆戸町／師岡町

●取組4 森づくりを担う人材の育成

・森づくりを担う人材の育成

体験会の開催 1回

綱島市民の森

●取組5 森づくり活動団体への支援

・森づくり活動団体への支援

樹林地 1団体

公園 1団体

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

3回 各種イベント(2回)／クラフト教室等(1回)

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

●取組8 水田の保全

・水田保全面積

1.06ha 小机町／新羽町／箕輪町三丁目

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

集団農地維持活動団体 1件

新羽大熊農業専用地区協議会

農地縁辺部への植栽 1件

新羽大熊農業専用地区協議会

・周辺環境に配慮した活動への支援

緑肥作物等による環境対策 0.47ha

新吉田東八丁目／小机町(3か所)

●取組12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

・様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園 0.62ha

高田町／新羽町

市民農園 0.05ha

新吉田東五丁目／高田町

●取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

・市民が農を楽しみ支援する取組の推進

コーディネーター派遣 1回

新羽小学校

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

直売所・加工所 2件

新吉田東三丁目／新羽町

青空市・マルシェ等 1件

JA小机農産物直売所

4 各区の取組

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 921本

東綱島歩行者専用道路／宮内新横浜線ほか

●取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

新規指定 1件

富士塚一丁目(1件)

維持管理の助成 8件

小机町(1件)／下田町三丁目(4件)／新羽町(2件)／

箕輪町三丁目(1件)

●取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

新規支援 1地区

箕輪町地区

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

港北オープンガーデン／大倉山観梅会

身近な公共施設での緑の育成 2か所

港北区庁舎／港北土木事務所

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(菊名桜山公園など83か所)／花苗の配布
(大倉山公園など49か所)／堆肥の配布(神隠公園など43か所)

公園愛護会花壇づくり講習会の実施(1か所 新吉田第一公園)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

619本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の創出 2か所

太尾保育園／港北小学校

緑の育成 1か所

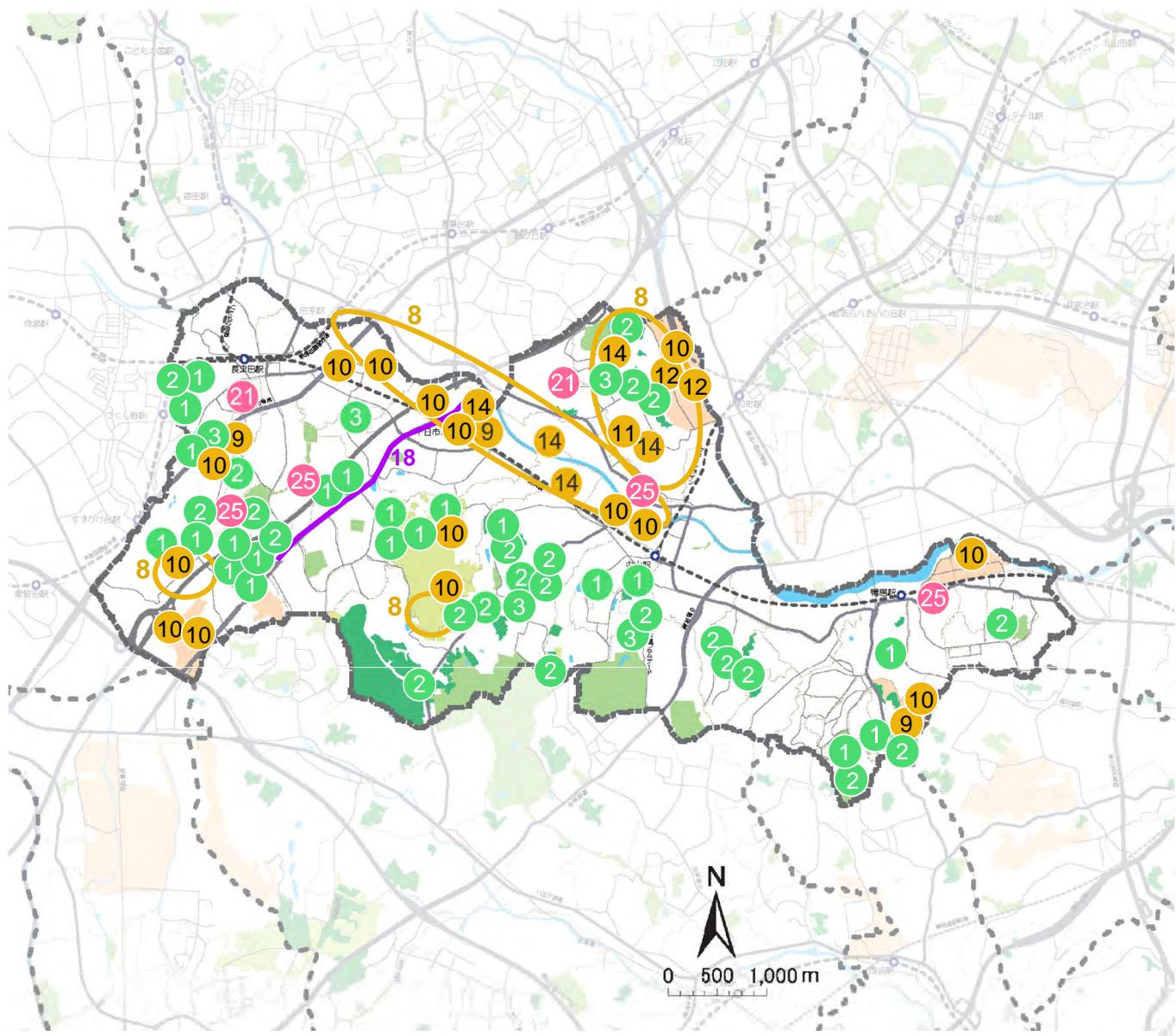
南日吉保育園

●取組26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

・緑花による魅力づくり

1か所 新横浜駅周辺

緑区における実績



凡例

- 柱1 次世代につなぐ森を育む
- 柱2 農を感じる場をつくる
- 柱3 実感できる緑や花をつくる

※○の中の番号は、取組番号を示します

- 8 取組8 水田の保全
- 18 取組18 並木の再生
(街路樹による良好な景観づくり)
- 22 取組22 地域緑のまちづくり

- 特別緑地保全地区
- 市民の森・ふれあいの樹林
- 公園緑地
- 農業専用地区
- 主な道路
- 高速道路
- - - 鉄道・鉄道駅

4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
1

緑地保全制度による指定の拡大・
市による買取り

新規指定 緑地保存地区 竹山三丁目



取組
4

森づくりを担う人材の育成

横浜市の森づくり塾！ 新治市民の森



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
8

水田の保全
北八朔町



取組
13

市民が農を楽しみ支援する取組の推進
新治恵みの里での
トウモロコシの朝採り収穫体験



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組
18

街路樹による良好な景観づくり
並木の再生 環状4号線(整備中)
サクラ(ヨウコウ)



取組
25

保育園・幼稚園・小中学校での
緑の創出・育成
芝生の育成 みもざ保育園



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

特別緑地保全地区 2.90ha

長津田町長月特別緑地保全地区

市民の森等 0.60ha

新治市民の森(2か所)

緑地保存地区 0.90ha

竹山二丁目／竹山三丁目

源流の森保存地区 2.59ha

十日市場町(3か所)／長津田町(11か所)

・市による買取り

市民の森等 0.30ha

新治市民の森(2か所)

・保全した樹林地の整備

7か所 (仮称)台村市民の森(台村町特別緑地保全地区)／鴨居原市民の森／鴨居原特別緑地保全地区／長津田町馬ノ背特別緑地保全地区／長津田町深田特別緑地保全地区／十日市場町笹山特別緑地保全地区／三保町杉沢特別緑地保全地区

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 18か所

上山・白山特別緑地保全地区／北八朔町中特別緑地保全地区／北八朔町南特別緑地保全地区／台村町特別緑地保全地区／寺山町本谷特別緑地保全地区／天神の杜特別緑地保全地区／長津田町長月特別緑地保全地区／長津田町深田特別緑地保全地区／三保特別緑地保全地区／三保町東谷特別緑地保全地区／鴨居原市民の森／長津田宿市民の森／新治市民の森／三保市民の森／上山ふれあいの樹林／長津田みなみ台二丁目緑地／三保中通緑地／三保不動緑地

公園 4か所

北八朔公園／玄海田公園／竹山南公園／東本郷公園

保全管理計画の策定 1か所

上山ふれあいの樹林

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

14か所 北八朔町／寺山町／長津田町(4か所)／長津田みなみ台七丁目／三保町(7か所)

●取組4 森づくりを担う人材の育成

・森づくりを担う人材の育成

体験会の開催 2回

新治市民の森

●取組5 森づくり活動団体への支援

・森づくり活動団体への支援

樹林地 4団体

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

10回 各種イベント(7回)／クラフト教室等(3回)

柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる

●取組8 水田の保全

・水田保全面積

34.7ha いぶき野／北八朔町／小山町／十日市場町／長津田町／新治町／西八朔町／三保町

●取組9 特定農業用施設保全契約の締結

・特定農業用施設保全契約の締結

3件 鴨居町／十日市場町／長津田町

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

集団農地維持活動団体 13件

岡部谷戸水利組合／小山西八朔用水組合／鴨居東本郷農業専用地区協議会／北八朔農業専用地区協議会／新治町水利組合／十日市場農業専用地区協議会／新林水利組合／長津田後谷戸耕作組合／長津田台農業専用地区協議会／御嶽堂水利組合／向原地区畠地かんがい組合／柳町水利組合／横浜市緑区鴨居原土地改良区

農地縁辺部への植栽 4件

北八朔恵みの里連絡会／長津田台農業専用地区協議会／新治恵みの里発展会／横浜市緑区鴨居原土地改良区

農景観保全整備 1件

長津田台農業専用地区協議会

・周辺環境に配慮した活動への支援

緑肥作物等による環境対策 0.57ha

鴨居町／長津田町(3か所)／長津田三丁目

●取組11 多様な主体による農地の利用促進

・遊休農地の復元支援

0.24ha 北八朔町

●取組12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

・様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園 0.06ha

北八朔町

市民農園 0.01ha

北八朔町

4 各区の取組

●取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

・市民が農を楽しみ支援する取組の推進

横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施
53回

田奈恵みの里での体験(19回 体験水田、よもぎ団子教室、親子料理教室など)／新治恵みの里での体験(26回 大豆作り教室、豆腐作り、ネギ掘りと炭焼き賞味体験など)／北八朔恵みの里での体験(8回 体験水田、北八朔日曜朝市感謝祭 ※田奈恵みの里での実績は、青葉区にも記載しています

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

直売所・加工所 2件

小山村／北八朔町

青空市・マルシェ等 3件

北八朔農産物直売所利用組合／十日市場のいちば出店者会／新治恵みの里発展会

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 796本

竹山中公園通り／長津田みなみ台ほか

並木の再生 1路線

環状4号線※整備中・サクラ(ヨウコウ)

●取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

維持管理の助成 2件

長津田七丁目(1件)／西八朔町(1件)

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

緑区の公園をつなぐガーデンネットワーク事業

身近な公共施設での緑の育成 1か所

緑区庁舎

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(北八朔公園など82か所)／花苗の配布(竹山南公園など82か所)／堆肥の配布(竹山南公園など82か所)

公園愛護会花壇づくり講習会の実施(1か所 北八朔公園)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

335本

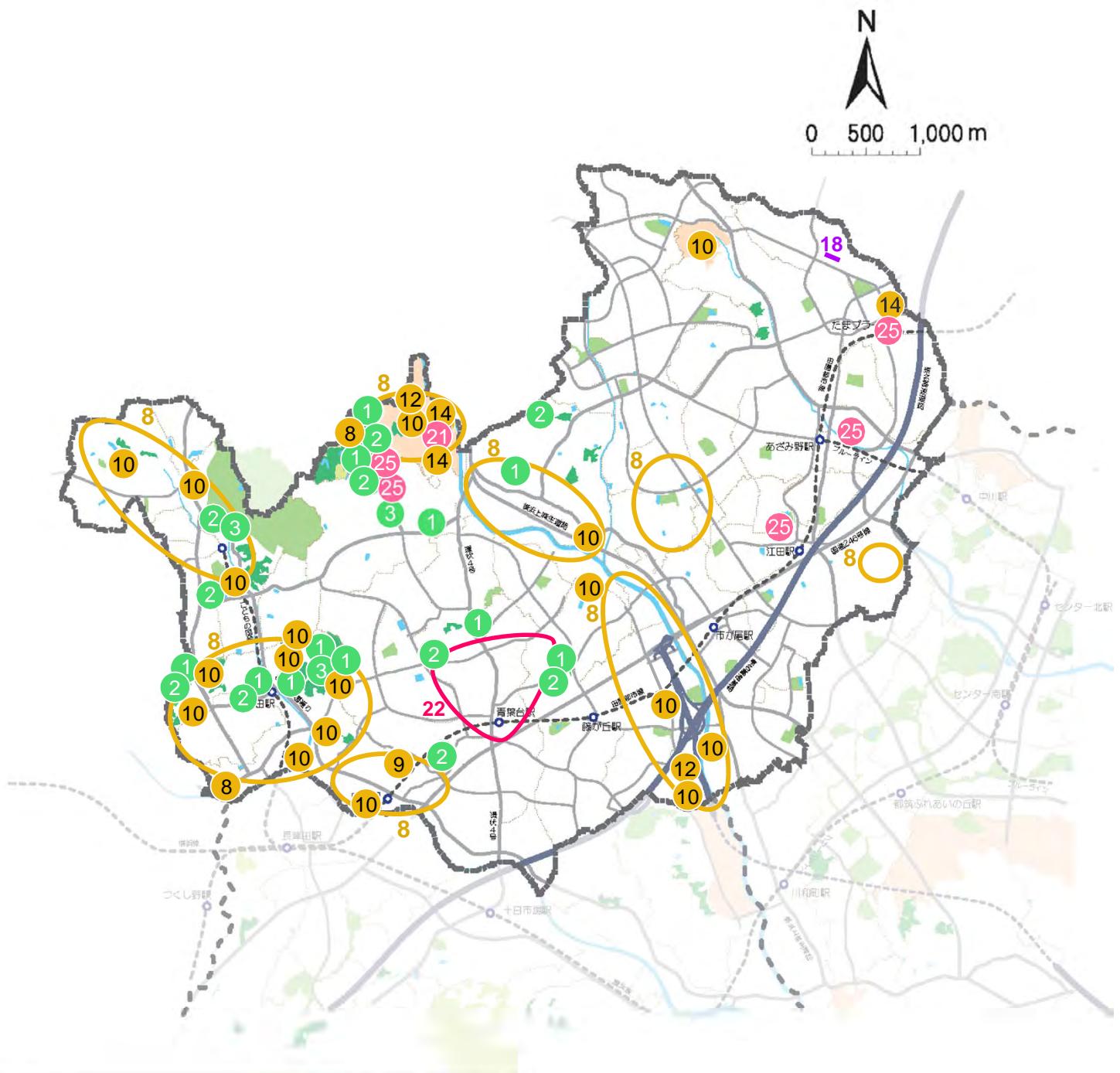
●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の育成 4か所

鴨居保育園／小山保育園／みもざ保育園／もりの風保育園

青葉区における実績



凡例

- 柱1 次世代につなぐ森を育む
- 柱2 農を感じる場をつくる
- 柱3 実感できる緑や花をつくる

※○の中の番号は、取組番号を示します

- 8 取組8 水田の保全
- 18 取組18 並木の再生
(街路樹による良好な景観づくり)
- 22 取組22 地域緑のまちづくり

- 特別緑地保全地区
- 市民の森・ふれあいの樹林
- 公園緑地
- 農業専用地区
- 主な道路
- 高速道路
- 鉄道・鉄道駅

4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
1

緑地保全制度による指定の拡大・
市による買取り
新規指定 源流の森保存地区
鴨志田町



取組
6

森に関わるきっかけづくり
区主催のイベントでのクラフト教室の開催
かたらいフェスタ かたらい宿公園



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
8

水田の保全
寺家町



取組
13

市民が農を楽しみ支援する取組の推進
田奈恵みの里での体験水田



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組
18

街路樹による良好な景観づくり
並木の再生 美しが丘中学校サクラ通り
サクラ(コシノヒガン)



取組
23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり
地域の花いっぱいにつながる取組
堆肥の提供 梅ヶ丘第三公園



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

源流の森保存地区 1.41ha

恩田町(3か所)／鉄町／鴨志田町／寺家町

・保全した樹林地の整備

5か所 恩田町特別緑地保全地区／恩田東部特別緑地保全地区／桜台特別緑地保全地区／寺家ふるさとの森／もえぎ野ふれあいの樹林

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 7か所

鉄町富士塚台特別緑地保全地区／(仮称)恩田市民の森／寺家ふるさとの森／もえぎ野ふれあいの樹林／樅が丘緑地／恩田緑地／恩田町九郎治谷緑地

公園 3か所

鴨志田公園／桜台公園／奈良山公園

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

5か所 恩田町(2か所)／鴨志田町／奈良町(2か所)

●取組4 森づくりを担う人材の育成

・森づくりを担う人材の育成

体験会の開催 1回

寺家ふるさとの森

●取組5 森づくり活動団体への支援

・森づくり活動団体への支援

樹林地 1団体

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

9回 各種イベント(1回)／クラフト教室等(8回)

柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる

●取組8 水田の保全

・水田保全面積

39.5ha 市ヶ尾町／荏田町／大場町／恩田町／上谷本町／鉄町／寺家町／下谷本町／田奈町／奈良町

・水源・水路の整備

2件 寺家水利組合／田奈地区水利・耕作組合連絡協議会(上和田堰水利組合)

●取組9 特定農業用施設保全契約の締結

・特定農業用施設保全契約の締結

1件 田奈町

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

集団農地維持活動団体 17件

恩田水利組合／鍛冶谷戸耕作組合／上谷本地区農用地利用改善組合／上和田堰水利組合／鉄大場市ヶ尾水利組合／じじ池水利組合／下市ヶ尾水利組合／寺家ふるさと村体験農業振興組合／杉山耕作組合／苗万坂水利組合／仲居水利組合／奈良堰下水利組合／奈良土橋水利組合／白山谷戸水利組合／保木農用地利用改善組合／番匠谷かんがい組合／宮前水利組合農地縁辺部への植栽 1件

田奈恵みの里推進委員会

・周辺環境に配慮した活動への支援

環境配慮支援 1件

田奈町

緑肥作物等による環境対策 0.14ha

恩田町／田奈町

●取組12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

・様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

市民農園 0.02ha

寺家町／元石川町

●取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

・市民が農を楽しみ支援する取組の推進

横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施 29回

寺家ふるさと村での体験(10回 みそづくり、そばづくり)／田奈恵みの里での体験(19回 体験水田、よもぎ団子教室、親子料理教室など)※田奈恵みの里での実績は、緑区にも記載しています

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

直売所・加工所 2件

美しが丘2丁目／寺家町

青空市・マルシェ等 1件

寺家ふるさと村四季の家管理運営委員会

4 各区の取組

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 1,434本

市道恩田327号線・市道青葉台137号線／奈良西部1号線ほか

並木の再生 1路線

美しが丘中学校サクラ通り※完了・サクラ(コシノヒガン)

●取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

維持管理の助成 1件

寺家町(1件)

●取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

継続支援 1地区

青葉台地区

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

あおばGREEN GARDEN(公園づくり・ガーデニング講座)

身近な公共施設での緑の育成 2か所

青葉区庁舎／青葉消防署

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(あざみ野三丁目公園など92か所)／花苗の配布(あざみ野三丁目公園など52か所)／堆肥の配布(あざみ野三丁目公園など87か所)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

605本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

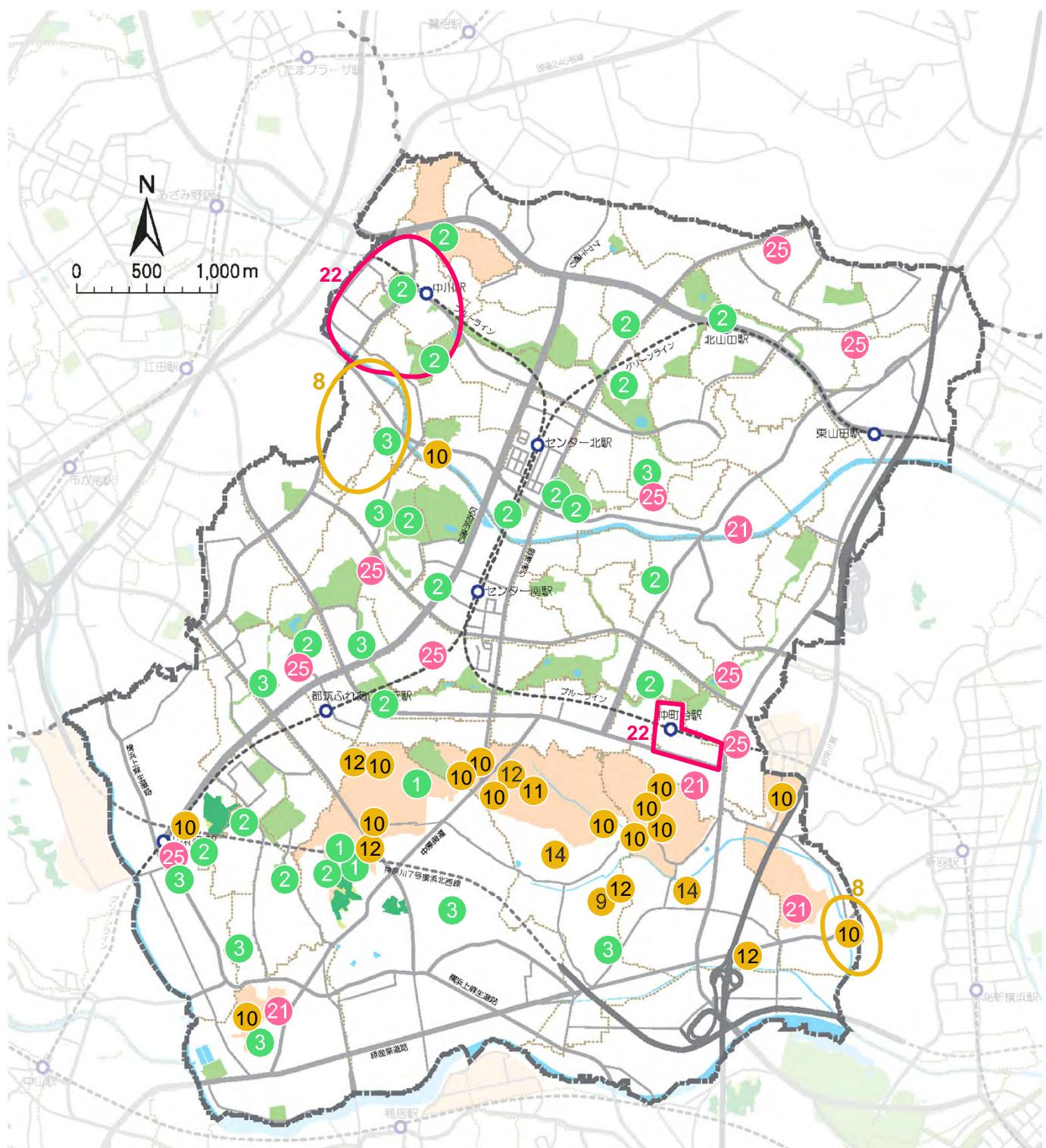
緑の創出 1か所

鴨志田緑小学校

緑の育成 4か所

荏田北幼保連携型認定こども園／美しが丘保育園／山内小学校／鴨志田中学校

都筑区における実績



凡例

- 柱1 次世代につなぐ森を育む
- 柱2 農を感じる場をつくる
- 柱3 実感できる緑や花をつくる

※○の中の番号は、取組番号を示します

- 8 取組8 水田の保全
- 18 取組18 並木の再生
(街路樹による良好な景観づくり)
- 22 取組22 地域緑のまちづくり

- 特別緑地保全地区
- 市民の森・ふれあいの樹林
- 公園緑地
- 農業専用地区
- 主な道路
- 高速道路
- 鉄道・鉄道駅

4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
1 緑地保全制度による指定の拡大・
市による買取り
新規指定 源流の森保存地区 池辺町



取組
6 森に関わるきっかけづくり
区主催のイベントでのクラフト教室の
開催 都筑区庁舎



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
10 農景観を良好に維持する活動の支援
農地縁辺部への植栽 農の散歩道
折本農業専用地区観音山地区協議会



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組
23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり
緑や花を身近に感じる各区の取組
都筑区キッズガーデニング教室



取組
23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり
身近な公共施設での緑の創出
都筑区庁舎



取組
25 保育園・幼稚園・小中学校での
緑の創出・育成
芝生の整備 キッズフォレ東山田



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

源流の森保存地区 0.57ha

池辺町

・市による買取り

特別緑地保全地区 0.40ha

池辺町滝ヶ谷戸特別緑地保全地区(2か所)

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 6か所

池辺町八所谷戸特別緑地保全地区／大棚町特別緑地保全地区／池辺市民の森／川和市民の森／川和緑地／茅ヶ崎緑地

公園 13か所

吾妻山公園／牛久保公園／大塚・歳勝土遺跡公園／鴨池公園／烏山公園／くさぶえのみち／葛ヶ谷公園／せらぎ公園／月出松公園／都筑中央公園／徳生公園／山崎公園／山田富士公園

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

11か所 池辺町／牛久保東二丁目／荏田東二丁目／荏田東四丁目／荏田東三丁目／大丸(2か所)／加賀原二丁目／川和町／佐江戸町／東方町

●取組5 森づくり活動団体への支援

・森づくり活動団体への支援

樹林地 2団体

公園 5団体

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

19回 各種イベント(4回)／クラフト教室等(15回)

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

●取組8 水田の保全

・水田保全面積

3.39ha 荏田東町／荏田南町／大熊町／中川四丁目

●取組9 特定農業用施設保全契約の締結

・特定農業用施設保全契約の締結

1件 東方町

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

集団農地維持活動団体 9件

荏田中川水利組合／大熊下水利組合／折本農業専用地区観音山協議会／折本農業専用地区協議会／佐江戸宮原農地利用改善組合／新羽大熊農業専用地区協議会／横浜市都筑区都田第一土地改良区／横浜市都筑区東方西部土地改良区／横浜市都筑区東方北部土地改良区

農地縁辺部への植栽 5件

折本農業専用地区観音山協議会／折本農業専用地区協議会／新羽大熊農業専用地区協議会／横浜市都筑区都田第一土地改良区／横浜市都筑区東方北部土地改良区

農景観保全整備 6件

折本農業専用地区観音山協議会／折本農業専用地区協議会／川和中村農地整備組合／横浜市都筑区都田第一土地改良区／横浜市都筑区東方西部土地改良区／横浜市都筑区東方北部土地改良区

・周辺環境に配慮した活動への支援

緑肥作物等による環境対策 0.93ha

池辺町(4か所)／大熊町／折本町(4か所)

●取組11 多様な主体による農地の利用促進

・遊休農地の復元支援

0.15ha 東方町

●取組12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

・様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園 0.29ha

東方町(2件)

市民農園 0.07ha

大熊町

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

直売所・加工所 2件

折本町／東方町

4 各区の取組

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 1,255本

新横浜元石川線／新羽荏田線ほか

●取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

新規指定 3件

大熊町(3件)

維持管理の助成 4件

大棚町(1件)／佐江戸町(2件)／仲町台四丁目(1件)

●取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

継続支援 2地区

仲町台駅前地区／中川西地区

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

花いっぱい活動(区内市立保育園)／こども向けガーデニング講座

身近な公共施設での緑の創出 1か所

都筑区庁舎

身近な公共施設での緑の育成 3か所

都筑区庁舎／センター北広場／センター南すきっぷ広場

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(茅ヶ崎城址公園など52か所)／花苗の配布(吾妻山公園など9か所)／堆肥の配布(大塚・歳勝土遺跡公園など57か所)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

537本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

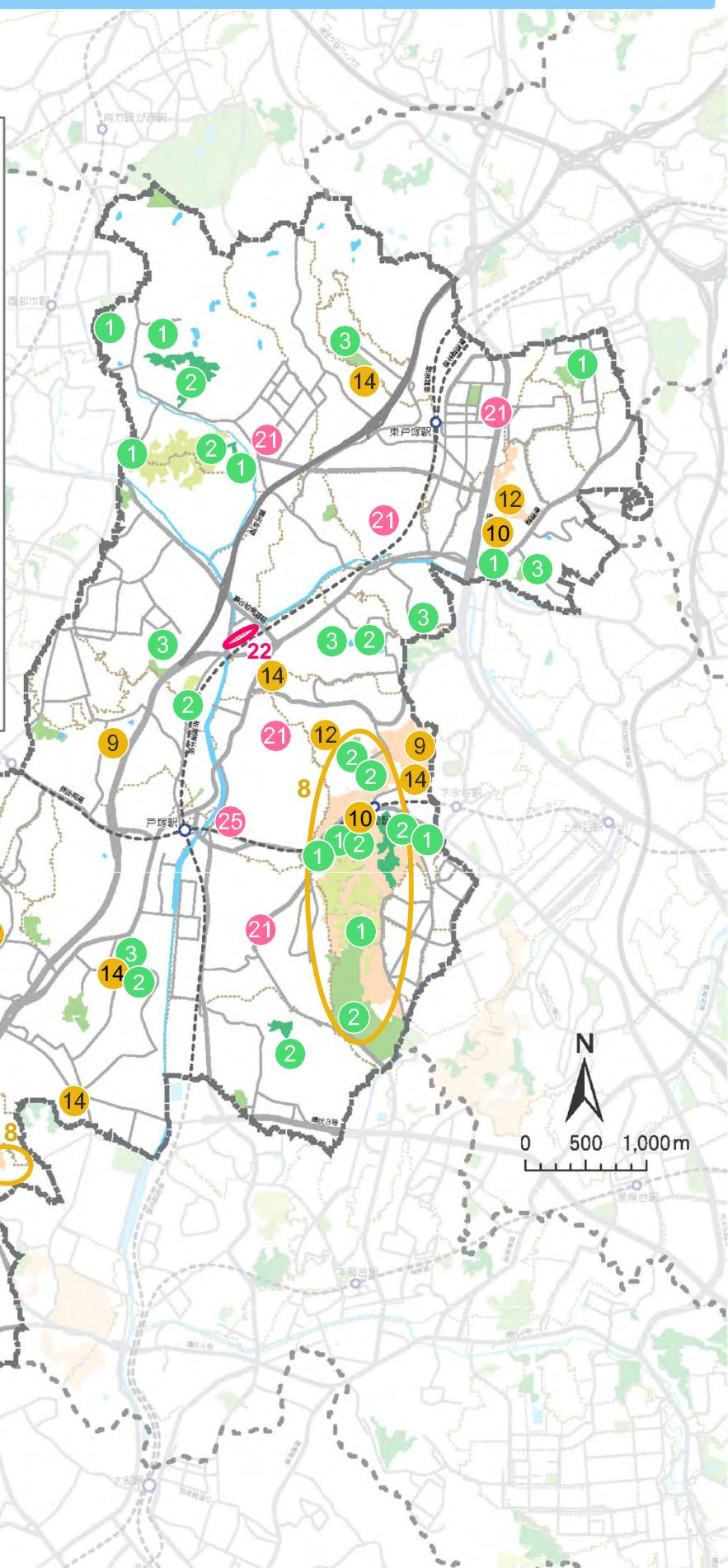
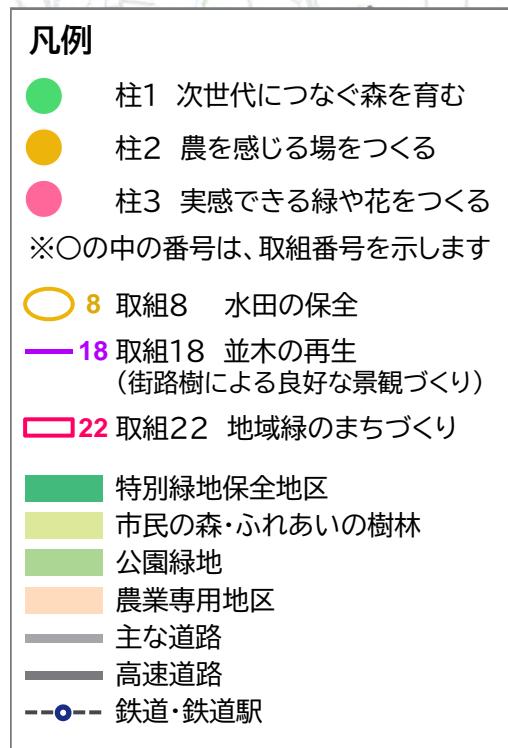
緑の創出 5か所

キッズフォレ東山田／川和小学校／つづきの丘小学校
／中川小学校／山田小学校

緑の育成 4か所

大熊保育園／シープ保育所／茅ヶ崎南保育園／みどり保育園

戸塚区における実績

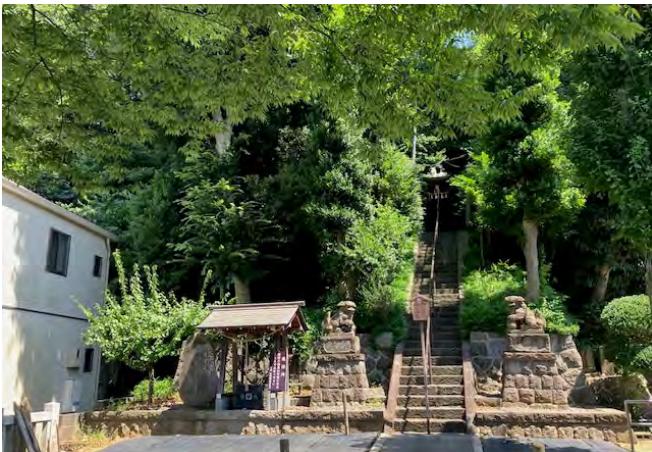


4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
1

緑地保全制度による指定の拡大・
市による買取り
新規指定 緑地保存地区
平戸町



取組
4

森づくりを担う人材の育成
森づくり体験会 名瀬・上矢部市民の森



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
8

水田の保全
東俣野町



取組
13

市民が農を楽しみ支援する取組の推進
舞岡ふるさと村でのたけのこ掘り



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組
22

地域緑のまちづくり
柏尾町地区



取組
23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり
地域の花いっぱいにつながる取組
花苗の配布 舞岡第四公園愛護会



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

市民の森等 0.10ha

舞岡ふるさとの森

緑地保存地区 0.51ha

名瀬町／平戸町／平戸三丁目

源流の森保存地区 0.77ha

名瀬町／東俣野町／舞岡町／俣野町

・保存した樹林地の整備

8か所 名瀬北特別緑地保全地区／東俣野町特別緑地保全地区／深谷市民の森／まさかりが淵市民の森／ウイトリッヒの森／名瀬・上矢部特別緑地保全地区／舞岡ふるさとの森(2か所)

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 13か所

下倉田町特別緑地保全地区／名瀬北特別緑地保全地区／東俣野町特別緑地保全地区／舞岡特別緑地保全地区／俣野特別緑地保全地区／ウイトリッヒの森／名瀬・上矢部市民の森／深谷市民の森／舞岡ふるさとの森／まさかりが淵市民の森／上矢部ふれあいの樹林／富塚八幡緑地／舞岡町緑地

公園 4か所

柏尾町みらい緑地／舞岡公園／舞岡下谷公園／俣野別邸庭園

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

10か所 柏尾町(2か所)／上柏尾町／上品濃／上矢部町／汲沢町／戸塚町(2か所)／平戸町／深谷町

●取組4 森づくりを担う人材の育成

・森づくりを担う人材の育成

体験会の開催 4回

名瀬・上矢部市民の森

●取組5 森づくり活動団体への支援

・森づくり活動団体への支援

樹林地 2団体

公園 1団体

柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる

●取組8 水田の保全

・水田保全面積

9.23ha 小雀町／東俣野町／深谷町／舞岡町／吉田町

●取組9 特定農業用施設保全契約の締結

・特定農業用施設保全契約の締結

2件 舞岡町／矢部町

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

集団農地維持活動団体 5件

東俣野水利組合／東俣野中部かん水組合／東俣野南部かん水組合／横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会／横浜市舞岡農業専用地区協議会

農地縁辺部への植栽 5件

東俣野中部かん水組合／東俣野南部かん水組合／平戸農業専用地区協議会／横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会／横浜市舞岡農業専用地区協議会

・周辺環境に配慮した活動への支援

環境配慮支援 2件

影取町／深谷町

緑肥作物等による環境対策 0.25ha

影取町(2か所)

●取組12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

・様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園 0.70ha

汲沢町／小雀町／平戸町／舞岡町

●取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

・市民が農を楽しみ支援する取組の推進

横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施
21回

舞岡ふるさと村でのさつまいも教室、トマトもぎ、たけのこ掘りなど

コーディネーター派遣 1回

汲沢中学校

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

直売所・加工所 5件

小雀町／東俣野町(3件)／舞岡町

青空市・マルシェ等 4件

戸塚区地産地消直売コーナー出店者会／横浜農協戸塚支店野菜直売組合／東戸塚朝市出店者会／舞岡ふるさと村推進協議会

4 各区の取組

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 413本

ドリームハイツ侯野／環状3号線(下倉田)ほか

●取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

新規指定 1件

品濃町

維持管理の助成 8件

上倉田町(2件)／名瀬町(1件)／原宿二丁目(1件)／

前田町(3件)／吉田町(1件)

●取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

継続支援 2地区

柏尾町地区／深谷町東山地区

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

とつか花できれいなまちづくり事業

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(汲沢御所水公園など118か所)／花苗の

配布(汲沢御所水公園など118か所)／堆肥の配布(汲

沢御所水公園など5か所)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

565本

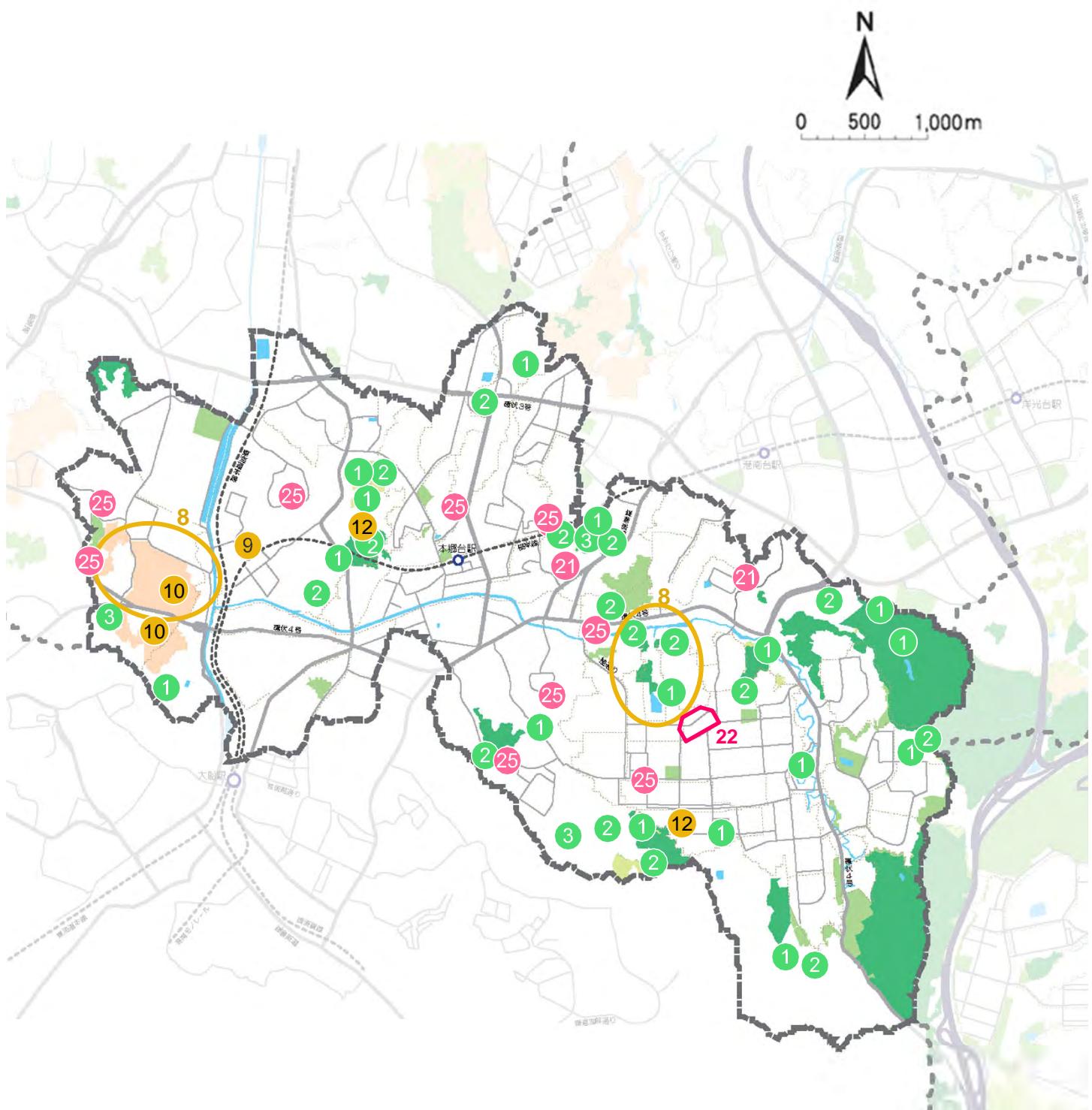
●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の育成 1か所

1か所 東戸塚小学校

栄区における実績



凡例

- 柱1 次世代につなぐ森を育む
- 柱2 農を感じる場をつくる
- 柱3 実感できる緑や花をつくる

※○の中の番号は、取組番号を示します

- 8 取組8 水田の保全
- 18 取組18 並木の再生
(街路樹による良好な景観づくり)
- 22 取組22 地域緑のまちづくり

- 特別緑地保全地区
- 市民の森・ふれあいの樹林
- 公園緑地
- 農業専用地区
- 主な道路
- 高速道路
- 鉄道・鉄道駅

4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
1

緑地保全制度による指定の拡大・
市による買取り
新規指定 長尾台町特別緑地保全地区



取組
6

森に関わるきっかけづくり
栄図書館との連携による
二十四節気パネル展示 栄図書館



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
8

水田の保全
田谷町



取組
10

周辺環境に配慮した活動への支援
環境配慮支援
田谷東堆肥化機械利用組合



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組
23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり
身近な公共施設での緑の創出
栄区庁舎



取組
25

保育園・幼稚園・小中学校での緑の
創出・育成
芝生講習会 本郷特別支援学校



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

特別緑地保全地区 2.30ha

長尾台町特別緑地保全地区

緑地保存地区 1.10ha

飯島町／上郷町

・市による買取り

特別緑地保全地区 0.20ha

円海山近郊緑地特別保全地区

・保全した樹林地の整備

12か所 上郷・中野特別緑地保全地区／公田近郊
緑地特別保全地区／公田・荒井沢特別緑
地保全地区／野七里特別緑地保全地区／
飯島市民の森／鍛冶ヶ谷市民の森／上郷
市民の森／瀬上市民の森／小菅ヶ谷四丁
目緑地／庄戸二丁目緑地／荒井沢市民の
森／飯島町特別緑地保全地区

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 12か所

飯島町特別緑地保全地区／上郷・中野特別緑地保全地区／公田特別緑地保全地区／公田・荒井沢特別緑地保全地区／野七里特別緑地保全地区／荒井沢市民の森／飯島市民の森／鍛冶ヶ谷市民の森／上郷市民の森／瀬上市民の森／小菅ヶ谷四丁目緑地／庄戸二丁目緑地

公園 4か所

飯島南公園／鍛冶ヶ谷西公園／上郷九号緑地／本郷ふじやま公園

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

6か所 鍛冶ヶ谷二丁目／公田町(2か所)／田谷町
(3か所)

●取組5 森づくり活動団体への支援

・森づくり活動団体への支援

樹林地 5団体

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

4回 各種イベント(4回)／クラフト教室等(1回)

柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる

●取組8 水田の保全

・水田保全面積

2.95ha 上郷町／田谷町

●取組9 特定農業用施設保全契約の締結

・特定農業用施設保全契約の締結

1件 飯島町

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

集団農地維持活動団体 1件

横浜市栄区長尾台土地改良区

農地縁辺部への植栽 1件

田谷耕地管理組合

・周辺環境に配慮した活動への支援

環境配慮支援 1件

田谷町

●取組12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

・様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園 0.07ha

飯島町

市民農園 0.06ha

公田町

4 各区の取組

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 447本

庄戸東線／庄戸西線ほか

●取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

新規指定 3件

鍛冶ヶ谷二丁目(3件)

維持管理の助成 6件

上郷町(6件)

●取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

継続支援 1地区

フローラ桂台自治会周辺地区

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

オープンガーデンPR

身近な公共施設での緑の創出 1か所

栄区庁舎

身近な公共施設での緑の育成 1か所

栄区庁舎

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布((仮称)公田町中央公園など54か所)／花

苗の配布(荒井沢公園など54か所)／堆肥の配布(荒
井沢公園など52か所)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

209本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の

創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の創出 2か所

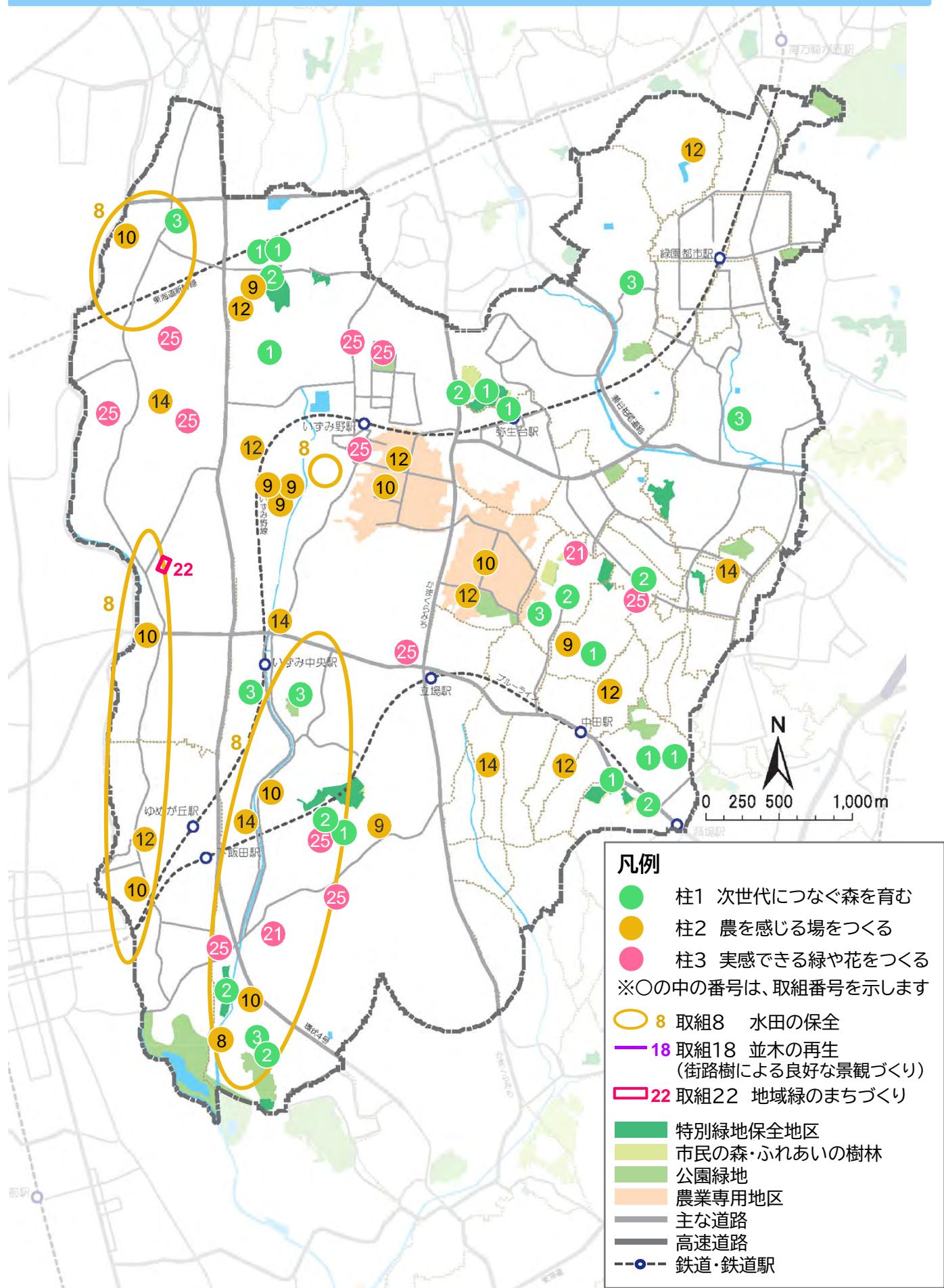
千秀小学校／本郷台小学校

緑の育成 7か所

飯島保育園／桂台保育園／公田保育園／公田小学校

／千秀小学校／本郷小学校／本郷特別支援学校

泉区における実績



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
1

緑地保全制度による指定の拡大・
市による買取り
市による買取り
新橋町特別緑地保全地区



取組
6

森に関わるきっかけづくり
区主催のイベントでのクラフト教室の開催
下和泉地区センター



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
8

水田の保全
下飯田町



取組
12

様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
収穫体験農園の開設支援 和泉町



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組
24

人生記念樹の配布
泉区庁舎



取組
25

保育園・幼稚園・小中学校での
緑の創出・育成
芝生の整備 いずみ野小学校



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

特別緑地保全地区 0.80ha

中田東一丁目特別緑地保全地区

・市による買取り

特別緑地保全地区 1.20ha

和泉町内林特別緑地保全地区(2か所)／和泉町大坪

特別緑地保全地区／新橋町特別緑地保全地区

・保存した樹林地の整備

5か所 古橋市民の森／新橋市民の森／中田宮の台市民の森／泉の森ふれあい樹林／鯉ヶ久保ふれあいの樹林

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 6か所

古橋市民の森／新橋市民の森／中田宮の台市民の森／泉の森ふれあい樹林／鯉ヶ久保ふれあいの樹林／和泉町早稻田緑地

公園 2か所

新橋天神の森公園／天王森泉公園

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

10か所 和泉中央南四丁目／和泉中央南五丁目／和泉町(2か所)／岡津町(2か所)／上飯田町(2か所)／新橋町／中田北三丁目

●取組4 森づくりを担う人材の育成

・森づくりを担う人材の育成

体験会の開催 1回

中田ふれあいの樹林

●取組5 森づくり活動団体への支援

・森づくり活動団体への支援

樹林地 5団体

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

5回 クラフト教室等(5回)

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

●取組8 水田の保全

・水田保全面積

18.2ha 和泉町／上飯田町／下飯田町

・水源・水路の整備

1件 下和泉農地利用組合

●取組9 特定農業用施設保全契約の締結

・特定農業用施設保全契約の締結

6件 和泉町(4件)／和泉が丘二丁目／中田東四丁目

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

集団農地維持活動団体 6件

泉区下飯田町水利組合／蔵閑水利組合／下和泉農地利用組合／中下水利組合／中田緑の大地を守る会／柳明水利組合

農地縁辺部への植栽 2件

中田緑の大地を守る会／横浜市泉区並木谷農業専用地区協議会

・周辺環境に配慮した活動への支援

環境配慮支援 1件

中田西一丁目

緑肥作物等による環境対策 1.06ha

上飯田町(3か所)／和泉町(6か所)

●取組12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

・様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園 0.74ha

池の谷／和泉町(3件)／下飯田町／中田町／中田南三丁目

市民農園 0.08ha

中田東四丁目

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

直売所・加工所 4件

上飯田町／中田西二丁目／ゆめが丘／領家三丁目

青空市・マルシェ等 1件

いづみ野即売会

4 各区の取組

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 539本

中田さちが丘線(緑園中央・緑園3号線)／西田歩行者専用道路ほか

●取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

維持管理の助成 4件

和泉町(2件)／中田北三丁目(2件)

●取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

新規支援 1地区

上飯田SC周辺地区

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

区民利用施設等での緑化／啓発物品の作成配布

身近な公共施設での緑の育成 4か所

泉区庁舎／旧いちょう小学校／上飯田地区センター／

泉スポーツセンター

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(和泉池田公園など41か所)／花苗の配布

(和泉池田公園など41か所)／堆肥の配布(和泉池田公園など41か所)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

321本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の創出 1か所

いずみ野小学校

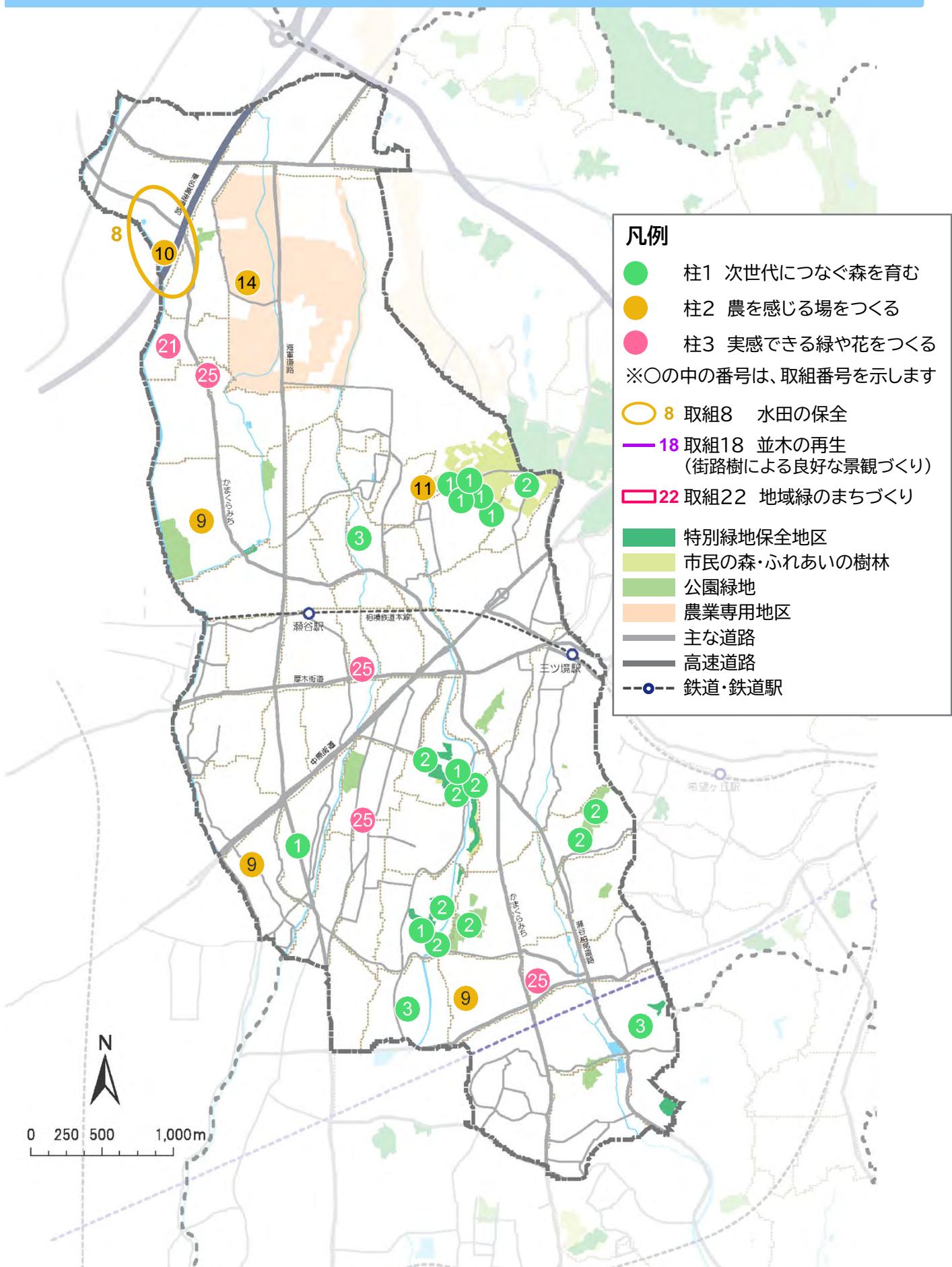
緑の育成 10か所

和泉保育園／北上飯田保育園／飯田北いちょう小／

いずみ野小学校／下和泉小学校／中和田南小学校／

西が岡小学校／泉が丘中学校／上飯田中学校／中和田中学校

瀬谷区における実績



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
1

緑地保全制度による指定の拡大・
市による買取り
保全した樹林地の整備 摳木柵の設置
瀬谷市民の森



取組
6

森に関わるきっかけづくり

瀬谷図書館との連携による森の
ネイチャーゲームの開催 本郷三丁目公園



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
8

水田の保全
目黒町



取組
10

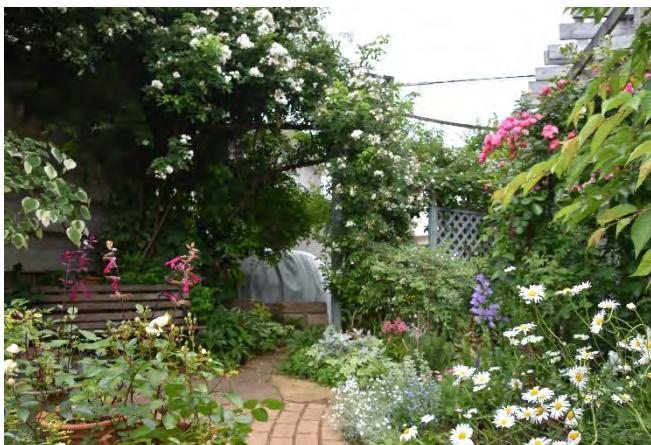
農景観を良好に維持する活動の支援
集団農地維持活動団体への支援
八幡耕地整理組合



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組
23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり
瀬谷の魅力オープンガーデン



取組
23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり
三ツ境駅ペデストリアンデッキでの
花壇づくり



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

市民の森等 0.10ha

瀬谷市民の森(2か所)

寄付緑地等 289m²

瀬谷市民の森隣接地

・市による買取り

市民の森等 0.20ha

瀬谷市民の森

公園樹林部等 463m²

宮沢・蟹沢特別緑地保全地区管理用地

・保全した樹林地の整備

3か所 下瀬谷二丁目特別緑地保全地区／瀬谷市民の森／東山ふれあい樹林

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 6か所

宮沢特別緑地保全地区／宮沢・蟹沢特別緑地保全地区／宮沢三丁目特別緑地保全地区／瀬谷市民の森／東山ふれあい樹林／宮沢ふれあい樹林

公園 3か所

瀬谷貉窪公園／長屋門公園(2か所)

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

3か所 相沢三丁目／阿久和南一丁目／宮沢四丁目

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

14回 各種イベント(7回)／クラフト教室等(7回)

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

●取組8 水田の保全

・水田保全面積

1.58ha 目黒町

●取組9 特定農業用施設保全契約の締結

・特定農業用施設保全契約の締結

3件 阿久和西四丁目／下瀬谷三丁目／本郷一丁目

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

集団農地維持活動団体 1件

八幡耕地整理組合

農地縁辺部への植栽 1件

八幡耕地整理組合

・周辺環境に配慮した活動への支援

緑肥作物等による環境対策 0.20ha

下瀬谷一丁目／南瀬谷一丁目(2か所)／南瀬谷二丁目

●取組11 多様な主体による農地の利用促進

・遊休農地の復元支援

0.05ha 瀬谷町

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

青空市・マルシェ等 1件

上瀬谷直売グループ

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 366本

環状4号線(瀬谷中学校～下瀬谷)／県道丸子中山

茅ヶ崎線(中原街道)ほか

●取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

維持管理の助成 1件

竹村町(1件)

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

瀬谷の魅力オープンガーデン事業／三ツ境駅ペデストリアンデッキ整備事業

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(相沢四丁目公園など38か所)／花苗の配

布(相沢四丁目公園など34か所)／堆肥の配布(阿久和大原公園など14か所)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

293本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の育成 4か所

瀬谷第二保育園／中屋敷保育園／原小学校／南瀬谷小学校

4 各区の取組

横浜みどりアップ 葉っぱー



2025年9月発行（第1版）

横浜市みどり環境局戦略企画課

横浜市中区本町6-50-10

電話 045-671-2644 FAX 045-550-4093



横浜みどりアップ計画

2024 年度
横浜みどりアップ計画
実績報告書【巻末資料】

横浜みどりアップ計画

横浜みどりアップ計画の評価・提案

横浜みどりアップ計画市民推進会議 2024 年度報告書



横浜みどりアップ計画市民推進会議

2025 年 9 月

目 次

1 はじめに.....	1
2 横浜みどりアップ計画市民推進会議について	2
3 市民推進会議 2024～2025 年度の活動実績.....	3
(1) 活動の概要	
(2) 活動の詳細内容	
ア 市民推進会議(全体会議)	
イ 施策別専門部会	
ウ 広報・見える化部会	
エ 調査部会(現地調査)	
4 みどりアップ計画の評価・提案.....	10
◆計画の体系	
(1) 柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	11
施策1 まとまりのある樹林地の保全・活用	
(2) 柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる	15
施策1 農に親しむ取組の推進	
施策2 「横浜農場」の展開による地産地消の推進	
(3) 柱3 市民が実感できる緑や花をつくる	21
施策1 市民が実感できる緑や花の創出・育成	
施策2 ガーデンシティ横浜の更なる推進	
(4) 効果的な広報の展開	26
市民の理解を広げる広報の展開	
(5) その他事項に対する評価・提案	28
5 市民推進会議委員名簿.....	29
6 市民推進会議委員からのコメント	32
7 広報・見える化部会からの情報提供	38

1 はじめに

この報告書は、「横浜みどりアップ計画市民推進会議」の 2024 年度から 2025 年度にかけての活動実績、および4期目となる「横浜みどりアップ計画[2024-2028]」の事業・取組に対する市民推進会議の評価・提案をまとめたものです。

横浜みどりアップ計画では、「横浜みどり税」を財源の一部に活用し、樹林地や水田の保全、身近な緑の創出など、様々な緑の保全と創造に取り組んでいます。

市民推進会議は現地調査や施策別部会での議論等の活動を通して、このみどりアップ計画に対して市民目線での評価・提案を行っています。

2024 年度はみどりアップ計画が第4期に切り替わって最初の年となり、これにともない、市民推進会議も新たなメンバーでの活動をスタートしました。

2024 年 10 月に行われた現地調査では、みどりアップ計画の表紙裏にも掲載されている寺家ふるさと村や、地域緑化の現場に実際に赴き、横浜の特徴あるみどりや市民生活との関りについて理解を深めました。

各会議では非常に熱心な議論が交わされ、新メンバー各々の緑に対する熱い思いを感じ、市民の皆様方の期待に応えるべく責任に身が引き締まる思いです。

また市民推進会議では、市民委員を中心としたメンバーで「市民目線での情報発信のあり方」についても検討しています。どうすれば市民に“横浜のみどり”の実態や税の使い方をご理解いただけるか、何度も議論を重ね、より市民に寄り添った方法を模索しています。

みどりアップ計画は、超過課税である「横浜みどり税」を財源の一部として活用することで推進しています。みどりを取り巻く環境の変化は、近年の温暖化やゲリラ豪雨など激しく変化しております。それらを受け止め、みどりの状態や、利用の仕方、維持管理者の労働時間等にも配慮が必要な時代になってまいりました。市民のみどりに対するニーズをしっかりととらえ、より多くの市民がみどりを実感でき、みどりの機能を感じていただけるように取組を進めることが大切です。

2027 年に開催予定の GREEN×EXPO 2027 も見据え、より多くの市民にと共に多様性に富んだみどりを育み、その成果を享受することで、緑地が増えるだけでなく、横浜のまち全体の美しさや魅力が増し、国際都市としての横浜市がさらに発展していくことを期待しています。

横浜みどりアップ計画市民推進会議
座長 池邊 このみ

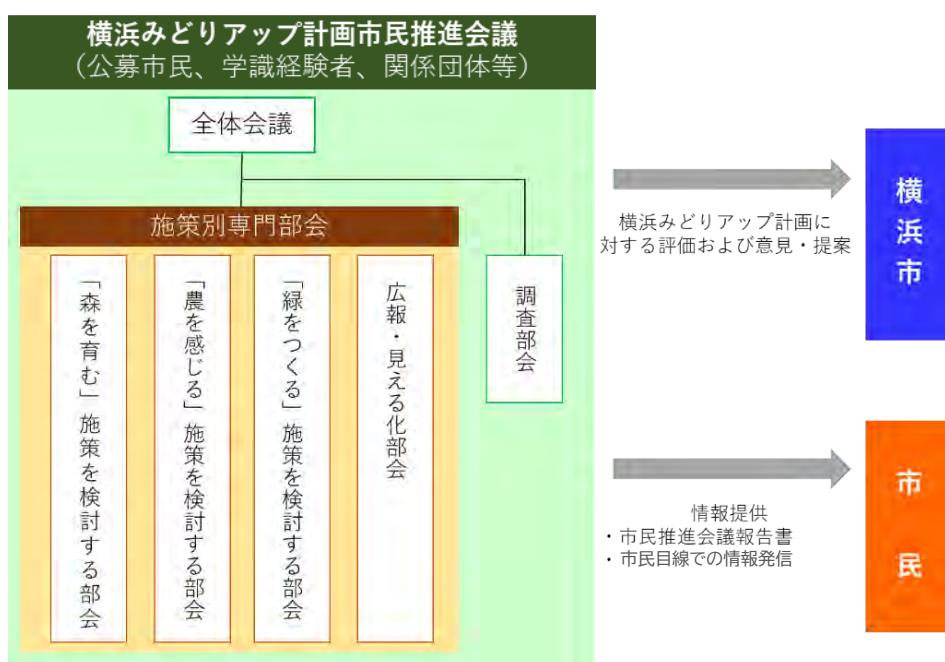
2 横浜みどりアップ計画市民推進会議について

「横浜みどりアップ計画市民推進会議」は、市民参加により、横浜みどりアップ計画の評価や意見・提案、市民への情報提供などを行うことを目的として、2009 年に設置されました。2012 年からは、条例に基づく附属機関として位置付けられています。

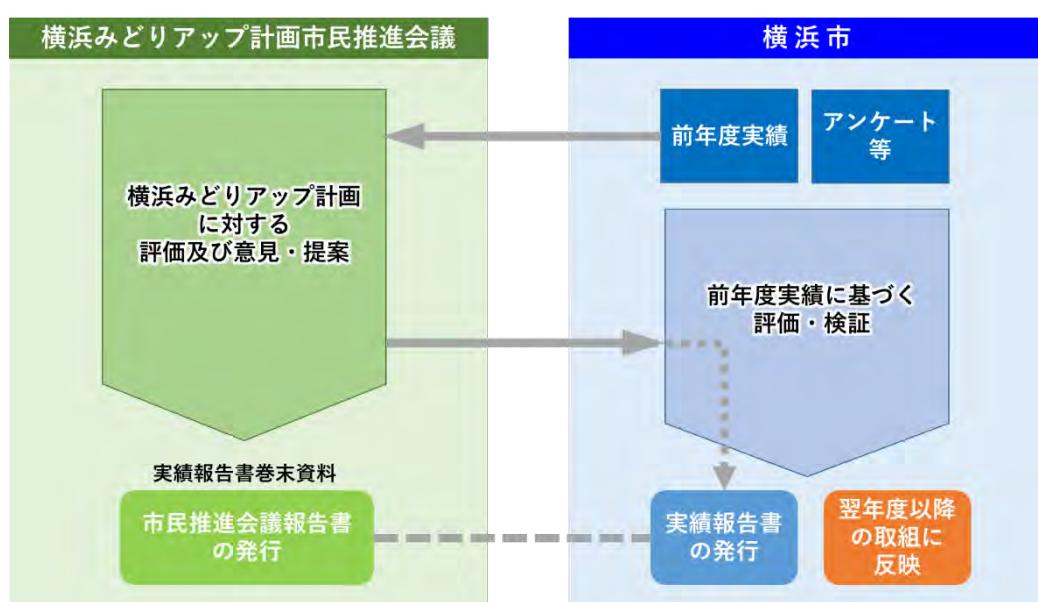
市民推進会議では、前年度の実績を踏まえて全体会議や施策別専門部会で評価及び意見・提案を行うとともに、みどりアップ計画の取組を行っている現場を視察し、現状の検証や関係する団体、市民の皆様と意見交換を行っています。

こうした評価や提案を報告書としてまとめ、翌年度以降の市の取組にも反映しています。

なお、2024 年度からは新たな委員も加わり、公募市民、学識経験者、関係団体、町内会・自治会の代表など、計 17 名で構成され、活動を行っています。(29 ページに委員名簿を掲載)



◆ 実績検証の体系図



3 市民推進会議 2024～2025 年度の活動実績

(1)

活動の概要

ア 横浜みどりアップ計画に対する評価及び意見・提案

2024 年度から始まった「横浜みどりアップ計画[2024-2028]」の内容や進捗を確認しながら意見交換をし、本報告書に評価・提案をとりまとめました。

また、みどりアップ計画の取組について現地視察を行い、現状の検証や関係団体の皆さんと意見交換を行いました。

イ 市民への情報提供

「みどりアップ計画」や「みどり税」について幅広く市民の皆さんに知っていただくため、情報提供のあり方について検討し、ソーシャルメディアを活用した市民目線の情報発信を行いました。



活動の様子(全体会議)



活動の様子(現地調査)

◆ 2024 年度報告書発行までの活動実績

	2024 年度報告書発行に向けた活動実績	市民への情報提供
R6 10月	第 42 回横浜みどりアップ計画市民推進会議	
	第 24 回調査部会	
R7 1月		第 57 回広報・見える化部会
3月	第 43 回横浜みどりアップ計画市民推進会議	
4月		第 58 回広報・見える化部会
5月～6月	施策別専門部会 第 18 回「森を育む」部会 第 18 回「農を感じる」部会 第 18 回「緑をつくる」部会 第 59 回広報・見える化部会	
8月	第 44 回横浜みどりアップ計画市民推進会議	HP・SNS による発信
10月	報告書発行	

(2)

活動の詳細内容

ア 市民推進会議(全体会議)

市民推進会議の全体会議において、部会の構成や調査の実施など年間の活動内容を確認し、みどりアップ計画の内容、進捗状況について説明を受けて、質疑応答、意見交換を行いました。

第42回市民推進会議(2024年10月25日)

- ・座長、副座長の選任について
- ・横浜みどりアップ計画について
- ・横浜みどりアップ計画市民推進会議について

第43回市民推進会議(2025年3月25日)

- ・横浜みどりアップ計画の進捗について
- ・横浜みどりアップ計画[2024-2028]の実績報告書について
- ・市民推進会議 2024 年度報告書骨子案について

第44回市民推進会議(2025年8月4日)

- ・横浜みどりアップ計画 2024 年度の事業実績について
- ・市民推進会議 2024 年度報告書(案)について



全体会議の様子

イ 施策別専門部会

計画の柱ごとに施策別専門部会を設置し、事業分野ごとに詳細に説明を受け、意見交換を行いました。

※2014 年度からは「広報部会」、「見える化部会」を合わせ、「広報・見える化部会」を設置しているため、「効果的な広報の展開」事業に対する評価・提案については、「広報・見える化部会」にて実施しています。

第18回「森を育む」施策を検討する部会(2025年5月27日)

- ・部会長の選任について
- ・「森を育む」施策の評価・提案について



各部会の様子

第18回「農を感じる」施策を検討する部会(2025年6月12日)

- ・部会長の選任について
- ・「農を感じる」施策の評価・提案について

第18回「緑をつくる」施策を検討する部会(2025年5月28日)

- ・部会長の選任について
- ・「緑をつくる」施策の評価・提案について

ウ 広報・見える化部会

2014 年度からは「広報部会」、「見える化部会」を合わせ、「広報・見える化部会」を設置しているため、施策別専門部会としてみどりアップ計画の広報について評価・提案を行うとともに、みどりアップ計画やみどり税についての情報提供のあり方の検討や情報発信を行っています。

2024 年度からは、これまでの紙媒体での広報誌に代わる新たな情報発信のあり方を検討し、ソーシャルメディア「note」に「Yokohama みどりアップ Action」を公開しています。

委員自らみどりアップ計画の取組現場を取材し、市民目線の現場リポートをお届けしています。

第 57 回広報・見える化部会(2025 年1月 22 日)

- ・部会長の選任について
- ・市民目線での情報提供のあり方について

第 58 回広報・見える化部会(2025 年4月 22 日)

- ・市民目線での情報提供のあり方について

第 59 回広報・見える化部会(2025 年5月 26 日)

- ・広報事業の評価・提案について
- ・市民目線での情報提供のあり方について



取材の様子



広報・見える化部会の様子



Yokohama みどりアップ Action

「Yokohama みどりアップ Action」は 2019 年度から 2023 年度までの間に、広報誌として 1 ~9 号が発刊されました。

2024 年度からは、より多くの方々に横浜のみどりの魅力をお届けするため、ソーシャルメディア「note」に発信の場を移し、広報・見える化部会の 7人が市民目線で“横浜のみどり”的魅力を伝えています。

(38 ページにこれまでの実績を掲載)



https://note.com/yokohama_m_act



工 調査部会(現地調査)

みどりアップ計画の取組を行っている現場を視察し、市職員や地域で活動されている方々と意見交換をしました。

第24回調査部会

日 時 2024年10月25日(金) 午後1時00分～午後5時00分

参 加 者 市民推進会議委員13名

調査場所 ・中川緑と水と歴史をつなぐ会(都筑区)

・寺家ふるさと村(青葉区)

・寺家ふるさとの森(青葉区)

寺家ふるさとの森



柱1 森の多様な機能に着目
した森づくりの推進 等

中川緑と水と歴史をつなぐ会 (中川西地区)

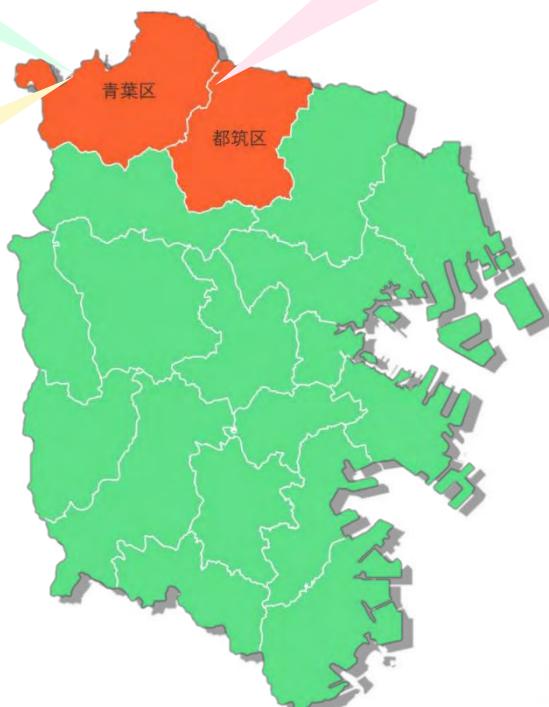


柱3 地域緑のまちづくり

寺家ふるさと村



柱2 市民が農を楽しみ支援
する取組の推進 等



(ア) 中川西地区(中川緑と水と歴史をつなぐ会)

都筑区で、地域が主体となって緑化を進めている現場を見学し、中川緑と水と歴史をつなぐ会の方々から、緑化計画や活動の概要、これまでの取組などについて説明を受けました。“地域に愛される回廊「緑と水と歴史をつなぐ散歩道づくり」”を目標に、大学とも協力して地域の魅力アップに取り組んでいました。

みどりアップ計画の取組 「地域緑のまちづくり」

・「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の思いを実現するため、計画作り、花や木の植栽、維持管理など、緑のまちづくりの取組を横浜市が支援

推進団体名：中川緑と水と歴史をつなぐ会

計画名：早渕川・老馬谷ガーデンを中心とした緑と水と歴史をつなぐ散歩道づくり

助成期間：2022年度～2024年度



早渕川沿いの散歩道



隣接する住宅と協力した植栽づくり



活動団体からの説明の様子



オリジナルのプレート

委員からの声

○住民の方々の努力やつながりがあってこそ、維持できるのだと実感しました。

○このような取組を続けていくためにも、今後は各組織の連携、市としてのサポート体制の検討が必要だと感じました。

○助成前から活動しており、長い歴史を経て“みどり”が保全されてきたことを実感しました。

○戸建て住宅地や河川敷等多種多様な植栽地で、場所に応じた対処をされていることにびっくりしました。

○宿根草を使う、植栽に立体感を出す等の工夫をするとさらに景観が良くなると感じました。

(イ) 寺家ふるさと村

青葉区西部に位置する「寺家ふるさと村」を視察しました。

昔ながらの横浜の田園風景を次世代に残すための取組や、地域活性のための工夫等について説明を受けました。

みどりアップ計画の取組 「市民が農を楽しみ支援する取組の推進」

- ・総合案内所「四季の家」を農を楽しむ拠点とし、農体験教室などを実施

みどりアップ計画の取組 「水田の保全」

- ・良好な水田景観保全のための水路等の整備支援

みどりアップ計画の取組 「農景観を良好に維持する活動の支援」

- ・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援



雑木林の丘に挟まれた「谷戸田」



担当者からの説明の様子

委員からの声

○里山や農業について、首都圏ではあまり知らない方々も多いので、こういう場所を広報することが重要だと考えます。

○稲作あってこそその風景なので、そのことも市民が理解しやすいような広報が必要ではないでしょうか。

○谷戸田のある里山の風景がすばらしい。

○周辺が都会化していく中で、次世代まで今の自然のままの姿を残していくためには、地権者、地域住民、行政の協力が不可欠だと感じました。

○田んぼ、畑、果樹園と、ある意味横浜の農業の魅力をワンスポットで体感できる場所です。その強みを広報にも生かしてほしいと感じました。

○お食事処や川沿い近くにサイクルラックがあると、ロードバイクが来やすくなり、知名度向上や地場産食材を食べる機会につながるのではないかでしょうか。

○良好な農景観や原風景の維持には、農業経営の維持発展が不可欠であると感じました。

○四季の家内の、生き物や自然に関する分かりやすい展示が良かったです。

(ウ) 寺家ふるさとの森

寺家ふるさと村内にある市民の森、「寺家ふるさとの森」を視察し、森の特徴や維持管理の方法について説明を受けました。

みどりアップ計画の取組 「森の多様な機能に着目した森づくりの推進」

- ・森が持つ多様な機能が発揮できるように、利用者や樹林地周辺の安全にも配慮しながら、森の維持管理を推進

みどりアップ計画の取組 「森に関わるきっかけづくり」

- ・「ウェルカムセンター」として、総合案内所「四季の家」から森の情報を発信



原風景の残る森の内部



森の縁辺部

委員からの声

- 寺家ふるさとの森は自然そのままの森がそこにあると感じました。
- 平日の夕方なのに、散歩の方々が多くいらっしゃるのはびっくりしました。各地域にもこのようないい場所ができたら素敵なまちづくりになるのではないかでしょうか。
- さまざまな企画を通して森に入り自然と触れ合う機会を多く設けるなど、森を育むというコンセプトに沿った取組であると感じました。
- この森について分かるような情報発信等、現地に何か工夫があるとうれしい。
- 愛護会が無いとのことだが、日常の保全管理を市で行うのは現実的ではない気がします。日常の保全管理体制を整備することが課題であると感じました。
- ふるさと村制度と市民の森制度をうまく組み合わせて谷戸やため池を保全していることは素晴らしい。

4 横浜みどりアップ計画の評価・提案

市民推進会議では、みどりアップ計画の柱1「市民とともに次世代につなぐ森を育む」、柱2「市民が身近に農を感じる場をつくる」、柱3「市民が実感できる緑や花をつくる」の施策と、みどりアップ計画を市民の皆さんに周知するための「効果的な広報の展開」について、現地調査で活動団体などからいただいた意見も踏まえて、評価・提案を行いました。

◆ 計画の体系

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

施策1

まとまりのある
樹林地の保全・活用

- 事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り
- 事業② 良好的な森の育成
- 事業③ 森に関わる多様な機会の創出

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

施策1

農に親しむ
取組の推進

- 事業① 良好的な農景観の保全
- 事業② 農とふれあう場づくり

施策2

「横浜農場」の展開による
地産地消の推進

- 事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進
- 事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

施策1

市民が実感できる
緑や花の創出・育成

- 事業① まちなかでの緑の創出・育成

施策2

ガーデンシティ横浜の
更なる推進

- 事業② 緑や花があふれる地域づくり
- 事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成
- 事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成

効果的な広報の展開

- 事業① 市民の理解を広げる広報の展開

(1)

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

森(樹林地)の多様な役割や機能が発揮されるよう、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承。

施策1

まとまりのある樹林地の保全・活用

事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

(1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

事業② 良好な森の育成

(1) 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

(2) 指定した樹林地における維持管理の支援

事業③ 森に関わる多様な機会の創出

(1) 森づくりを担う人材の育成

(2) 森づくり活動団体への支援

(3) 森に関わるきっかけづくり

(4) 森の多様な楽しみづくり

2024年度実績報告書 関連ページ



●取組の評価・検証

p.3-2～p.3-17

●各区の実績

p.4-2～p.4-72



事業①

特別緑地保全地区に新規指定された樹林地
羽沢町具行特別緑地保全地区(神奈川区)



事業② 森の多様な機能に着目した森
づくりの推進 古橋市民の森(泉区)



事業③ 森づくりを担う人材の育成
新治市民の森(緑区)



事業③ 森に関わるきっ
かけづくり 森のネイチャ
ーゲーム(瀬谷区)

◆ 施策1についての評価・提案

事業①について

緑地保全制度による指定の拡大・市による買取りについて

- ・樹林地を見ても、そこが緑地保全制度で指定された場所なのか、また、横浜市の管理している場所なのか等は分かりません。樹林地の状況を市民に分かりやすく伝える工夫などについて、引き続き検討が必要です。
- ・緑地保全制度に関する案内をいただきますが、制度が複雑でわかりにくいと感じています。パンフレット等を用いての説明に加えて、市による説明会や、農業協同組合など土地所有者に身近なところからの説明を通じて、積極的な制度案内に取り組んでください。

保全した樹林地の整備について

- ・買取り直後や手続中の樹林地では、立ち入ってはいけない場所に入り込んでしまう場合もあるようです。まずは、柵や看板の設置などにより、市が買い取ったまたは買取り手続き中の樹林地であることをわかりやすく周知することを検討してください。

事業②について

森づくりの推進、指定した樹林地の維持管理の支援について

- ・個々の実情にあわせて策定する保全管理計画は、他都市ではありません見ない取組として評価しています。引き続き推進してください。
- ・地球温暖化の影響により、樹林地の状況が変化しつつあります。樹林地の抱える課題の変化に対応したみどり税の活用を検討してください。
- ・活動している人々は、各々が動植物に関する調査やデータの蓄積があります。一方で、そのデータを活用にまで至っていない状況もあります。個々の生物データを集積するシステム等があれば、データの活用の可能性が広がるのではないかでしょうか。
- ・「良好な森」とは、市民が安全・快適に入れて楽しめる場だと考えています。動植物を育む手つかずの自然を残しつつ、散策路の周りは明るくする等の先を見据えた維持管理を引き続き進めてください。

事業③について

森に関わるきっかけづくり(イベント・情報発信)について

- ・市民の森のような開放されている樹林地では、山野草の盗掘やごみのポイ捨てといったマナー違反も見受けられます。また、最近ではトレイルラン等のスポーツ利用されている方もおり、すれ違いの際危険な場面も見受けられます。利用者がお互い快適に過ごすため、樹林地を利用する上でのルールやマナーが市民にしっかりと伝わるよう、分かりやすい周知の方法を検討してください。
- ・これまで樹林地に関わってこなかった人にも知つてもらえるよう区役所等の人が集まる場所に市民の森ガイドマップを配架することで、興味を持つもらうための情報発信につながると考えています。
- ・市民の森ガイドマップや保全管理計画に加え、個々の樹林地についての紹介や集めた情報も分かりやすく発信していくけば、若者が樹林地へ興味を持つきっかけになるのではないかでしょうか。

「森を育む」施策を検討する部会 部会長コメント

横浜みどりアップ計画の第4期[2024-2028]がスタートしました。第1期から第3期の「森を育む」施策を検討する部会において実感するのは、各種の緑地保全制度による指定の拡大、横浜市による買取りの保証によって森の保全活動が定着してきたことです。同時に、これらの森を育むための人材育成や森づくり活動団体への支援も着実に実行されています。緑の保全は、市民と行政による長い時間がかかる取組ですが、多くの市民の共感を得ています。また、市民による森の楽しむ機会も増加しています。

横浜みどりアップ計画の第4期[2024-2028]においても、横浜のみどりアップ計画が絶えることなく実行されることを評価すると同時に、次世代にこの活動をどのように継承してゆくかが今後の大きな課題です。とりわけ、市民の皆さんのが森に関わる多様な機会の創出が大事だと思います。市民とともに横浜みどりアップの活動を広めましょう。

望月 正光





(2)

柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での役割や機能に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開。

施策1

農に親しむ取組の推進

事業① 良好的な農景観の保全

- (1) 水田の保全
- (2) 特定農業用施設保全契約の締結
- (3) 農景観を良好に維持する活動の支援
- (4) 多様な主体による農地の利用促進

2024年度実績報告書 関連ページ



- 取組の評価・検証
p.3-18～p.3-32
- 各区の実績
p.4-2～p.4-72

事業② 農とふれあう場づくり

- (1) 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
- (2) 市民が農を楽しみ支援する取組の推進



事業① 水田の保全(青葉区)



事業① 農景観保全整備
(土砂流出防止対策)(都筑区)



事業② 柴シーサイド恵みの里
じゃがいも堀り(金沢区)



事業② 市民農業大学講座
ブドウの管理作業(保土ヶ谷区)

◆ 施策1についての評価・提案

事業①について

水田の保全について

- ・みどりアップ計画の支援がなければ水田はここまで残っていなかったと思います。水田の持つ生産機能に加え、生物多様性の保全などのさまざまな機能を発揮していくためにも、保全すべき水田を今後も残せるよう支援の継続をお願いします。

農景観を良好に維持する活動の支援について

- ・農地やその周辺環境を維持する地域の団体が高齢化し、活動の継続が困難になることが予想されるため、人材育成への支援があると良いと思います。
- ・良好な農景観は、農家の耕作や管理により成り立っていることを市民に理解していただけるよう、広報や見せ方を工夫してください。

事業②について

様々な市民ニーズに合わせた農園の開設について

- ・農園付公園は、トイレなど、必要な施設がしっかり整備されており、自由に栽培や収穫ができる農体験の場として、利用のハードルが低いと思います。ある程度の整備費用がかかるなどの課題はあるかと思いますが、ぜひ開園に結び付けてください。

市民が農を楽しみ支援する取組の推進について

- ・農のコーディネーター事業では学校現場で横浜の都市農業を体感してもらう機会を提供していますが、そこをきっかけに、子どもたちの関心が樹林地や縁などへ広がることも考えられますので、他の取組とも連携しながら進めてください。
- ・栽培や収穫だけではなく、料理して食べることなども加えて体験に広がりをもたらすことにより、横浜産のさらなる周知につながるのではないかと思います。
- ・農体験の参加者が、体験を通じて実際に行動変容に繋がったか検証できるよう検討をお願いします。
- ・学校での食育のニーズは高まっている一方、先生たちからは「食育をやりたくてもどこにお願いしたらいいかわからない」という声も多く聞かれるため、相談の受入れや支援体制の整備について検討をお願いします。

施策2

「横浜農場」の展開による地産地消の推進

事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進

- (1) 地産地消にふれる機会の拡大

事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開

- (1) 地産地消を広げる人材の育成・支援
- (2) 市民や企業等との連携

2024年度実績報告書 関連ページ



- 取組の評価・検証
p.3-33～p.3-41
- 各区の実績
p.4-2～p.4-72



事業③ にいはる長屋門朝市
(緑区)



事業③ 11月地産地消月間における
キャンペーン



事業④ はまふうどコンシェルジュ講座における
農作業体験(泉区)



事業④ 横浜赤レンガと連携した「おいも万博」
における街なか収穫体験の実施(中区)

◆ 施策2についての評価・提案

事業③について

地産地消にふれる機会の拡大について

- ・地域でとれた農畜産物やその加工品などが集まるマルシェは大変良い取組のため、さまざまな地域でできるよう、さらなる支援の検討をお願いします。
- ・他区局とも連携し、さまざまな媒体で PR が実施されていますが、今後は効果検証も踏まえた広報についても検討してください。

事業④について

地産地消を広げる人材の育成・支援について

- ・はまふうどコンシェルジュは、さまざまな農家とつながることができます、それ以外の場所での認知度は低い状況です。はまふうどコンシェルジュと企業等との交流や、学校への情報提供など、交流や周知を広げていただくようお願いします。

市民や企業等との連携について

- ・企業等との連携は PR 効果が大変大きい取組です。横浜に根差す企業等を応援していくことが横浜農業の応援にもつながるような、企業等と農家とが win-win の関係になるような取組をさらに広げてください。

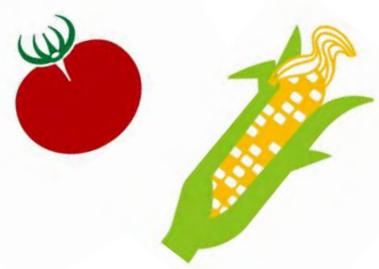
みどりアップ計画のなかで、農業が関わる取組は大きくわけると、(1)良好な農景観を生み出す農地の保全と、こうした農業に市民が親しみを感じるための(2)地産地消の推進になります。横浜市には限られたエリアにしか水田が残されていませんが、こうした水田の保全や遊休農地の復元支援はじめ、都市部から消えかけている農地をできるだけ活用できる状態にする取組が進められています。また、農業者のみならず、市民も農業に取り組むことができる収穫体験農園や市民農園、農園付公園の整備に加え、横浜の里山風景を色濃く残すふるさと村や恵みの里での体験教室の実施などが展開されています。

みどり税は充当されていないものの、市民が地産地消にふれる機会を増やすために、直売所支援のほか、人材育成や企業連携にも積極的に取り組んでいます。こうしたみどりアップ計画での各種施策は地道ながら、「横浜農場」を確実に支えています。横浜にある農業をめぐる環境や情勢は厳しいと言わざるを得ませんが、市民による積極的な関わりがないと現状維持も難しくなります。

部会では、こうした各種施策の効果を高く評価していますが、これらの施策をベースにしつつも、より一層、横浜農場の活性化を目指すための意見が多くかわされています。引き続き、部会のみなさま、さらには、担当職員のみなさまと横浜農場の未来を見据えて取り組んでいきたいと考えています。

池島 祥文





(3)

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

街の魅力を高め、賑わいづくりにつながる緑や花、市民が実感できる緑の創出。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者との取組を支援。

施策1

市民が実感できる緑や花の創出・育成

事業① まちなかでの緑の創出・育成

- (1) シンボル的な緑の創出・育成
- (2) 街路樹による良好な景観づくり
- (3) 公開性のある緑空間の創出支援
- (4) 建築物緑化保全契約の締結
- (5) 名木古木の保存

2024年度実績報告書 関連ページ



- 取組の評価・検証
p.3-42～p.3-51
- 各区の実績
p.4-2～p.4-72



事業① 公有地化によるシンボル的な緑の創出・育成
北寺尾六丁目サムエル公園(鶴見区)



事業① 街路樹による良好な景観づくり
石崎川プロムナード(西区)



事業① 公開性のある緑空間の創出支援
みなとみらい複合施設(西区)



事業① 名木古木の保存
新規指定樹木(栄区)

◆ 施策1についての評価・提案

事業①について

シンボル的な緑の創出・育成について

- ・公共施設の隣接地及び近接地など、ベンチや緑陰があれば、少しのスペースでも住民の憩いの場となりうる可能性があることを念頭に置き、引き続き、緑の創出・育成を進めてください。

街路樹による良好な景観づくりについて

- ・街路樹は市民の目に触れやすく、関心が高い場所です。街路樹の生育状況や整備条件などもあると想いますので、伐採せざるを得ない場合は、「なぜ伐採しなければならないのか」「その後どのように植え替えるのか」を、市民に伝え十分な理解を得ることも重要と考えます。

事業② 緑や花があふれる地域づくり

- (1) 地域緑のまちづくり
- (2) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり
- (3) 人生記念樹の配布

2024年度実績報告書 関連ページ



- 取組の評価・検証
p.3-52～p.3-63
- 各区の実績
p.4-2～p.4-72

事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成

- (1) 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成

- (1) 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり



事業② 地域緑のまちづくり
野庭団地地区(港南区)



事業② 地域に根差した緑や花の楽しみづくり
球根ミックス花壇づくり講習(山下公園、中区)



事業③ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成
太尾保育園ビオトープ整備(港北区)



芝生講習会(本郷特別支援学校、栄区)



事業② 人生記念樹の配布(神奈川区)



事業④ 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり(新港中央広場、中区)

◆ 施策2についての評価・提案

施策2について

- ・イベントや事業を行う際には、それがみどりアップ計画の事業であることが分かるように案内することや、花苗を配布する際などにもみどりアップ計画の事業周知をしっかり行うことなど、関わる人に対して一步先まで伝わる情報発信を心がけてください。

事業②について

地域緑のまちづくりについて

- ・「地域緑のまちづくり」の支援終了後に活動が廃れてしまうことが無いよう、現在の支援額の妥当性も踏まえて、より市民の緑化に対する希望に添えるように検討を進めてください。
- ・学校関係者や福祉関係者、若い世代などさらに多くの人に参加していただき、コミュニティの交流の活性化や地域の課題解決につなげることで、持続可能なまちづくりの一端となることを期待します。

地域に根差した緑や花の楽しみづくりについて

- ・近年、各区でオープンガーデンが活発に開催されるなど、地域と連携した緑化が着実に進んでいることを評価します。

事業③について

保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成について

- ・小学校、中学校や高校などへの情報提供を強化し、周知の浸透を図ることで、教育現場がこの事業をさらに利用しやすくなるよう努めてください。

◆ 柱3についての評価・提案

- ・取組ごとに情報を必要としている方々が違うことを認識し、アプローチの仕方を再検討してください。また、これまでに情報提供を行っていない民間施設や大学等へのアプローチについても、積極的にお願いします。
- ・取組の評価を行う際には、「直接的にまたは間接的に、この取組に誰がどれほど関わったか」など、人を対象にした新しい指標があつてもよいと考えます。
- ・緑を通じてコミュニティを広げていくために、まちを「つくる」という視点から「使う」という視点に転換することが重要だと考えます。

「緑をつくる」施策を検討する部会 部会長コメント

横浜市のみどりの政策は、全国的にも先進的であり、市民のみなさんの意識も非常に高いと思います。各目標に対しても、ほぼ達成できています。特に今回は、報告様式の重複部分を省くなどの読みやすさと効率化の工夫も素晴らしいと思います。取組を効果的に進めるためには、状況の変化に応じてニーズがなくなった取組の整理も重要なと思います。ただ、解決できていない問題点や課題がわかりづらい、必要な人に必要な情報が十分に届いていない、という点でまだまだ工夫の余地があると思います。

私たち委員も、活動の場や 2027 年に開催される GREEN×EXPO 2027において、快適な緑の環境づくりを広げていけるお手伝いができればと思います。

竹内 智子



(4) 効果的な広報の展開

取組の内容や実績について、より多くの市民・事業者の皆様に理解されるとともに、緑を楽しみ、緑に関わる活動に参加していただけるよう、広報媒体の特性を生かし、効果的な情報発信を推進。

事業① 市民の理解を広げる広報の展開



図書館でのポスター掲示

2024年度実績報告書 関連ページ



●取組の評価・検証
p.3-64～p.3-66



イベントでの PR
(里山ガーデンフェスタ)



イベントでの PR
(よこはま生物多様性フェスティバル)



区役所での PR

◆ 施策についての評価・提案

- ・広報や発信においては、情報の源流をどのようにつくり、それを様々な手法で市民に伝えるといった情報流通の戦略が非常に重要です。
- ・広報を通じて、みどりアップ計画によりどのような恩恵を得ているのかという実感を市民にもってもらうことが大切です。実績数値を伝わりやすくする表現の工夫や、市民の声をたくさん拾うなど共感を得られるような定性的な表現も加えていくといいと考えます。
- ・取組においては、教育現場などの他事業との関わりも大きいことから、こういったつながりを生かした情報発信について検討すべきと考えます。作成した「よこはまこどもみどりアップリーフレット」を学校の教材として活用してもらうなどして、教育現場で横浜の緑をテーマに考えてもらうような能動的な発信を行い、横浜の緑の取組への関心が広がること、理解と共感が深まるることを期待します。

今年度より新たな横浜みどりアップ計画市民推進委員による広報・見える化部会を開催しています。市民として、みどりアップ計画の取組目的、各事業内容や実施施策を知れば知るほど、市民として受けている恩恵の大きさに気づく機会になっています。そして、6名の市民委員が共通して実感していることが、みどりアップ計画に関する認知度が低く、もったいないと感じていることです。

今年度より特に、横浜の未来をつくる若者、子育て世代の認知度向上を目的にした広報のあり方、ターゲットにしつかり情報が届く情報流通の手法について検討し、市民委員からも市民の視点で提案をしています。学校、大学とも連携し、みどりアップの理解、共感の輪を広げ、市民参加型で未来の横浜のみどりを守る取組に進化していくことに期待しています。

大竹 千広



(5)

その他事項に対する評価・提案

委員からの意見の反映について

- ・市民推進会議からの評価・提案はこれまで行ってきましたが、それがどのように計画に反映されているのかが不明瞭に感じます。計画への反映方法とその見せ方を整理する必要があるのではないかでしょうか。

報告書の構成について

- ・みどりアップ計画実績報告書及び市民推進会議報告書の構成の見直しは非常によい取組です。今後も常に現状の見直しを行い、より良い方法を模索し続けてください。

実績の評価・検証について

- ・目標値を達成できなかった取組については、その原因を検証し、目標値と予算の妥当性等も含めて検討が必要です。市民推進会議においても、今後議論していくべきだと考えます。
- ・実績報告から、しっかりと網羅的に実績を積み上げていることが伝わってきました。対象場所の選定理由や取組の効果を伝えることで、市民へのPR効果も高まるのではないかと思います。

5 市民推進会議委員名簿

横浜みどりアップ計画市民推進会議 委員名簿(2024年10月)

(50音順・敬称略)

役 職	氏 名	区 分	備 考
	池島 祥文	学識経験者	横浜国立大学大学院 教授
座長	池邊 このみ	学識経験者	千葉大学 グランドフェロー
	石原 信也	関係団体	横浜商工会議所 産業振興部長
	岩本 誠	関係団体	三保市民の森愛護会 会長
副座長	内海 宏	学識経験者	(株)地域計画研究所 代表取締役
	大竹 千広	公募市民	
	金井 順	公募市民	
	河原 真友子	公募市民	
	菊池 賢児	関係団体	横浜市町内会連合会 幹事
	北原 まどか	公募市民	
	小金井 進	関係団体	横浜農業協同組合 営農部長
	酒井 智規	公募市民	
	竹内 智子	学識経験者	千葉大学大学院 准教授
	飛田 尚弥	公募市民	
	野路 幸子	関係団体	横浜市中央農業委員会 委員
	樋上 祐造	関係団体	よこはま緑の推進団体連絡協議会 会長
	望月 正光	学識経験者	関東学院常務理事、関東学院大学名誉教授

「森を育む」施策を検討する部会 名簿

役 職	氏 名	区 分	備 考
	石原 信也	関係団体	横浜商工会議所 産業振興部長
	岩本 誠	関係団体	三保市民の森愛護会 会長
	酒井 智規	公募市民	
	飛田 尚弥	公募市民	
部会長	望月 正光	学識経験者	関東学院常務理事、関東学院大学名誉教授

「農を感じる」施策を検討する部会 名簿

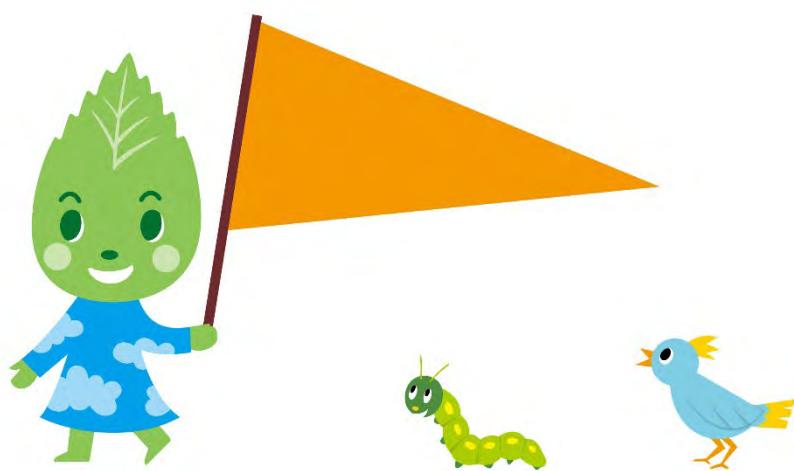
役 職	氏 名	区 分	備 考
部会長	池島 祥文	学識経験者	横浜国立大学大学院 教授
	大竹 千広	公募市民	
	河原 真友子	公募市民	
	小金井 進	関係団体	横浜農業協同組合 営農部長
	野路 幸子	関係団体	横浜市中央農業委員会 委員

「緑をつくる」施策を検討する部会 名簿

役 職	氏 名	区 分	備 考
	金井 順	公募市民	
	菊池 賢児	関係団体	横浜市町内会連合会 幹事
	北原 まどか	公募市民	
部会長	竹内 智子	学識経験者	千葉大学園芸学研究院 准教授
	樋上 祐造	関係団体	よこはま緑の推進団体連絡協議会 会長

広報・見える化部会 名簿

役 職	氏 名	区 分	備 考
部会長	大竹 千広	公募市民	
	金井 順	公募市民	
	河原 真友子	公募市民	
	北原 まどか	公募市民	
	酒井 智規	公募市民	
	飛田 尚弥	公募市民	
	望月 正光	学識経験者	関東学院常務理事、関東学院大学名誉教授



6 市民推進会議委員からのコメント

市民推進会議の委員を務めてきたなかで感じたことや、生活の中で、みどりについて日ごろ感じたことについて、委員からのコメントです。

内海副座長コメント

みどりアップ計画は、三期 15 年を終え、4 期目の最初の 2024 年度を振り返る時期を迎えています。担当部署や関係住民等のご尽力で大きな成果を上げた一方で、課題も見えてきています。

特に、緑地保全策では用地買収の比重が高くみどり税の6割以上が使われています。しかし、市民にはその効果が見えず、緑地保全を実感できる施策(自然観察会や森散策会等)の拡充が課題です。第二に、農景観や農体験等を実感する施策も数々の成果を上げていますが、その脇にある集団農地が資材置き場団地に転用される状況が進行し、農地自体を保全する施策との連携が課題です。第三に、緑花施策では公共緑化とともに民有地緑化(地域緑のまちづくり事業等)が補助制度の組み換え等で実績を上げてきましたが、より小さな地域のメニュー追加(コミュニティガーデン・チ花壇等)など選択肢を増やすことが課題です。

石原委員コメント（「森を育てる」施策を検討する部会 所属）

「横浜みどりアップ計画」を通じて、横浜の緑を守り育てる多様な取組が進められていることに、大きな意義を感じています。

都市における緑は、生物多様性の保全だけでなく、人々の心身の健康や地域のつながりを育む重要な存在であり、まちの魅力や価値を支える基盤であると考えます。

2027 年には国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)が開催され、横浜の“みどりのまちづくり”が国内外に発信される絶好の機会となることが期待されます。

その実現には、市民・行政・事業者が一体となって、常に“みどり”を意識し、関わる機会を増やすことが何よりも重要であり、そうした意識を一人でも多くの皆様に持っていただけるよう、今後も活動を続けて参りたいと思います。



岩本委員コメント（「森を育てる」施策を検討する部会 所属）

横浜みどりアップ計画 柱1に「市民とともに次世代につなぐ森を育む」という計画があります。行政の方々、地権者、愛護会、自治会等、多くの組織団体の協力で樹林地の保全・維持管理が進められています。森の利用の仕方も多種多様で、近隣、団地、自治会等の市民の方々は、毎日一人、又は数人で散策やジョギング等いろいろな形で森を利用してあります。遠方より定期的に市民の森へ来られる方もいます。

来園者の意見として、森の効用もいろいろあり、森に入ると心身ともに健康になる、また来たいという声を多く聞きます。そして、みどり税を継続して、次世代へ(孫子の代まで)この里山の原風景や貴重な動植物を大事にしてもらいたいという市民の声が多く聞かれます。

今後も私共市民の森愛護会含めて、関係者みんなで安全・安心・快適な森になるよう維持管理に努めて行きたいと思います。

大竹委員コメント（「農を感じる」施策を検討する部会、広報・見える化部会 所属）

都市計画の中で農地と住宅地が融合したまちづくりをしている横浜だからこそ、田畠が目立たなく、横浜は農業がさかんであること自体認識がない市民が多いのが現状です。田畠は食の生産機能以外にも多面的な機能があります。みどりアップ計画を通じて、市民ニーズに応じた農を感じる制度設計がされていますが、横浜で農家さんが農業を続けられように、市民の農地の多面的機能理解につながるような取組にも期待しています。

例えば、遊休地をスクールヤード化し、幼少期から農を感じるような仕組みづくりや農家さん以外の農に興味関心のある人やはまふうどコンシェルジュなどの制度もうまく活用した農を感じる場作りに関わる人材の確保など、今ある制度もうまく組み合わせながら、地域実装を加速化する取組が増えしていくことに期待をしています。

金井委員コメント（「緑をつくる」施策を検討する部会、広報・見える化部会 所属）

市民委員を経験させて戴いたことで市内の緑地維持及び拡大事業の大切さを改めて痛感しております。

一方、横浜市が自ら指摘されている様に、市民の認知度アップが思う様に進まない現実があります。この問題の解決は難しい様で視点を変えれば比較的容易に解決する様にも感じています。それは、様々な企画やイベントに対して双方向の対話を徹底する事ではないでしょうか？

例えば市内の全小学校に配布されている小冊子に質問コーナーを設けて、生徒のみならず保護者の方からも何らかのフィードバックを受ける事です。更に総合的な学習の時間でみどりアップ事業の対象となっている森や公園或いは農地を見学してもらいその成果をまとめて市役所に送ってもらう、更に優秀作品の学校の代表に市役所に来てもらい市長と会食しながら、意見交換をする等。これには教育委員会への働き掛けも必要でしょう。やれる事は沢山残っている筈です。これを中学、高校大学あるいは、自治会と対象を広げる事で様々な新たな可能性が生まれるものと思料する次第です。

今年は、時間も限られていますが、認知度の低いみどりアップの活動を市民委員が取材すると言うプロセスもいささか寂しいものがあります。来季に向けて市役所の側からより積極的な Action Plan の策定を期待する所大であります。

河原委員コメント（「農を感じる」施策を検討する部会、広報・見える化部会 所属）

市民推進委員に任命され、横浜みどりアップ計画の内容を改めて深く知ることができ、とても素敵な計画であると感じています。

他都市よりもさきがけ、みなと横浜のイメージが強い中で、農・森・緑の「みどり」に特化し、市民のゆとりにつながる計画であり、日本の未来を豊かにする取組であると誇りに思います。しかし、まだまだこの取組が市民に浸透していないことが大きな課題です。未来の横浜のために、小中高等学校での教育とみどりを結びつける活動をもっと積極的にかつ広範囲に利用できる、幅の広さと弾力性に富んだ活用しやすい仕組みになるように期待したいと考えます。人口も多い横浜の一握りの子どもたちが体験している過去の行事をただ踏襲するのではなく、小さな経験でも、一人でも多くの子どもたちの心に「横浜のみどり」を刻めるような機会が増えることを願います。

菊池委員コメント（「緑をつくる」施策を検討する部会 所属）

政策の重点や市民の満足度は、モノづくりから人づくりへと変換すると思います。市民同士の話し合いが横浜市のパワーアップにつながるのです。

人口減少や地域の昼間の居住者縮小などの時代の変化を踏まえて、今後はより未来志向の検討の追加が必要になるのではないかでしょうか。

例えば、大人も子供もコミュニケーションを取りやすいウォーカブルなまちづくりに寄与する【小エリア】を対象としたスペースを確保し、緑化による木陰をつくる検討をすることも一案です。

他にも、地域緑化のような市民が創造する身近な事業は、地域市民が十分に検討して応募できるよう、市民に寄り添った仕組みが構築することを期待します。

北原委員コメント（「緑をつくる」施策を検討する部会、広報・見える化部会 所属）

GREEN×EXPO 2027 が横浜で開催されるにあたり、横浜が世界に発信すべきところはなんだろうとよく考えています。

最も誇りに思うところは、横浜の美しい公園や市民の憩いの場の花壇、緑道の整備などが市民参画で行われていることではないかと思います。また、横浜みどり税によって、直接的なアクションが難しい人や世代でも、誰もが横浜の緑を守り育むことに貢献できる。目的と使途が明確な直接税がいかに活用され、横浜の緑を未来につないでいけるかを評価・検証して、発信していく市民委員の活動は、これから横浜の自治や社会参画を育む上でも、とても大切なものだと感じています。

小金井委員コメント（「農を感じる」施策を検討する部会 所属）

横浜は神奈川県内で最も農業が盛んな地域ですが、担い手不足等により耕作面積は減少傾向にあります。横浜みどりアップ計画の取り組みは、農地や緑地を単なる都市の空間としてではなく、地域の環境資源や市民交流の場としている点がとても魅力的であり、都市農業と緑地の一体化に大きく貢献していると評価できます。

農業関係の委員として、持続可能な都市農業に向けた施策の充実についての要望に加え、多くの市民の皆さまの参加によって、さらに緑豊かで食と農を身近に感じられるコミュニティづくりに取り組むことがとても重要と考えています。

自然環境と農業は互いに支え合う関係にあり、適切な管理も必要になります。この計画を通じて、地域の自然や農業の持つ多面的な役割に目を向け、継続的に守り育てていく意識が高まっていくことを期待しています。

酒井委員コメント（「森を育む」施策を検討する部会、広報・見える化部会 所属）

自然保護活動への学生の関わり方に関心があり、本会議に参加させていただきました。参加前は、横浜の緑の保全に関する政策や取組に触れる機会が少なかったのですが、会議や視察を通じて横浜市が多岐にわたる施策を進めていることを知り、非常に学びの多い時間となりました。中でも、実際に市内で行われている緑化イベントや自然体験の場など、「知っていれば参加したかった」と思うような取組が多く、こうした活動がもっと広く市民に知られることの重要性を実感しました。

学生の目線からは、森や自然との関わり方が分からず、関心はあっても行動に移せない人が多いと感じています。特に若い世代にとっては、自然の中で過ごすことの魅力を体験し、楽しみながら関わるような入り口が求められています。近年ではマウンテンバイクやトレイルランなど、新しい自然の使い方も増えていますが、それに伴って従来の利用者とのトラブルも生じており、多様な立場の共存とルールづくりが今後の大きな課題だと感じます。

この計画が未来の世代にも開かれたものとなり、市民一人ひとりが自然とより深く関わる社会になるよう、引き続き関心を持ち続けていきたいと思います。

飛田委員コメント（「森を育む」施策を検討する部会、広報・見える化部会 所属）

委員1年目です。常日頃から森林関連の活動を横浜市内・神奈川県内で共に行っている仲間に、みどりアップ計画市民推進会議の委員になったと報告すると、悲しいことに「それは何？」のような答えがかえって来ることが珍しくありませんでした。「みどりアップの名前は聞いたことがあるが」も日常です。前任の皆様のご苦労を受けてのこれですから、皆様からのご理解をいただくのは大変なことなのだと知りました。横浜市を住みよい街にしている環境への施策が知られていないのは大変残念なことです。

私がどこまでお役に立てるかは現時点では不明ですが、できる範囲でみどりアップ計画へのご理解が広がるよう、お手伝いさせていただきます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

野路委員コメント（「農を感じる」施策を検討する部会 所属）

先日、横浜産「オリーブ油」の生産者の方のお話を聞く機会がありました。

この方は、「オリーブ油」を作る為、オリーブ生産の小豆島に何回も研修に行き、始めた当初は大変なこともあったそうですが、荒廃農地や、次世代がいない農地を借り、栽培を広げたことで、やっと製品にしたそうです。

販路も確保されているようなので、今後「浜なし」と同様に横浜ブランドになると確信しています。

今、県外からも横浜に農業法人が参入して来ますが、地元で育つ企業を大事にしていきたいと思いました。

権上委員コメント（「緑をつくる」施策を検討する部会 所属）

2017年横浜開催の全国都市緑化フェア以降、市民が実感できる街づくりが進んでいると実感しています。特に、地域に根差した緑や花の楽しみづくりは18区で着実に進められています。

山下公園・日本大通り・里山ガーデン・都心臨海部の公園をはじめとして、18区内のよこはま緑の推進団体700団体余が植栽管理している花壇は地元住民に癒しを与えてています。また、港北区・旭区・栄区などの推進団体は行政との協働でオープンガーデンの開催が定着。この機運は他区へ波及しつつあります。

私たち、よこはま緑の推進団体の緑花活動はみどりアップ計画そのものではないかと感じます。まずは、GREEN×EXPO 2027の機運醸成が今後の課題と位置付けます。



7 広報・見える化部会からの情報提供

ソーシャルメディア note への記事掲載



◆人生の節目のお祝いに、緑を！
おうちで育てる人生記念樹（2025年8月掲載）

https://note.com/yokohama_m_act/n/n7cf4ec238898





横浜みどりアップ 葉っぴー

2025年9月発行
横浜みどりアップ計画市民推進会議

横浜 みどりアップ計画

[2024-2028]

2024(令和6)年度の実績概要



緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、2009年から「横浜みどり税」を財源の一部として活用しながら「横浜みどりアップ計画」を進めています。このリーフレットは、2024(令和6)年度に実施した事業の実績を概要としてまとめています。





市民とともに次世代につなぐ森を育む

柱1

森が守られています

●目標(36ha)を上回る面積の森を新たに保全しました。また、必要に応じて市で買取りを行い、残された大切な緑地を永続的に守っています。



緑地保全制度による樹林地の指定面積の推移

樹林地保全の進展

これまでのみどりアップ計画
(2009~2023年度)
15年間1082.5 ha



計画開始前の
3倍以上の
スピード
で保全を推進
+
2024年度
49.5ha

みどりアップ計画開始前
(1969~2008年度)
40年間861.9 ha

横浜みどりアップ計画期間中(2009~2024)に
合計1132.1 haを指定

*端数処理により、面積の合計が一致しません。

円海山近郊緑地特別保全地区

(磯子区)

羽沢町具行特別緑地保全地区
(神奈川区)

	緑地保全制度 による新規指定	市による 買取り	保全した 樹林地の整備
2024年度実績	49.5ha	7.2ha	推進
5か年の目標	180ha(36ha) (20ha[想定])	100ha[想定] (20ha[想定])	推進

森の手入れがされ、育まれています

●市民の森愛護会などと連携して、地域の特性を活かしつつ森を保全・管理する計画に沿って、森づくりを行いました。また、維持管理にお困りの所有者に対して助成を行いました。



市民と連携して森づくりを進めました

上菅田町金草沢東特別緑地保全地区

(保土ヶ谷区)

維持管理の助成を行った樹林地(南区)

作業前

作業後



森づくり体験会(戸塚区)



森のネイチャーゲーム(瀬谷区)

森を知る・関わる・つながる機会が広がっています

●森づくりを担う人材の育成として、森づくり体験会や研修を行いました。市民が森に関わるきっかけづくりとして、市内大学などと連携したイベント開催等を行いました。



森づくり体験会(戸塚区)



森のネイチャーゲーム(瀬谷区)

	森づくりを担う 人材の育成	森づくり活動団体 への支援	市内大学や関係団体等との連携や 区主催による地域の森でのイベントの実施	学校と連携した きっかけづくり
2024年度実績	10回	36団体	115回	推進
5か年の目標	50回(10回)	175団体(35団体)	180回(36回)	推進

暮らしを豊かにするみどりと共に

緑は、わたしたちの暮らしに潤いを与えるだけでなく、多様な機能を持っています。緑を守り・つくり・育む、横浜みどりアップ計画の取組は、その機能を活用しながら地球温暖化など社会の様々な課題の解決にもつながっています。

市民の森とは…

横浜市では1971年に全国に先駆けて、緑地を保存しながら、その緑地を市民の散策や憩いの場として公開する「市民の森」制度を創設しました。

横浜みどりアップ計画開始から16か所増え、現在43か所が開園しています。市民の森では、愛護会や森づくり活動団体など多くのボランティアが、草刈り、間伐、生きもの調査や環境教育といった「良好な森をつくる活動」を行っています。



上川井市民の森(旭区)

緑の多様な機能

- ▶防災・減災
 - ▶暑さを和らげる
 - ▶多様な生き物のすみか
 - ▶地産地消
 - ▶美しい景観
 - ▶環境教育・農体験
 - ▶街の賑わい・魅力
 - ▶地域のコミュニティなど
- そして **★健康づくり・レクリエーション**

市民アンケート調査では、
今後「最もおこなってみたい取組」として
**森の散策・ウォーキングが
1位に**

▼▼▼▼▼

横浜の身近な緑を楽しもう!

「市民の森」へ行ってみよう!

市民の森 横浜

検索



市民が身边に農を感じる場をつくる



水田・農地が保全されています

●水田や農地を維持するために支援を行い、多様な機能をもつ良好な農景観を保全しました。

	水田保全面積	遊休農地の復元支援
2024年度実績	112.5ha	0.89ha
5か年の目標	115ha	3.0ha(0.6ha)

支援により荒れた農地を復元しました



農とふれあう機会が増えています

●市民が気軽に楽しめる収穫体験農園の開設支援や、横浜ふるさと村、恵みの里での農体験教室など、農とふれあう場づくりを行いました。マルシェや直売所への開設支援や「はまふうどコンシェルジュ」によるイベント開催等の地産地消の取組を通じて、農とふれあう機会を増やしました。



	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	横浜ふるさと村、恵みの里での農体験教室などの実施	直売所・青空市等の支援	市民や企業等との地産地消の連携
2024年度実績	3.38ha	119回	62件	15件
5か年の目標	19.5ha(3.9ha)	450回(90回)	285件(57件)	75件(15件)



市民が実感できる緑や花をつくる



まちなかでの緑が創出されています

●緑の少ない市街地でも身近に緑や花を実感できるよう、緑豊かな公園を整備しました。地域で愛されている桜並木の再生など街路樹による良好な景観づくりを進めました。

	シンボル的な緑の創出	街路樹による良好な景観づくり
2024年度実績	緑の創出 3か所	18区で推進
5か年の目標	緑の創出 5か所	18区で推進

2024年7月に開園しました



緑や花があふれる地域づくりの支援が行われています

●植栽や花壇の整備への助成、アドバイザー派遣などにより、地域で取り組む緑のまちづくりを支援しました。オープンガーデンをはじめ、緑や花を通した地域のコミュニケーションの活性化を図りました。また校庭や園庭の芝生化や植樹、生きもののすみかとなるビオトープなど、子どもを育む空間での緑の創出を行いました。



	地域緑のまちづくり	緑や花を身近に感じる各区の取組	人生記念樹の配布	子どもを育む空間での緑の創出
2024年度実績	7地区	18区で推進	6,915本	28か所
5か年の目標	35地区(7地区)	18区で推進	40,000本(8,000本)	100か所(20か所)

緑や花で賑わいの空間がつくられています

●山下公園や日本大通りなど都心臨海部等で緑や花による魅力ある空間づくりを進めました。

	都心臨海部等の緑化による魅力ある空間づくり
2024年度実績	推進
5か年の目標	推進



広報の活動

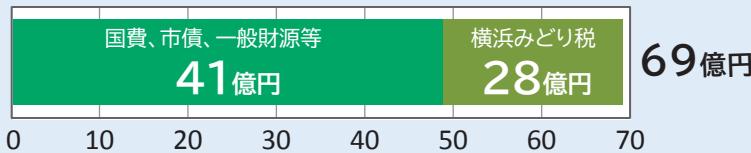
横浜みどりアップ計画の取組と成果を多くの皆さんに知るために、イベントへの出展や広報紙への記事掲載、SNSなど様々な手法を用いた広報を展開しました。

みどりアップのイベントや体験スポット、「よこはまこどもみどりアップ」についてはこちらをご覧ください。



事業費と横浜みどり税

● 1か年(2024年度)の事業費(うち横浜みどり税)



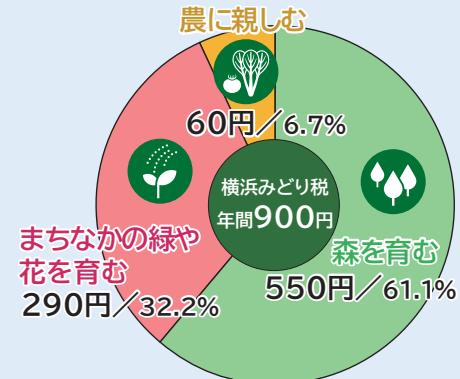
横浜みどり税の課税方法

【個人】市民税の均等割に年間900円を上乗せ

※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く

【法人】市民税の年間均等割額の9%相当額を上乗せ

● 一人当たりの横浜みどり税の使いみち



● 横浜みどり税の使いみち

使いみち① 樹林地・農地の確実な担保

- ・緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り
- ・水田の保全 など



使いみち② 身近な緑化の推進

- ・地域緑のまちづくり
- ・都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり など



使いみち③ 維持管理の充実によるみどりの質の向上

- ・森の多様な機能に着目した森づくりの推進
- ・街路樹による良好な景観づくり など

使いみち④ ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

- ・森づくりを担う人材の育成
- ・収穫体験農園の開設支援 など

横浜みどりアップ計画市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、公募市民や学識経験者などから構成されている組織です。取組の検証や現地視察を踏まえ、評価・提案を報告書にまとめているほか、市民目線での情報発信を行っています。



取組の現地レポート
はこちら

実績報告書は、市ウェブページをご覧ください。
区ごとの実績もご覧いただけます。



検索



横浜みどりアップ 葉っぱ

お問合せ

「横浜みどりアップ計画」の広報について

みどり環境局戦略企画課 ----- TEL 045-671-2712 FAX 045-550-4093

「横浜みどり税」について

【個人市民税】各区区役所税務課または財政局税務課 -- TEL 045-671-2253 FAX 045-641-2775

【法人市民税】財政局法人課税課 ----- TEL 045-671-4481 FAX 045-210-0481



リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



GREEN × EXPO 2027 YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

公式マスコットキャラクター トゥンクトゥン

©Expo 2027